

もくじ

もくじ	1
はじめに	5

1 章 本体の機能

11

1 パソコンでテレビを見る	12
① TV チューナーの使用にあたって	13
② ケーブルの接続	14
③ ゴーストリダクション機能	14
④ 「WinDVR」を使う	16
2 ライフスタイルパネル	18
① ライフスタイルパネルについて	18
② マルチ AV パネルを使う	19
③ 日本語入力パネルを使う	21
④ ライフスタイルパネルを交換する	22
3 クイックプレイを使う	25
① クイックプレイとは	25
② 簡単操作でテレビを見る (クイック TV)	26
③ 簡単操作で音楽 CD を聴く (クイック CD)	31
④ 簡単操作で DVD を再生する (クイック DVD)	35
⑤ クイックプレイの再インストール	46
4 リモコン	52
① リモコンについて	52
② 電池の取り付け/取りはずし	53
③ リモコンの各部名称	56
5 ディスプレイ	60
① ディスプレイの設定	60
② 時間帯で壁紙を変える	62

6	ハードディスクドライブ	63
7	サウンド機能	64
	① スピーカの音量を調整する	64
	② 音楽／音声の録音レベルを調整する	65
	③ サウンドのパワーマネージメントを設定する	66
	④ マイクの設定を行う	67
8	ドライブ	68
	① 使用できるメディアと対応するアプリケーション	68
	② 使用できる CD	71
	③ 使用できる DVD	73
	④ DVD-RAM を使うときは	76
9	SD メモリカード／メモリースティック	80
	① SD メモリカードについて	80
	② SD メモリカードのセットと取り出し	81
	③ メモリースティックについて	82
	④ メモリースティックのセットと取り出し	83
10	ワンタッチボタン	85

2章 通信機能

87

1	LANへ接続する	88
	① ケーブルを使ったLAN接続（有線LAN）	88
	② ケーブルを使わないLAN接続（無線LAN）	91
	③ ネットワーク設定に便利な機能	103
2	内蔵モデムについて	105
	① 海外でインターネットに接続する	105

3章 周辺機器の接続

107

1 周辺機器について	108
① 周辺機器を使う前に	109
2 PCカードを接続する	110
① PCカードを使う前に	110
② PCカードを使う	111
3 USB対応機器を接続する	113
4 テレビを接続する	115
5 外部ディスプレイを接続する	120
6 i.LINK (IEEE1394) 対応機器を接続する	122
7 その他の機器を接続する	124
① マイクロホン	124
② ヘッドホン	125
③ アナログのビデオカメラやビデオデッキなど	126
8 メモリを増設する	128

4章 バッテリ駆動

135

1 バッテリについて	136
① バッテリ充電量を確認する	137
② バッテリを充電する	140
③ バッテリパックを交換する	143
2 省電力の設定をする	145
① 東芝省電力	145
3 パソコンの使用を中断する／電源を切る	146
① スタンバイ	147
② 休止状態	148
③ 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する	149

5章 アプリケーションについて 151

- 1 アプリケーションを追加（インストール）する 152
- 2 アプリケーションを削除（アンインストール）する 153

6章 システム環境の変更 155

- 1 システム環境の変更とは 156
- 2 BIOS セットアップを使う 157
 - ① 起動と終了 157
 - ② BIOS セットアップの画面 159
 - ③ 設定項目 160

付録 175








- 1 本製品の仕様 176
 - 2 クイックプレイ操作一覧 184
 - 3 地域コード一覧 186
 - 4 言語コード一覧 202
 - 5 技術基準適合について 204
 - 6 無線 LAN について 216
 - 7 追加情報 225
- さくいん 227

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

 危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っていると便利な内容を示します。
 役立つ 操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
 参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「 <input type="checkbox"/> 」 他のマニュアルへの参照の場合…『 <input type="checkbox"/> 』 サイバーサポート、できる dynabook への参照の場合…《 <input type="checkbox"/> 》 サイバーサポートにはさまざまな情報が搭載されており、自然語で検索できます。

* 1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

* 2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

* 3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム 特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム (OS) を示します。本製品のシステムは Windows XP です。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME Microsoft® IME 2003 / ナチュラル インプット 2003 を示します。

サイバーサポート
CyberSupport for TOSHIBA を示します。

Pentium モデル
インテル® Pentium® M プロセッサ搭載モデルを示します。


Celeron モデル
インテル® Celeron® M プロセッサ搭載モデルを示します。

無線 LAN モデル
無線 LAN 機能が内蔵されているモデルを示します。

記載について

- ・ 記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「***モデルのみ」と注記します。
- ・ インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
- ・ アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは同梱の CD / DVD からインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- ・ 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

Trademarks

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Intel、インテル、Pentium、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- ・ CyberSupport は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- ・ CyberSupport は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupport にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- ・ i.LINK は商標です。
- ・ LaLaVoice、ConfigFree は（株）東芝の登録商標です。
- ・ Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標です。
- ・ Symantec、Norton AntiVirus、LiveUpdate は Symantec Corporation の登録商標です。
Norton Internet Security は Symantec Corporation の商標です。
©2004 Symantec Corporation. All Rights Reserved.
- ・ InterVideo、WinDVD、WinDVR、WinDVD Creator は InterVideo, Inc. の登録商標または商標です。
- ・ MagicGate、“メモリースティック”、、“OpenMG” および “OpenMG” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- ・ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992-1997 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
- ・ Sonic RecordNow! は Sonic Solutions の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- ・ 周辺機器を接続して本製品を使用している場合
- ・ AC アダプタを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- ・ マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- ・ 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- ・ 複雑な造形に使用するソフト（例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合

- ・気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
目安として、標高 1,000メートル（3,280 フィート）以上をお考えください。
- ・目安として、気温 5～35℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の状態
で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。この他の使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝 PC ダイヤル 0570-00-3100 にお問い合わせください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [はじめに] → [リリース情報] をクリックする

アナログ放送からデジタル放送への移行について


デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

お願い

- ・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- ・Windowsのシステムツールまたは『困ったときは』に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- ・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- ・購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- ・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、使用している機種を確認後、近くの保守サービスに依頼してください。パスワードの解除を保守サービスに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- ・セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
- ・ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
- ・クイックプレイの動作中は、自動的に電源を入れる機能を使ってシステムを起動することはできません。タイマー予約なども実行できませんので、ご注意ください。
- ・クイックTVで、DVDプレーヤなどのコピープロテクト信号を含む映像を外部入力端子（ビデオ入力コネクタ）を使用して視聴すると、正しく表示されない場合があります。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体同梱の『お客様登録カード』またはインターネット経由で登録できます。

 参照 ▶ 詳細について『さあ始めよう 5章 2 お客様登録をする』

『保証書』は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

1 章

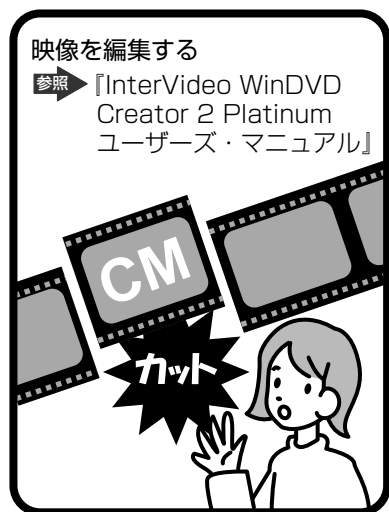
本体の機能

このパソコン本体の各部について、役割、基本の使いかたなどを説明しています。

1	パソコンでテレビを見る	12
2	ライフスタイルパネル	18
3	クイックプレイを使う	25
	4 リモコン	52
	5 ディスプレイ	60
6	ハードディスクドライブ	63
	7 サウンド機能	64
	8 ドライブ	68
9	SDメモ리카ード／メモリースティック	80
	10 ワンタッチボタン	85

1 パソコンでテレビを見る

本製品にはTVチューナが内蔵されています。^{ワンティーフイアール}「WinDVR」を使ってテレビ番組をパソコン画面に表示したり、録画することができます。また、録画した番組を編集したりDVDに保存したりすることもできます。



ここでは「WinDVR」を使って、パソコンでテレビ番組を見たり録画したりするときのことを説明します。

本製品に搭載されているTVチューナは日本国内以外では使えません。

1 TV チューナーの使用にあたって

【アンテナについて】

- 画像や音声の品質はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 電波の弱い地域で、受信状態が悪い場合は購入店にご相談されるか、市販のアンテナブースターをご利用ください。アンテナブースターのご使用方法は、アンテナブースター付属の説明書をご覧ください。

【大切な録画・録音・編集について】

- 大切な録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行い、正しくできることを確かめてください。
- 放送チャンネルや番組によっては、音量オーバーすると音が割れたり、飛んだりすることがあります。必要に応じて調整してください。

【テレビ視聴と録画について】

- バッテリー駆動で使用中にテレビ視聴や録画を行うと、バッテリーの消耗などによって画像がコマ落ちするおそれがあります。必ずACアダプタを接続して、使用してください。
また、本製品の省電力機能が実行されないようにしてください。

参照▶ 省電力機能について「4章 2 省電力の設定をする」

- 録画中や再生中にパソコン本体に振動や衝撃を加えると、映像が途切れたり、停止したりしてしまうことがあります。
- ビデオデッキでビデオテープを再生して本製品に入力する場合、古いテープなどノイズが多いテープを使用すると、コピープロテクト機能が働いて正常に動作しない場合があります。
- CATV 番組の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった番組（有料放送など）の視聴・録画にはホームターミナル（アダプタ）が必要になる場合があります。詳しくは、ホームターミナルに添付の説明書をご覧ください。各CATV会社にお問い合わせください。

2 ケーブルの接続

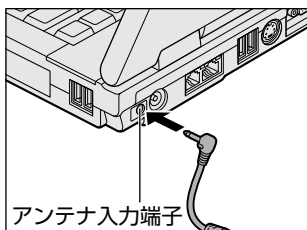
接続には、同梱のアンテナ変換ケーブルを使用してください。

1 アンテナ変換ケーブルの接続

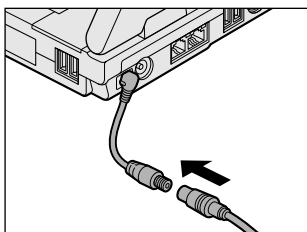
⚠ 注意

- 雷が鳴り出したら、アンテナ線には触れないでください。感電の原因となります。

- 1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る
- 2 アンテナ変換ケーブルをアンテナ入力端子に接続する



- 3 アンテナ変換ケーブルにアンテナケーブルを接続する



3 ゴーストリダクション機能

本製品には、テレビ視聴をするためのために、ゴーストリダクション機能が用意されています。ゴーストリダクションとは、画面に出てしまうゴースト（二重映り）を軽減する機能です。

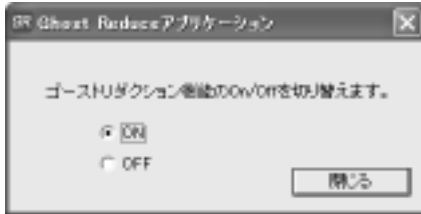
電波の反射などにより地上波放送にゴーストが表示されてしまうときに、ゴーストリダクション機能を有効にします。ゴーストを減らし、見やすい映像にすることができます。

1 設定方法

ゴーストリダクション機能は、本製品に添付の「Ghost Reduce アプリケーション」で設定します。

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Ghost Reduce アプリケーション] をクリックする

[Ghost Reduce アプリケーション] 画面が表示されます。



2 「ON」をチェックして [閉じる] ボタンをクリックする

3 パソコンを再起動する

ゴーストリダクション機能で設定を変更した場合、再起動するまでは変更が適用されません。次の手順でパソコンを再起動してください。

パソコンを再起動すると、保存していないデータは消失します。必要なデータを保存してから再起動してください。

① [スタート] → [終了オプション] をクリックする

[コンピュータの電源を切る] 画面が表示されます。

② [再起動] をクリックする

パソコンが再起動し、ゴーストリダクション機能が有効になります。

購入時には、ゴーストリダクション機能は有効に設定されています。

参照 クイックTVのゴーストリダクション設定について
[本章 3-②-4 各種設定]

メモ

テレビ視聴の状態によっては、ゴーストリダクション機能を有効にしてもゴーストは軽減されません。また、地域によってはゴーストリダクション機能を無効に設定した方が、見やすい映像になる場合があります。状況に応じて設定してください。

4 「WinDVR」を使う

お願い WinDVRの使用にあたって

- 「WinDVR」で録画されたテレビ番組などは、個人で楽しむ目的だけに使用できません。
- 「WinDVR」動作中は画面解像度、色数の設定変更を行わないでください。
- パソコンの電源がオフの場合、予約録画を実行できません。
- パソコンがログオフ状態の場合は予約録画を実行できません。
- 予約録画を設定する場合は、必ず録画可能時間を確認して行ってください。
- 「WinDVR」を使用するとき（再生、録画、予約録画など）は必ず、ACアダプタを使用してパソコン本体を電源に接続して使用してください。バッテリーで使用すると、バッテリーの消耗などにより、録画が失敗したり、音が飛んだりするおそれがあります。
- 使用状況やシーンによっては映像がスムーズに再生されない場合があります。
- 他のアプリケーションが動作していると、音飛びが発生したり、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。「WinDVR」の動作中は、他のアプリケーションを終了してください。
- 著作権保護されているコンテンツは録画することができません。
- 録画ボタンをクリックして録画している間に予約録画の開始時間になると、通常録画が止まり、保存名を入力する画面が表示されます。
保存名を入力して [OK] ボタンをクリックするか、キャンセルするまで予約録画は始まりません。
- テレビ番組、ビデオデッキやアナログのビデオカメラのテープの映像を録画・取り込みし、編集するときは、まず「WinDVR」を使用して映像を取り込み、その後「WinDVD Creator 2 Platinum」で編集してください。「WinDVR」と「WinDVD Creator 2 Platinum」の使い方については、同梱の『InterVideo WinDVR ユーザーズ・マニュアル』と『InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum ユーザーズ・マニュアル』をご覧ください。

1 起動方法

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideo WinDVR] → [InterVideo WinDVR] をクリックする


「WinDVR」の使い方については、同梱の『InterVideo WinDVR ユーザーズ・マニュアル』をご覧ください。

バッテリー駆動で使用中にテレビ視聴や録画を行うと、バッテリーの消耗などによって画像がコマ落ちするおそれがあります。必ずACアダプタを電源コンセントに接続して、使用してください。

また、本製品の省電力機能が実行されないようにしてください。

 省電力機能について「4章 2 省電力の設定をする」

2 ヘルプの起動方法

- 1 WinDVR コントロールパネルの [ヘルプ] ボタン () をクリックする

 「WinDVR」の問い合わせ先『dynabook 図解で読むマニュアル』

2 ライフスタイルパネル

本製品には、ライフスタイルパネルが用意されています。

ライフスタイルパネルは、アプリケーションなどの操作を簡単に行うためのものです。用途にあわせてパネルを取り換えて使用できます。

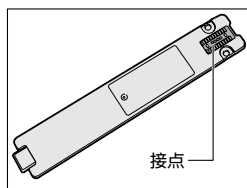
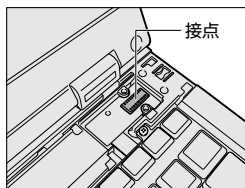
パソコンを使用するときは、必ずどれかパネルを取り付けた状態で使用してください。

⚠ 注意

ライフスタイルパネルの取り付け／取りはずしは、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行ってください。電源を入れたまま取り付け／取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。

お願い

- ライフスタイルパネルを交換するとき、パネルを固定していたネジやバッテリーカバーを固定していたネジが本体の内部に入らないようにしてください。また、ネジをなくさないようにしてください。
- ライフスタイルパネルを交換するとき、接点の部分（図示部分）に触れないでください。接点にゴミが付着すると、正常に使用できなくなり、故障のおそれがあります。



1 ライフスタイルパネルについて

本製品には次のパネルが用意されています。

マルチ AV パネル

パソコンでテレビや DVD-Video を見たり、音楽 CD を聴くときに、操作を簡単に行えるパネルです。カバーとあわせて使用します。

▶ 参照 ▶ マルチ AV パネルの使いかた「本節 ② マルチ AV パネルを使う」

日本語入力パネル

日本語入力の際に、便利なパネルです。カバーとあわせて使用します。

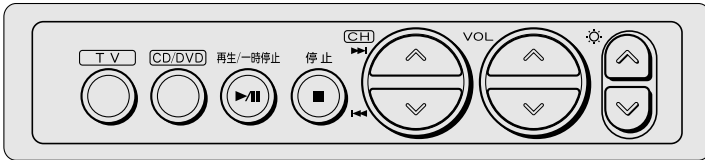
▶ 参照 ▶ 日本語入力パネルの使いかた「本節 ③ 日本語入力パネルを使う」

購入時に取り付けられているパネルは、モデルによって異なります。

参照 → ライフスタイルパネルの取り換えかた
「本節 4 ライフスタイルパネルを交換する」

2) マルチ AV パネルを使う

パソコンでテレビや DVD-Video を見たり音楽を聴いたりするとき、マルチ AV パネルを使用すると簡単に操作することができます。



それぞれのボタンの機能は、次のようになっています。

【TV ボタン】

「WinDVR」を起動または終了します。

パソコン本体に電源が入っていない、または休止状態の場合は、「クイックTV」を起動します。

参照 → 「クイックTV」について
「本章 3-2 簡単操作でテレビを見る (クイックTV)」

【CD/DVD ボタン】

音楽や映像を再生するアプリケーションを起動します。

起動するアプリケーションは、次のものです。

ドライブに DVD がセットされている場合 : WinDVD

ドライブに DVD 以外がセットされている場合 : Windows Media Player

パソコン本体に電源が入っていない、または休止状態の場合は、「クイックプレイ」の次の機能を起動します。

ドライブに CD がセットされている場合 : クイック CD

ドライブに DVD がセットされている場合 : クイック DVD

参照 → 「クイックプレイ」について「本章 3 クイックプレイを使う」

【再生/一時停止ボタン】

そのとき操作しているアプリケーションを、一時停止または一時停止解除します。いくつもアプリケーションを起動している場合、最前面に表示されているアプリケーションにのみ有効です。このボタンは、「Windows Media Player」「WinDVD」「WinDVR」「クイックプレイ」に対して、操作可能です。

【停止ボタン】

そのとき操作しているアプリケーションを、停止します。いくつもアプリケーションを起動している場合、最前面に表示されているアプリケーションにのみ有効です。このボタンは、「Windows Media Player」「WinDVD」「WinDVR」「クイックプレイ」に対して、操作可能です。

【CH ⇨ ボタン】

このボタンの動作は、使用しているアプリケーションや操作内容によって異なります。

アプリケーション	操作内容	動作
WinDVR クイック TV	テレビの視聴	チャンネルを1つ進める
WinDVR	録画データの再生	再生するトラックを1つ戻す
Windows Media Player WinDVD クイック CD クイック DVD	音楽や映像の再生	再生するトラックを1つ進める

【CH ⇩ ボタン】

このボタンの動作は、使用しているアプリケーションや操作内容によって異なります。

アプリケーション	操作内容	動作
WinDVR クイック TV	テレビの視聴	チャンネルを1つ戻す
WinDVR	録画データの再生	再生するトラックを1つ進める
Windows Media Player WinDVD クイック CD クイック DVD	音楽や映像の再生	再生するトラックを1つ戻す

【VOL \wedge ボタン】

音量を大きくしたいときに押します。

【VOL \vee ボタン】

音量を小さくしたいときに押します。

【輝度 \odot \wedge ボタン】

画面の輝度を上げたいときに押します。1回押すごとに、内部液晶ディスプレイの明るさが1段階ずつ明るくなります。

【輝度 \odot \vee ボタン】

画面の輝度を下げたいときに押します。1回押すごとに、内部液晶ディスプレイの明るさが1段階ずつ暗くなります。

3 日本語入力パネルを使う

日本語入力時の入力モード切り替えなどを、簡単に行えます。



それぞれのボタンの機能は、次のようになっています。

【英文 \blacktriangleleft \blacktriangleright 和文】

日本語入力システム MS-IME の ON / OFF を切り替えます。

【入力モード ローマ字 \blacktriangleleft \blacktriangleright かな】

ローマ字入力とかな入力を切り替えます。

【英大 \blacktriangleleft \blacktriangleright 英小】

大文字入力と小文字入力を切り替えます。

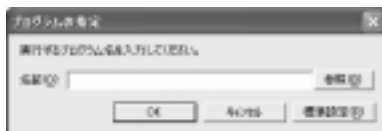
【単語／用例登録】

日本語入力システム MS-IME が ON の状態のとき、MS-IME の [単語／用例の登録] 画面を起動します。このとき、MS-IME のキー設定が標準設定である必要があります。

【新規作成】

設定されているアプリケーションを起動します。購入時は、「Microsoft Office Word」が設定されています。

[新規作成] ボタンを約1秒押したままにすると、[プログラムの指定] 画面が表示され、起動するアプリケーションを変更できます。



設定したいアプリケーションの名前を直接入力するか、[参照] ボタンをクリックして表示されたリストから選択してください。

【文字拡大 Ⓐ】

画面やアイコンなどを拡大します。[文字拡大 Ⓐ] ボタンを約1秒押したままにすると [TOSHIBA Smooth Viewのプロパティ] 画面が表示され、ボタンについて設定できます。

【文字拡大 Ⓑ】

画面やアイコンなどを縮小します。[文字拡大 Ⓑ] ボタンを約1秒押したままにすると [TOSHIBA Smooth Viewのプロパティ] 画面が表示され、ボタンについて設定できます。

4 ライフスタイルパネルを交換する

ライフスタイルパネルの交換方法を説明します。

お願い

- カバーをスライドするとき、電源スイッチやワンタッチボタンを押さないでください。押しながらスライドすると、下にあるボタンの基板にカバーが接触し、基板を傷つけて、これらのボタンが故障するおそれがあります。

1 パネルの取りはずし

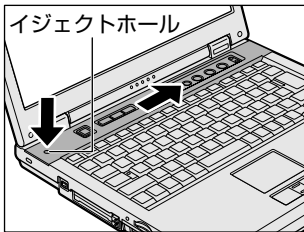
1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

▶ 参照 → 電源の切りかた『さあ始めよう 1章 4 電源を切る／入れる』

2 パソコン本体からACアダプタとバッテリー、周辺機器のケーブル類をはずす

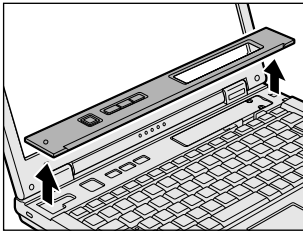
▶ 参照 → バッテリーパックの取りはずし
「4章 1-③ バッテリーパックを交換する」

3 ライフスタイルパネルのイジェクトホールを先の細い丈夫なもの（ボールペンなど）で押したまま、カバーを右にスライドする

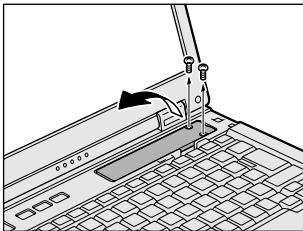


バッテリーパックを取りはずしたときのネジが本体内部に入らないよう、注意してください。

4 カバーを取りはずす



5 パネルを固定しているネジ2本をはずし、パネルを取りはずす

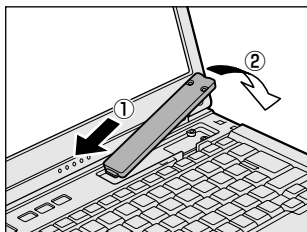


ここでははずしたネジは、なくさないよう大切に保管してください。

以降の説明を参照して取り付けたいパネルを取り付けてから、パソコンを使用してください。

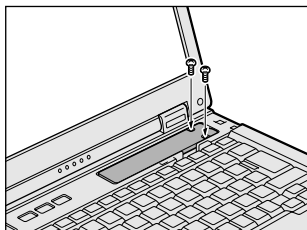
2 パネルの取り付け

1 パネルをセットする

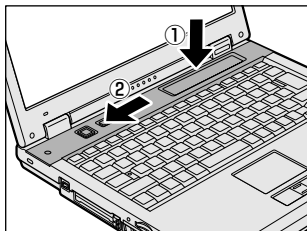


パネルの左端にあるツメをパソコン本体に引っかけて①、セットしてください②。

2 パネルを、ネジ2本でとめる



3 カバーを取り付ける



留め金の位置にあわせて差し込み①、カチッと音がするまで左へスライドしてください②。


3 クイックプレイを使う

本製品には、テレビ視聴やCD / DVD 再生のために「クイックプレイ」が用意されています。ここでは、クイックプレイについて説明します。

【表記について】

本節でクイックプレイの操作を説明する上で、次の記号を使用します。

 **リモコン** : 同梱のリモコンからの操作を示します。

 **キーボード** : パソコン本体のキーボードからの操作を示します。

1 クイックプレイとは

クイックプレイを使うと、テレビ視聴やCD / DVD 再生が簡単にできます。

「パソコンに電源を入れる」→「テレビやCD / DVD 再生のアプリケーションを起動する」といった操作をすることなく、ボタンやキーを押すだけで、テレビ映像を表示したりCD / DVD を再生できます。

クイックプレイでテレビを見ることを「クイックTV」、音楽CDの再生を「クイックCD」、DVDの再生を「クイックDVD」と呼びます。

【クイックプレイの使用にあたって】

クイックプレイは、次の状態のときに起動できます。

- ・電源が入っていないとき
- ・休止状態のとき

Windows は、クイックプレイを終了してからのみ、起動できます。



クイックプレイの起動と終了

「本節 ② 簡単操作でテレビを見る (クイックTV)」

「本節 ③ 簡単操作で音楽CDを聴く (クイックCD)」

「本節 ④ 簡単操作でDVDを再生する (クイックDVD)」

メモ

- クイックプレイを使用中に、リモコンやキーボードから操作しても効かなくなったときには、パソコン本体の電源スイッチを5秒以上押し続けて強制終了し、起動し直してください。

2 簡単操作でテレビを見る (クイック TV)

1 起動方法

- 1 リモコンの [TV] ボタン、またはマルチ AV パネルの [TV] ボタンを押す

テレビ映像が、パソコンの内部液晶ディスプレイに表示されます。

2 終了方法

- 1 リモコンの [電源] ボタン、またはパソコン本体の電源スイッチを押す

テレビ映像の表示が終了し、電源オフまたは休止状態になります。

DVD を再生したり音楽 CD を聴きたいときは、クイック TV を終了しなくても再生できます。リモコンの [CD/DVD] ボタン、またはマルチ AV パネルの [CD/DVD] ボタンを押してください。

3 リモコンまたはキーによる操作方法

クイック TV の操作は、リモコンまたはキーボードから実行できます。

パソコン本体のライフスタイルパネルにマルチ AV パネルがセットされている場合は、マルチ AV パネルからも実行できます。マルチ AV パネルからの操作については、「本章 2-② マルチ AV パネルを使う」をご覧ください。

ここでは、リモコンとキーボードからの操作を説明します。リモコンのボタン名称については、「本章 4-③ リモコンの各部名称」をご覧ください。

【チャンネルを替える】

テレビを見ているときにチャンネルを切り替えるには、次のように操作してください。

リモコン

[1] ~ [12] ボタンを押す

[チャンネル 8] ボタン：チャンネルを 1 つ進める

[チャンネル V] ボタン：チャンネルを 1 つ戻す

キーボード

(Fn) + (↑) キー：チャンネルを 1 つ進める

(Fn) + (↓) キー：チャンネルを 1 つ戻す

出荷時には全チャンネルが選択できるようになっていますが、地域設定をすると、その地域で見ることが出来るチャンネルのみ選択するようになります。

参照▶ 地域設定の方法「本項 4- 地域設定」

チャンネルの切り替えは、キーボードの数字キーでもできます。次のいずれかを実行して、切り替えてください。

- 3桁のチャンネルを数字キーで入力する
- 2桁までのチャンネルを数字キーで入力し、(Enter)キーを押す
- 2桁までのチャンネルを数字キーで入力し、2秒待つ

このとき、(Enter)キーを押さずに(Esc)キーを押すと、チャンネル切り替えはキャンセルされます。

外部入力に切り替える

テレビを見ているときに外部入力に切り替えるには、次のように操作してください。

リモコン

[入力切替] ボタンを押す

キーボード

① (アイ) キーを押す

1回押すごとに、次のように切り替わります。

テレビ → L1 (コンポジット) → L2 (S端子) → テレビ…

外部入力で映像を見ているときにチャンネルを替えると、変更されたチャンネルでテレビが表示されます。

チャンネル番号を自由に設定することもできます。個別設定機能を使います。

参照▶ 個別設定の方法「本項 4- 個別設定」

【画面の明るさを調整する】

テレビを見ているときに画面の明るさを調整するには、次のように操作してください。

リモコン

[輝度∧] ボタン：1段階明るくなる

[輝度∨] ボタン：1段階暗くなる

キーボード

(Fn) + (F6) キー：1段階暗くなる

(Fn) + (F7) キー：1段階明るくなる

この操作をすると、画面にはそのときの明るさレベルが表示されます。

【音量を調整する】

テレビを見ているときに音量を調整するには、次のように操作してください。



[音量+] ボタン：1段階音量が大きくなる

[音量-] ボタン：1段階音量が小さくなる



(Ctrl) + (↑) キー：1段階音量が大きくなる

(Ctrl) + (↓) キー：1段階音量が小さくなる

この操作をすると、画面にはそのときの音量レベルが表示されます。

パソコン本体のボリュームダイヤルでも、音量を調整することができます。

参照 ▶ ボリュームダイヤルについて「本章 7-① スピーカの音量を調整する」

【消音（ミュート）する】

テレビを見ているときに一時的に音を消すには、次のように操作してください。



[ミュート] ボタンを押す



(M) キーを押す

1回押すと消音し、もう1回押すと消音する前の音量レベルに戻ります。消音中に音量を調整すると消音は解除され、消音前の音量レベルから調整されます。

【音声切り替え】

2カ国語放送の番組を見ているときに音声を切り替えるには、次のように操作してください。



[音声/音多] ボタンを押す



(A) キーまたは (B) キーを押す

1回押すごとに、次のように切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主/副音声 → 主音声…

【表示の切り替え】

テレビを見ているときに現在のチャンネル番号や音声情報を表示することができます。次のように操作してください。



[表示] ボタンを押す

キーボード

①キーを押す

1回押すごとに、次のように切り替わります。

現在の状態を数秒表示 → 情報を常時表示 → 表示なし → 現在の状態を数秒表示…

4 各種設定

テレビ設定メニューでは、テレビを見るうえでのさまざまな設定をすることができます。

次のように操作して、テレビ設定メニューを起動できます。

1 リモコンの〔設定〕ボタン、またはキーボードの(F2)キーか①(オー)キーを押す

[テレビ設定メニュー] 画面が表示されます。



画面下部のキー操作表示を参照して、設定したい項目を選択してください。チャンネルや画質などが設定できます。

テレビ設定メニューを終了してテレビ視聴に戻るには、リモコンの〔設定〕ボタン、またはキーボードの(F2)キーか①(オー)キーを押してください。

【地域設定】

地域設定をするには、[テレビ設定メニュー] 画面で、[チャンネル設定] → [地域設定] を選択してください。地域番号を入力する画面が表示されるので、「付録3 地域コード一覧」を参照し、地域番号を入力してください。

【個別設定】

個別設定をするには、[テレビ設定メニュー] 画面で、[チャンネル設定] → [個別設定] を選択してください。個別設定画面が表示されるので、設定したい番号と実際のチャンネルを入力してください。

【GR 設定】

画面にでてしまうゴースト（二重映り）を軽減します。

電波の反射などにより地上波放送にゴーストが表示されてしまうことがあります。GR 設定を ON にするとゴーストが減り、見やすい映像にできます。

[テレビ設定メニュー] 画面で、[画質設定] → [GR 設定] を選択してください。ON/OFF を設定できます。

メモ

テレビ視聴の状態によっては、GR 設定を ON にしてもゴーストは軽減されません。状況に応じて設定してください。

各設定画面で次の操作または状態になった場合は、設定中の項目は保存されず、テレビ画面に戻ります。

- ・画面の明るさ調整
- ・音量の調整
- ・消音（ミュート）
- ・バッテリー残量の不足
- ・リモコンの [設定] ボタン、またはキーボードの(F2)キーか(O)（オー）キーを押した場合

また、各設定画面で次の操作を行うと、設定中の項目は保存されません。

- ・クイック CD またはクイック DVD への切り替え
- ・クイック TV の終了

キーガイドの表示

1 パソコン本体の [サイバーサポート] ボタン、またはキーボードの (F1) キーを押す

キーガイドを画面下部に表示できます。1 回押すごとに、表示/非表示が切り替わります。

3 簡単操作で音楽 CD を聴く (クイック CD)

お願い クイック CD の使用にあたって

- 汚れや傷のある CD は、再生できない場合があります。また汚れや傷がひどいと、CD を取り出せなくなる場合もあります。イジェクトホールを使用して CD を取り出してください。

参照 → イジェクトホール『さあ始めよう 2 章 4-② CD / DVD の取り出し』

1 起動方法

1 リモコンの [CD/DVD] ボタン、またはマルチ AV パネルの [CD/DVD] ボタンを押す

メディアのセットをうながすメッセージが表示されます。

メディアがドライブにセットされている状態でこの操作を実行すると、自動的に再生が始まります。

2 ドライブに音楽 CD をセットする

参照 → CD のセット『さあ始めよう 2 章 4-① CD / DVD のセット』

音楽 CD の再生が始まります。

音楽 CD の再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。

2 停止 / 終了方法

音楽 CD の再生を停止する場合は、次のように操作します。

1 リモコンの [停止] ボタン、またはキーボードの (Ctrl) + (Space) キーを押す

(E) キーを押すとドライブからディスクトレイが出てきて、CD を取り出せます。

参照 → CD の取り出し『さあ始めよう 2 章 4-② CD / DVD の取り出し』

クイック CD を終了する場合は、次のように操作します。

1 リモコンの【電源】ボタン、またはパソコン本体の電源スイッチを押す

電源オフまたは Windows の休止状態になります。

テレビを見たいときは、クイック CD を終了しなくても切り替えることができます。リモコンの【TV】ボタン、またはマルチ AV パネルの【TV】ボタンを押してください。

クイック DVD に切り替えるには、ドライブに DVD をセットしてください。

3 リモコンまたはキーによる操作方法

クイック CD の操作は、リモコンまたはキーボードから実行できます。

パソコン本体のライフスタイルパネルにマルチ AV パネルがセットされている場合は、マルチ AV パネルからも実行できます。マルチ AV パネルからの操作については、「本章 2-② マルチ AV パネルを使う」をご覧ください。

ここでは、リモコンとキーボードからの操作を説明します。リモコンのボタン名称については、「本章 4-③ リモコンの各部名称」をご覧ください。

【再生／一時停止】

音楽 CD を再生／一時停止するには、次のように操作してください。

リモコン

【再生／一時停止】ボタンを押す

キーボード

(Space) キーを押す

1 度押すと一時停止し、もう 1 度押すと再生に戻ります。

【再生する曲の選択】

再生する曲を選択するには、次のように操作してください。

リモコン



[1] ～ [10/0] ボタンを押す

このとき、[11] [12] ボタンは使用できません。[10/0] ボタンは「0 (ゼロ)」と認識されます。

キーボード

数字キーを押す

再生したい曲の番号が 2 桁の場合は、その番号を入力すると再生されます。曲の番号が 1 桁の場合は、次のいずれかを実行してください。

- 再生したい曲の番号を入力し、【決定】ボタン () または (Enter) キー () を押す

- 再生したい曲の番号を入力し、2秒待つ

曲の番号を入力した後に(Esc)キー () を押すと、曲番号の入力はキャンセルされます。

【画面の明るさを調整する】

画面の明るさを調整するには、次のように操作してください。

リモコン

[輝度∧] ボタン：1段階明るくなる

[輝度∨] ボタン：1段階暗くなる

キーボード

(Fn) + (F6) キー：1段階暗くなる

(Fn) + (F7) キー：1段階明るくなる

この操作をすると、画面にはそのときの明るさレベルが表示されます。

【音量を調整する】

音楽CDを聴いているときに音量を調整するには、次のように操作してください。

リモコン

[音量+] ボタン：1段階音量が大きくなる

[音量-] ボタン：1段階音量が小さくなる


キーボード

(Ctrl) + (↑) キー：1段階音量が大きくなる

(Ctrl) + (↓) キー：1段階音量が小さくなる

この操作をすると、画面にはそのときの音量レベルが表示されます。

パソコン本体のボリュームダイヤルでも、音量を調整することができます。

 **参照** ボリュームダイヤルについて
「本章 7-① スピーカの音量を調整する」

【消音（ミュート）する】

音楽CDを聴いているときに一時的に音を消すには、次のように操作してください。

リモコン

[ミュート] ボタンを押す

キーボード

(M) キーを押す

1度押すと消音し、もう1度押すと消音する前の音量レベルに戻ります。消音中に音量を調整すると消音は解除され、消音前の音量レベルから調整されます。

【再生モードの変更】

音楽 CD を聴くとき、次の中から再生モードを選択できます。

再生モード	切り替えキー	内容
通常再生	—	CD の 1 曲目から順番に最後の曲まで再生する
1 曲リピート*1	(Ctrl)+(R)	そのとき再生対象となっている曲を、繰り返し再生する
Disc リピート*1	(Ctrl)+(R)	CD の 1 曲目から順番に最後の曲まで再生した後、また 1 曲目から繰り返し再生する
シャッフル再生*2	(Ctrl)+(S)	CD に収録されている通りではなく、曲の順番をシャッフルして再生する

* 1 (Ctrl)+(R) を 1 回押すごとに、次のように切り替わります。

通常再生 (標準値) → 1 曲リピート → Disc リピート → 通常再生…

* 2 (Ctrl)+(S) を 1 回押すごとに、シャッフル再生する / しませんが切り替わります。

【曲のスキップ】

音楽 CD を聴いているときに再生している曲をスキップするには、次のように操作してください。

1 曲単位のスキップ

リモコン

[▶▶] ボタン：再生する曲を 1 つ進める

[◀◀] ボタン：再生する曲を 1 つ戻す

キボト

(L) キー：再生する曲を 1 つ進める

(K) キー：再生する曲を 1 つ戻す

10 秒単位のスキップ

リモコン

[▶▶] ボタン：再生している箇所から約 10 秒進める

[◀◀] ボタン：再生している箇所から約 10 秒戻す

キボト

(>) キー：再生している箇所から約 10 秒進める

(<) キー：再生している箇所から約 10 秒戻す

【表示モードの切り替え】

音楽CDを聴いているとき、表示モードを次のいずれかに切り替えることができます。

- 現在再生している曲の再生時間／現在再生している1曲の演奏時間(標準値)
- ディスクの先頭からの再生時間／ディスク全体の演奏時間

切り替えるには、次のように操作してください。

リモコン

[表示] ボタンを押す

キーボード



[D] キーを押す

キーガイドの表示**1 パソコン本体の【サイバーサポート】ボタン、またはキーボードの**


[F1] キーを押す

キーガイドを画面下部に表示できます。1回押すごとに、表示／非表示が切り替わります。

4 簡単操作でDVDを再生する(クイックDVD)**お願い クイックDVDの使用にあたって**

- DVDは、制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。クイックDVDはディスク制作者が意図した内容に従って再生をするため、操作した通りに動作しないことがあります。
- 操作中に「」が画面に表示されることがあります。「」が表示されたときは、クイックDVDまたはDVD-Videoがその操作を禁止しています。
- 再生するDVDに付属の説明書もあわせてお読みください。
- DVDの再生はRegionコードが「2」、「ALL」のものをご使用ください。
- NTSC方式のみ再生できます。
- 再生するDVDのタイトルによっては、コマ落ちまたは音飛びする場合があります。
- 内部液晶ディスプレイでのみ再生できます。外部映像出力はサポートしていません。
- パレンタルコントロールが設定されたDVDタイトルでは、DVD-Videoであらかじめ設定されているシーンが再生されます。

- Video CD、DVD-Audio、-VRまたは+VRフォーマットで保存されたデータの再生はサポートしていません。また、ファイナライズされていないメディア、MPEG や DivX などのファイル再生もサポートしていません。
- ClosedCaption の表示は行いません。
- 音声は必ず 2ch 出力されます。
- MPEG-1、MPEG-2(マルチチャンネル)、DTS、SDDS の音声を含むタイトルの場合、再生しても音声は出力されません。
- カラオケモードには対応していません。
- 連続して操作をする場合は、直前の動作が完了してから次の操作をしてください。動作が完了する前に次の操作をすると、目的の動作をしない場合があります。
- 汚れや傷のある DVD は、再生できない場合があります。また汚れや傷がひどいと、DVD を取り出せなくなる場合もあります。イジェクトホールを使用して DVD を取り出してください。

 参照 イジェクトホール

『さあ始めよう 2 章 4-② CD / DVD の取り出し』

1 起動方法

1 リモコンの [CD/DVD] ボタン、またはマルチ AV パネルの [CD/DVD] ボタンを押す

メディアのセットをうながすメッセージが表示されます。

メディアがドライブにセットされている状態でこの操作を実行すると、自動的に再生が始まります。

2 ドライブに DVD をセットする

 参照 DVD のセット

『さあ始めよう 2 章 4-① CD/DVD のセット』

DVD-Video の再生が始まります。

DVD の再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。

2 停止／終了方法

DVD の再生を停止する場合は、次のように操作します。

1 リモコンの [停止] ボタン、またはキーボードの **Ctrl** + **Space** キーを押す

続き再生が可能な状態にしておけば、再生を停止した箇所からその続きを再生できます。

▶ 参照 → 続き再生について「本項 3- 続き再生」

(E) キーを押すとドライブからディスクトレイが出てきて、DVD を取り出せます。

▶ 参照 → DVD の取り出し

『さあ始めよう 2 章 4-② CD/DVD の取り出し』

クイック DVD を終了する場合は、次のように操作します。

1 リモコンの【電源】ボタン、またはパソコン本体の電源スイッチを押す

電源オフまたは休止状態になります。

テレビを見たいときは、クイック DVD を終了しなくても切り替えることができます。リモコンの【TV】ボタン、またはマルチ AV パネルの【TV】ボタンを押してください。

クイック CD に切り替えるには、ドライブに音楽 CD をセットしてください。

3 リモコンまたはキーによる操作方法

クイック DVD の操作は、リモコンまたはキーボードから実行できます。

パソコン本体のライフスタイルパネルにマルチ AV パネルがセットされている場合は、マルチ AV パネルからも実行できます。マルチ AV パネルからの操作については、「本章 2-② マルチ AV パネルを使う」をご覧ください。

ここでは、リモコンとキーボードからの操作を説明します。リモコンのボタン名称については、「本章 4-③ リモコンの各部名称」をご覧ください。

【DVD メニュー表示】

DVD に用意されているメニューを表示するには、次のように操作してください。

リモコン

[DVD メニュー] ボタンを押す

キーボード

(F8) キーまたは (F9) キーを押す

(F8) キーを押した場合はトップメニュー、(F9) キーを押した場合はメニューが表示されます。

メニューで再生したいタイトルやチャプターを選択するには、次のように操作してください。

リモコン

矢印ボタンで選択し、[決定] ボタンで再生を開始する

キボード

矢印キーで選択し、(Enter)キーで再生を開始する

DVD には構造によってさまざまなメニューが用意されています。この操作をしたときに表示されるメニューは、DVD によって異なります。

【再生／一時停止】

DVD を再生／一時停止するには、次のように操作してください。

リモコン

[再生／一時停止] ボタンを押す

キボード

(Space)キーを押す

1 度押すごとに再生／一時停止が切り替わります。

【続き再生】

前回再生を停止した箇所から、その続きを再生できます。画面に「[再生] を押すと、続き再生」と表示されている状態で、次のように操作してください。

リモコン

[再生／一時停止] ボタンを押す

キボード

(Space)キーを押す

次のような場合は、続き再生できません。

- ・電源を切った
- ・クイック TV を起動した
- ・前回再生停止した後、設定メニューから設定を変更した
- ・DVD をドライブから取り出した
- ・再生している DVD が、続き再生機能に対応していない

など

【再生するタイトルの選択】

再生するタイトルを選択するには、次のように操作してください。

キボード

(1)キーを押した後、再生したいタイトル番号の数字キーを押す
再生する DVD によっては、本機能は動作しない場合があります。

【再生するチャプターの選択】

再生するチャプターを選択するには、次のように操作してください。



[1] ~ [10/0] ボタンを押す

このとき、[11] [12] ボタンは使用できません。[10/0] ボタンは「0 (ゼロ)」と認識されます。



数字キーを押す

再生したいチャプターの番号が2桁の場合は、その番号を入力すると再生されます。チャプターの番号が1桁の場合は、次のいずれかを実行してください。

- 再生したいチャプターの番号を入力し、[決定] ボタン () または (Enter) キー () を押す
 - 再生したいチャプターの番号を入力し、2秒待つ
- 再生するDVDによっては、本機能は動作しない場合があります。

【早送り／早戻し再生】

再生画面を表示しながら早送り／早戻しするには、DVD再生中に次のように操作してください。



[▶▶] ボタン：早送り再生する

[◀◀] ボタン：早戻し再生する



[>] キー：早送り再生する

[<] キー：早戻し再生する

同じ操作を続けて行くと、早送りまたは早戻し速度が変わります。例えば早送り再生中に [▶▶] ボタン () または [>] キー () を続けて押すと、1回押すたびに早送りの速度が変わります。

通常再生に戻すには、[再生／一時停止] ボタン () または (Space) キー () を押します。

【チャプターのスキップ】

DVDを再生しているときにチャプターをスキップするには、次のように操作してください。



[▶▶▶] ボタン：1つ先のチャプターの先頭から再生する

[◀◀◀] ボタン：再生中のチャプターの先頭から再生する

続けて2回押すと、1つ前のチャプターの先頭から再生する

キーボード

- Ⓛキー : 1つ先のチャプターの先頭から再生する
 - Ⓚキー : 再生中のチャプターの先頭から再生する
続けて2回押すと、1つ前のチャプターの先頭から再生する
- DVDのタイトルによって、動作内容は異なる場合があります。

【秒単位のスキップ】

DVDを再生しているときに秒単位でスキップするには、次のように操作してください。

リモコン

- [スキップ] ボタン : 再生している箇所から約30秒進む
- [リプレイ] ボタン : 再生している箇所から約10秒戻る

キーボード

- Ⓚ+Ⓛキー : 再生している箇所から約30秒進む
 - Ⓚ+Ⓚキー : 再生している箇所から約10秒戻る
- DVDの仕様や再生状態によっては、リプレイができない場合があります。

【スロー再生】

DVDをスロー再生します。

キーボード

- 再生中にⓎキーを押す
- スロー再生中にⓎキー (**キーボード**) を続けて押すと、1回押すたびに再生速度が変わります。
- 通常再生に戻すには、[再生/一時停止] ボタン (**リモコン**) または␣キー (**キーボード**) を押します。

【再生アングルの選択】

DVDによっては、複数のカメラアングル(角度)からの映像が用意されています。このアングルを切り替えて再生するには、DVD再生中に次のように操作してください。

リモコン

- [アングル] ボタンを押す

キーボード

- Ⓒキーを押す
- 現在のアングル番号が表示されます。アングル番号が表示されているときにこの操作をすると、1回押すごとに、DVDに用意されているアングルが切り替わります。アングル番号は、操作してから数秒たつと消えます。

メモ

- DVDによっては、アングルを切り替えてもすぐに映像が切り替わらない場合があります。
- 早送りまたは早戻し中は、アングルを切り替えることができません。

【字幕の選択】

DVDによっては字幕が用意されていて、再生画面に表示できます。複数の言語で字幕が用意されているDVDの場合は、表示したい字幕を選択できます。

DVD再生中に次のように操作してください。



[字幕] ボタンを押す



(S)キーを押す

画面に現在の字幕情報が表示されます。1回押すごとに、DVDに用意されている字幕が切り替わります。字幕なしにすることもできます。

メモ

- DVDによっては、自動的に字幕が表示されます。
- 再生している箇所によっては、字幕表示の操作をしてもすぐには字幕が表示されないことがあります。
- DVDによっては、字幕の言語や表示／非表示の切り替えを、ディスクメニューで選択できます。

【音声を切り替える】

DVDによっては、複数の音声（吹き替え）が用意されています。音声を切り替えるには、DVD再生中に次のように操作してください。



[音声／音多] ボタンを押す



(A)キーを押す

画面に現在の音声情報が表示されます。1回押すごとに、DVDに用意されている音声が切り替わります。

メモ

- DVDによっては、音声の言語の切り替えを、ディスクメニューで選択できません。

【画面の明るさを調整する】

画面の明るさを調整するには、DVD再生中に次のように操作してください。

リモコン

[輝度∧] ボタン：1段階明るくなる

[輝度∨] ボタン：1段階暗くなる

キーボード

(Fn) + (F6) キー：1段階暗くなる

(Fn) + (F7) キー：1段階明るくなる

この操作をすると、画面にはそのときの明るさレベルが表示されます。

【音量を調整する】

音量を調整するには、DVD再生中に次のように操作してください。

リモコン

[音量+] ボタン：1段階音量が大きくなる

[音量-] ボタン：1段階音量が小さくなる

キーボード

(Ctrl) + (↑) キー：1段階音量が大きくなる

(Ctrl) + (↓) キー：1段階音量が小さくなる

この操作をすると、画面にはそのときの音量レベルが表示されます。

パソコン本体のボリュームダイヤルでも、音量を調整することができます。

参照 ▶ ボリュームダイヤルについて
「本章 7-① スピーカの音量を調整する」

【消音（ミュート）する】

DVDを再生しているときに一時的に音を消すには、次のように操作してください。

リモコン

[ミュート] ボタンを押す

キーボード

(M) キーを押す

1度押すと消音し、もう1度押すと消音する前の音量レベルに戻ります。消音中に音量を調整すると消音は解除され、消音前の音量レベルから調整されます。

【表示の切り替え】

DVDを再生しているとき、チャプターの再生時間やタイトル番号を表示することができます。次のように操作してください。

リモコン

[表示] ボタンを押す

キーボード

(D)キーを押す

1回押すと現在の状態、タイトル番号、チャプター番号、時間を表示し、もう1回押すと非表示になります。

再生しているシーンによって、表示される項目は異なります。

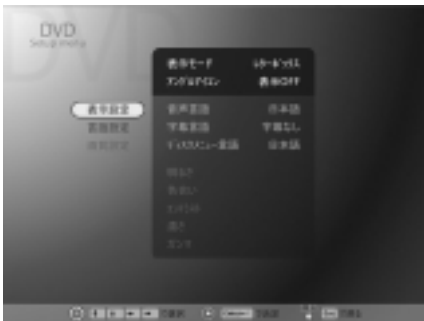
4 各種設定

DVD設定メニューでは、DVDを再生するうえでのさまざまな設定をすることができます。

DVD設定メニューを起動するには、次のように操作してください。

1 リモコンの[設定]ボタン、またはキーボードの(F2)キーを押す

DVDの設定メニュー画面が表示されます。



画面下部のキー操作表示を参照して、設定したい項目を選択してください。

DVD設定メニューを終了してDVD再生に戻るには、リモコンの[設定]ボタン、またはキーボードの(F2)キーを押してください。

設定できる項目は、次のようになっています。

表示設定

クイックDVDでDVDを再生する場合の画面表示について、次の設定ができます。

【表示モード】

* DVD再生中は、設定できません。再生を停止してから設定してください。
パンスキャンに対応しているDVDを再生する場合、どのように表示させるかを設定します。

レターボックス（標準値）：映像の上下に黒い帯を表示して、映像全体を表示する
パンスキャン：上下を内部液晶ディスプレイのサイズにあわせ、左端と右端を一部表示しない

パンスキャン機能は、パンスキャンに対応しているDVDでのみ表示できます。

【アングルアイコン表示】

マルチアングルを示すアイコンを、画面に表示するかどうかを設定します。アイコンを表示するように設定しておく、マルチアングルが用意されているシーンを再生しているときに、画面にアイコンが表示されます。

表示 ON：アイコンを表示する

表示 OFF（標準値）：アイコンを表示しない

言語設定

* DVD再生中は、設定できません。再生を停止してから設定してください。
クイックDVDでDVDを再生する場合の言語について、次の設定ができます。
本機能はクイックDVDの初期設定です。再生するDVDにあらかじめ音声、字幕、ディスクメニュー言語が設定されている場合は、その設定が優先されます。
言語コードの入力画面では、「付録 4 言語コード一覧」を参照して、設定したい言語の言語コードを入力してください。

【音声言語】

複数の言語の音声を用意されているDVDを再生する際の、音声言語を設定します。
どのような言語が用意されているかは、再生するDVDによって異なります。

日本語（標準値）：日本語の音声を再生する

英語：英語の音声を再生する

その他：設定したい言語の言語コードを入力する

日本語と英語以外の言語を設定したい場合に選択してください。

【字幕言語】

複数の言語の字幕が用意されている DVD を再生する際の、字幕言語を設定します。どのような言語が用意されているかは、再生する DVD によって異なります。

日本語 : 日本語の字幕を表示する
 英語 : 英語の字幕を表示する
 その他 : 設定したい言語の言語コードを入力する
 日本語と英語以外の言語を字幕表示させたい場合に選択してください。

字幕なし (標準値) : 字幕を表示しない

【ディスクメニュー言語】

複数の言語の音声が入音されている DVD を再生する際の、メニュー言語を設定します。どのような言語が用意されているかは、再生する DVD によって異なります。

日本語 (標準値) : 日本語のメニューを表示する
 英語 : 英語のメニューを表示する
 その他 : 設定したい言語の言語コードを入力する
 日本語と英語以外の言語を設定したい場合に選択してください。

画質設定

* DVD 停止中は、設定できません。再生中に設定してください。

クイック DVD で DVD を再生する場合の画質について、次の設定ができます。

明るさ／色合い／コントラスト／濃さ／ガンマ

それぞれについて、-50～50に設定できます。標準値は、すべて「0」に設定されています。再生画面を見ながら、好みの画質に設定してください。(Enter)キーを押すと設定が決定され、(Esc)キーを押すとキャンセルされます(**キボト**)。

本機能は、字幕やメニュー項目などには適用されません。

操作ガイド、キーガイドの表示

1 パソコン本体の【サイバーサポート】ボタン、またはキーボードの(F1)キーを押す

そのときの操作にあわせたガイドと、キーガイドを画面下部に表示できます。

1 回押すごとに、次のように切り替わります。

キーガイド表示 → 操作ガイド表示 → 表示なし → キーガイド表示…

5 クイックプレイの再インストール

クイックプレイは、購入時の状態では本製品にプレインストールされています。クイックプレイを削除してしまった場合の復元方法と、アップデートや削除の方法について説明します。

メモ

- クイックプレイの再インストールを行うと、各種設定値が初期状態に戻ります。

【必要なもの】

- 「クイックプレイ リカバリ CD-ROM」と書いてある CD-ROM
- 『応用にチャレンジ』（本書）、『さあ始めよう』

クイックプレイをアップデートする場合は、プログラムをホームページからダウンロードし、アップデート CD を作成する必要があります。詳細は弊社ホームページ「dynabook.com」の「サポート情報」→「ダウンロード」をご覧ください。

URL : http://dynabook.com/assistpc/download/index_j.htm

▶ 参照 『困ったときは 1 章 1-④ dynabook のサポート情報を見る』

1 操作手順

- 1 AC アダプタと電源コードを接続し、「クイックプレイ リカバリ CD-ROM」をセットして、パソコンの電源を切る

▶ 参照 CD のセット『さあ始めよう 2 章 4-① CD / DVD のセット』

- 2 キーボードの(F12)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
- 3 (→)または(←)キーでCDのアイコンにカーソルを合わせ、(Enter)キーを押す

[クイックプレイ機能の復元を開始します。] 画面が表示されます。

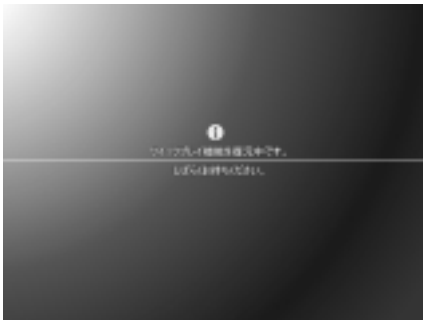
そのまま待つと、復元方法を選択する画面が表示されます。



- 4 購入時の状態に復元する場合は①キーを、クイックプレイをアップデートする場合は②キーを、クイックプレイを削除する場合は③キーを押す
④キーを押すと、何もしないで終了します。

【①キーを押した場合】

復元中のメッセージが表示されます。



しばらく待つと、終了のメッセージが表示されます。



何かキーを押して終了してください。

- **ハードディスクの終端に 100MB 以上の空き領域がない場合**

ハードディスクの終端に使用されていない 100MB 以上の未割り当て領域がないと、クイックプレイの復元はできません。

次のようなメッセージが表示されます。



何かキーを押すと、クイックプレイの復元を中止します。ハードディスクの終端に未割り当て領域を確保してから、復元をやり直してください。

● エラーメッセージが表示された場合

復元中に次のようなメッセージが表示された場合は、何かキーを押して終了してください。

メッセージ	対処方法
クイックプレイ機能の復元中にエラーが発生しました。	何かキーを押して終了し、もう一度クイックプレイの復元を最初からやり直してください。
この機種はサポートしていません。	使用しているパソコンは、クイックプレイに対応していません。クイックプレイの復元はできません。

【 ②キーを押した場合 】

アップデートCDの挿入をうながすメッセージが表示されます。



ドライブにアップデートCDをセットし、**(Enter)**キーを押してください。しばらく待つと、アップデート終了のメッセージが表示されます。



何かキーを押して終了してください。

- クイックプレイがインストールされていない場合

クイックプレイがインストールされていないと、アップデートはできません。削除してしまった場合は、アップデートしようとする時「クイックプレイ機能がインストールされていません。」というメッセージが表示されます。先にクイックプレイを購入時の状態に復元してから、アップデートしてください。

- 違う CD をセットした場合

正しいアップデート CD ではない CD をセットすると、「不明な CD です。」というメッセージが表示されます。正しい CD をセットして、(Y)キーを押してください。(N)キーを押すと、アップデートを中止して終了します。

- エラーメッセージが表示された場合

アップデート中に「クイックプレイ機能のアップデート中にエラーが発生しました。」というメッセージが表示された場合は、何かキーを押して終了し、クイックプレイのアップデートを最初からやり直してください。

【 (N)キーを押した場合 】

削除の確認メッセージが表示されます。



Ⓨキーを押してしばらく待つと、削除終了のメッセージが表示されます。



何かキーを押して終了してください。

- エラーメッセージが表示された場合

削除中に「クイックプレイ機能の削除中にエラーが発生しました。」というメッセージが表示された場合は、何かキーを押して終了し、クイックプレイの削除を最初からやり直してください。

4 リモコン

本製品には、リモコンが同梱されています。リモコンを使って、離れた場所からパソコンの機能の一部を操作することができます。

1) リモコンについて

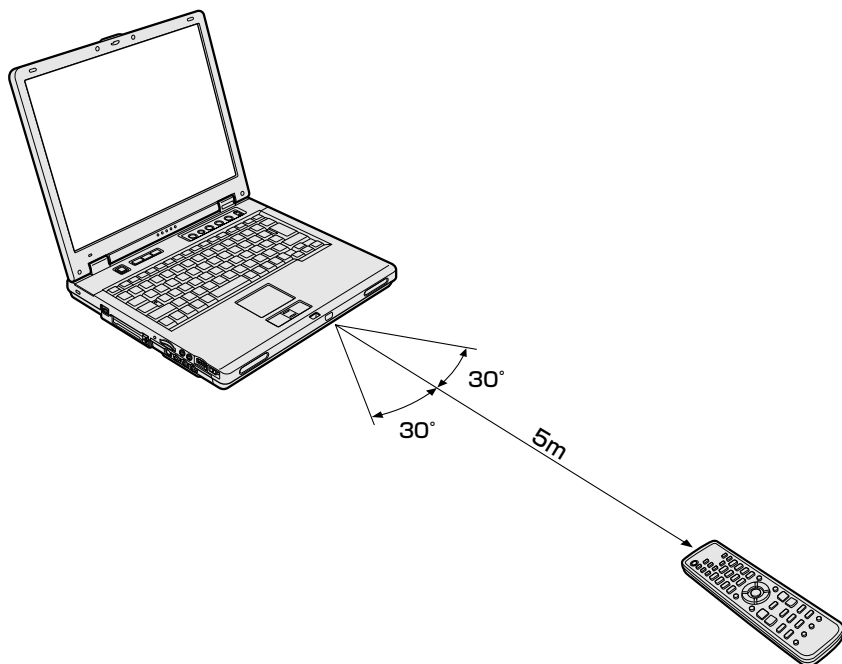
お願い 操作にあたって

- リモコンは本製品専用です。
- アプリケーションのなかには、リモコン操作に対応していないものもあります。

【使用範囲】

パソコン本体に向けてリモコンの操作ボタンを押します。使用範囲は、次の距離と角度を目安にしてください。

距離	赤外線受光窓正面より約 5m 以内
角度	赤外線受光窓正面より左右約 30 度以内、上下約 15 度以内



【使用時の注意】

使用範囲内でも、次のような場合はリモコンが誤動作したり操作できない場合があります。

- パソコン本体とリモコンの間に障害物があるとき
- 赤外線受光窓に直射日光や蛍光灯の強い光があたっているとき
- 赤外線受光窓、またはリモコンの発光部が汚れているとき
- 本製品とリモコンが複数台あるとき
- 電池が消耗してきたとき

2 電池の取り付け／取りはずし

リモコンを使用するには、同梱の電池をセットする必要があります。

⚠ 警告

- リモコンに使用している電池は、幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

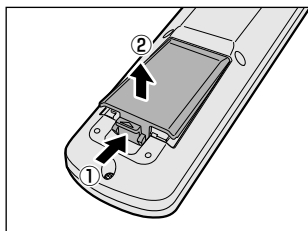
⚠ 注意

- リモコンに使用している電池の取り扱いについては、次のことを必ずお守りください。
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 極性表示 [(+) と (-)] を間違えて挿入しない
 - ・ 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
 - ・ 乾電池に表示されている [使用推奨期限] を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに使用しない
 - ・ 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない
 - ・ 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒には携帯、保管しない
 - ・ 使用済みの乾電池は、電極 [(+) と (-)] にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って保管、廃棄すること

これらを守らないと、発熱・液もれ・破裂などにより、やけど、けがの原因となります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

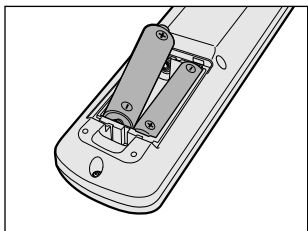
1 取り付け

1 リモコン裏側の電池カバーをあける



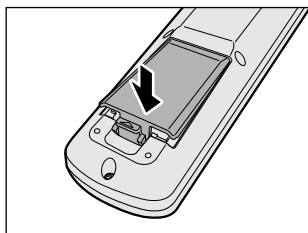
ツメ部分を矢印の方向に押しながら①、あけます②。

2 電池をセットする



+ (プラス)、- (マイナス) をよく確認してセットしてください。

3 電池カバーをしめる

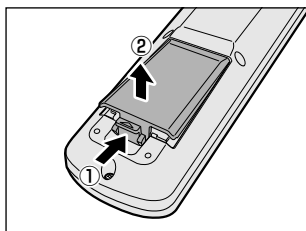


「カチッ」という音がするまで押ししてください。

2 取りはずし

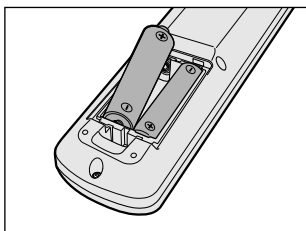
リモコンに使用している電池が消耗すると、リモコン操作ができなかったり、到達距離が短くなります。その場合は、市販の単3形の電池2本を購入のうえ、次のように電池を取りはずしてから、新しい電池を取り付けてください。

1 リモコン裏側の電池カバーをあける



ツメ部分を矢印の方向に押しながら①、あけます②。

2 電池を取り出す



3 リモコンの各部名称

リモコンの各ボタンの名称と機能は、次のようになっています。対応する番号の説明を参照してください。それぞれの機能の詳細は、各アプリケーションの説明をご覧ください。



「WinDVR」について

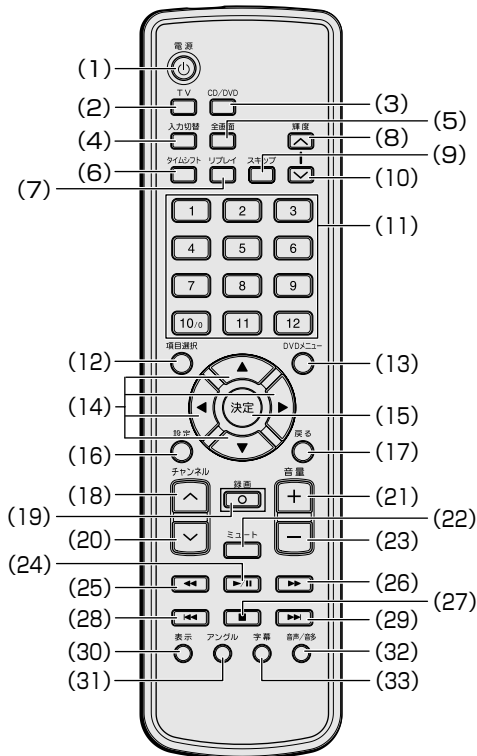
『dynabook 図解で読むマニュアル』、『InterVideo WinDVR ユーザーズ・マニュアル』

「WinDVD」について 『dynabook 図解で読むマニュアル』

「Windows Media Player」について

《サイバーサポート（検索）：音楽 CD やファイル、ムービーを再生したい》

クイックプレイについて「本章 3 クイックプレイを使う」



(1)電源

OSの起動／終了、クイックプレイの終了

(2)TV

「WinDVR」の起動／終了、クイックTVの起動

(3)CD/DVD

「Windows Media Player」、 「WinDVD」、クイックCD、クイックDVDの起動

(4)入力切替

映像入力信号（テレビアンテナ／S-Video／コンポジット）を切り替える

(5)全画面

Windows上で、テレビ／DVDの映像を全画面表示にする

(6)タイムシフト

「WinDVR」のタイムシフト機能を実行する

(7)リプレイ

録画再生またはDVD再生中に数十秒単位で戻す

(8)輝度A

内部液晶ディスプレイの輝度を明るくする

(9)スキップ

録画再生またはDVD再生中に数十秒単位でスキップする

(10)輝度V

内部液晶ディスプレイの輝度を暗くする

(11)数字

テレビ視聴またはCD／DVD再生において、チャンネルやチャプタ番号を選択する
[10/0] ボタンは「0（ゼロ）」として動作します。[10]、[11]、[12] ボタンはクイックTVでのみ動作します。

(12)項目選択

「WinDVR」、 「WinDVD」、 「Windows Media Player」の各メニューにおいて、項目を移動してカーソルをあわせる

(13)DVDメニュー

DVD再生において、トップメニューを表示する

(14)矢印

項目を移動してカーソルをあわせる

(15)決定

項目を決定する（Enterキーと同等）

(16)設定

TV視聴またはDVD再生において、設定メニューを表示する

(17)戻る

TV 視聴または DVD 再生において、直前の操作をキャンセルする (Esc キーと同等)

(18)チャンネル入

TV 視聴において、チャンネルを 1 つ進める

(19)録画

「WinDVR」において、録画を開始する

(20)チャンネルV

TV 視聴において、チャンネルを 1 つ戻す

(21)音量+

TV 視聴または CD / DVD 再生において、音量を上げる

(22)ミュート

TV 視聴または CD / DVD 再生において、消音 (ミュート) する

(23)音量-

TV 視聴または CD / DVD 再生において、音量を下げる

(24)再生/一時停止ボタン

CD / DVD 再生において、再生/一時停止する

(25)早戻しボタン

DVD 再生において、映像を早戻しする。またはクイック CD において、約 10 秒戻す

(26)早送りボタン

DVD 再生において、映像を早送りする。またはクイック CD において、約 10 秒スキップする

(27)停止ボタン

音楽/映像の再生を停止する

(28)逆送りボタン

CD / DVD 再生において、1 つ前の曲またはチャプタを再生する

(29)先送りボタン

CD / DVD 再生において、次の曲またはチャプタを再生する

(30)表示

クイックプレイ機能において、画面表示を切り替える

(31)アングル

DVD 再生において、再生画像のアングルを切り替える

(32)音声/音多

テレビ視聴またはクイック DVD において、音声の言語や音質を切り替える

(33)字幕

DVD 再生において、字幕の言語や表示/非表示を切り替える

リモコンの取り扱いと手入れ

リモコンを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所には置かないでください。
- 水をかけたり、湿気の多いものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。

5 ディスプレイ

本製品には表示装置として TFT 方式カラー液晶ディスプレイ（1024 × 768 ドット）が内蔵されています。ドットは画素数を表します。外部ディスプレイを接続して使用することもできます。

▶ 参照 外部ディスプレイの接続について
「3 章 5 外部ディスプレイを接続する」

表示について

TFT 方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られています。非点灯、常時点灯などの表示が存在することがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

1 ディスプレイの設定

このパソコンのディスプレイは、色や壁紙など、さまざまな表示を設定できます。

1 表示可能色数

設定した解像度によって、次にあげる色数まで表示できます。

2048 × 1536 ドット*1	1,677 万色
1920 × 1440 ドット	
1600 × 1200 ドット	
1400 × 1050 ドット	
1280 × 1024 ドット	
1024 × 768 ドット	
800 × 600 ドット	

* 1 Pentium モデルのみ



1280 × 1024 ドット以上は仮想スクリーン表示になります。

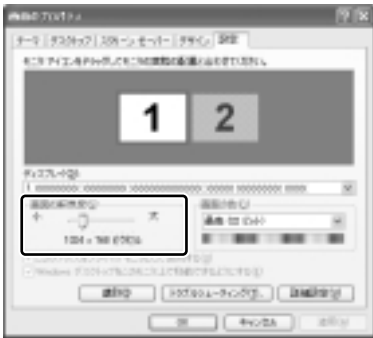
メモ

- 1,677万色はディザリング表示です。
ディザリングとは、1画素（画像表示の単位）では表現できない色（輝度）の階調を、数画素の組み合わせによって表現する方法です。
- 内部液晶ディスプレイへの表示の場合、1,677万色はディザリング表示です。内部液晶ディスプレイの解像度よりも小さい解像度で表示する場合、初期設定では表示領域部が画面いっぱい大きく表示されます。内部液晶ディスプレイの解像度よりも大きい解像度で表示する場合は仮想スクリーン表示となります。

2 解像度を変更する

解像度を変更すると、画面上のアイコン、テキスト、その他の項目が大きく、または小さく表示されます。

- 1 [コントロールパネル] を開き、[ デスクトップの表示とテーマ] をクリック→ [ 画面] をクリックする
[画面のプロパティ] 画面が表示されます。
- 2 [設定] タブの [画面の解像度] で、解像度を変更する



- 3 [OK] ボタンをクリックする

2 時間帯で壁紙を変える

「くるくる壁紙チェンジャー」を使って、デスクトップの壁紙を時間帯に応じて自動的に切り替えられます。また記念日や予定のある日には、イベントアイコンをデスクトップに表示できます。

「くるくる壁紙チェンジャー」を使用するには、あらかじめデスクトップの壁紙を [dynabookFun 壁紙] に設定する必要があります。[dynabookFun 壁紙] や「くるくる壁紙チェンジャー」の設定方法については、《サイバーサポート（検索）：壁紙の設定をしたい》をご覧ください。

起動方法

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [くるくる壁紙チェンジャー] をクリックする

ヘルプの起動方法

- 1 「くるくる壁紙チェンジャー」を起動後、[ヘルプ] ボタンをクリックする

お願い 液晶ディスプレイの取り扱い

画面の手入れ

- 画面の表面には偏光フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。
表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
液晶ディスプレイは、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。強い力を加えると配向が乱れ、発色や明るさが変わって元に戻らなくなる場合があります。また、ガラス板を破損するおそれもあります。
- 水滴などが長時間付着すると、変色やシミの原因になるので、すぐに拭き取ってください。


バックライト用蛍光管について

液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにバックライト用蛍光管が内蔵されています。バックライト用蛍光管は、消耗品となります。使用するにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、使用している機種を確認後、購入店、または保守サービスに相談してください。


6 ハードディスクドライブ

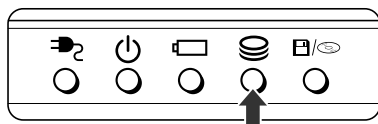
内蔵されているハードディスクドライブは、取りはずしできません。
PC カードタイプ（TYPE II）のハードディスクなどを使用して記憶容量を増やすことができます。


お願い 操作にあたって

- Disk  LED が点灯中は、パソコン本体を動かしたりしないでください。ハードディスクドライブが故障したり、データが消失するおそれがあります。
- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起こったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクやCD／DVDなどに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスク、フロッピーディスク、CD／DVDなどに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 磁石、スピーカ、テレビ、磁気プレスレットなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。

ハードディスクドライブに関する表示

内蔵のハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk  LED が点灯します。



PC カードタイプや USB 接続などの増設ハードディスクとのデータのやり取りでは、Disk  LED は点灯しません。

ハードディスクに記録された内容は、故障や損害の原因にかかわらず保証できません。万一故障した場合に備え、バックアップをとることを推奨します。

7 サウンド機能

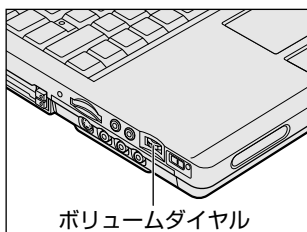
本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカがついています。

1) スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。スピーカの音量は、ボリュームダイヤル、および Windows のボリュームコントロールで調整できます。

1 ボリュームダイヤルで調整する

音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。



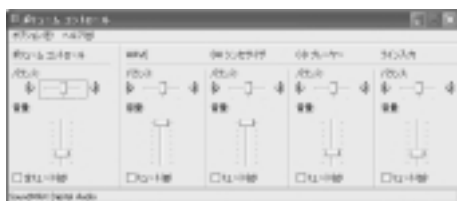
2 ボリュームコントロールで調整する

再生したいファイルごとに音量を調整したい場合、次の方法で調整できます。

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテイメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする

2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするるとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると消音となります。



【音楽／音声を再生するとき】

ボリュームコントロールの各項目では次の音量が調整できます。

ボリュームコントロール	全体の音量を調整する
WAVE	MP3 ファイル、Wave ファイル、音楽 CD (BeatJam、Windows Media Player の場合)、DVD-Video など
CD プレーヤー	音楽 CD (BeatJam、Windows Media Player 以外の場合)

また、使用するアプリケーションにより異なる場合があります。詳しくは『アプリケーションに付属の説明書』または『ボリュームコントロールのヘルプ』を確認してください。

2 音楽／音声の録音レベルを調整する

録音レベルの調整は、次のように行います。

1 パソコン上で録音するとき

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテイメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする
- 2 メニューバーの [オプション] → [プロパティ] をクリックする
- 3 [音量の調整] で [録音] をチェックする
- 4 [表示するコントロール] で表示項目を確認する
[マイク] がチェックされていることを確認します。
- 5 [OK] ボタンをクリックする
- 6 [録音コントロール] 画面で、使用するデバイスの [選択] をチェックする
[マイク]：外部マイクから録音するとき
- 7 選択したデバイスのつまみで音量を調節する
同時に2つのデバイスを選択することはできません。
録音したい音楽／音声がボリュームコントロールの [WAVE] 対応の場合、録音するときも [WAVE] の音量により影響を受けます。

3 サウンドのパワーマネージメントを設定する

本製品では、サウンドコントローラのパワーマネージメント機能を設定できるようになっています。

この機能が有効になっていると、サウンド機能が使われていないときにサウンドコントローラの電源を切ることができ、消費する電力を少し節約することができます。購入時は、本機能が有効に設定されています。

消費電力の節約の程度は、バッテリーの状態によって異なります。

1 サウンドコントローラの起動方法

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] をクリックする
- 2 [サウンド、音声、およびオーディオデバイス] をクリックする
- 3 [SoundMAX] をクリックする

2 パワーマネージメントの設定方法

- 1 [SoundMAX コントロールパネル] 画面で [電源管理] タブの [パワーモード] で設定したいモードを選択する



【パワーモード】

- パワーセービング解除
パワーセービングを解除します。
- ノーマル・パワーセービング
一定時間、サウンドコントローラが使われていないと、自動的にパワーセービングを行います。
- ハイ・パワーセービング
[タイマー設定] で、パワーセービングを行う時間を設定することができます。

- 2 [OK] ボタンをクリックする

4) マイクの設定を行う

本製品では、マイクから録音するときの設定を行うことができます。
[SoundMAX コントロールパネル] 画面の [マイク] タブで設定します。

参照 → [SoundMAX コントロールパネル] 画面の起動
「本節 3-1 サウンドコントローラの起動方法」



【マイクの設定】

使用しているマイクに適した入力状態を設定します。

- 標準マイク : 本製品の内蔵マイクまたは通常のデスクトップ型マイクを使用している場合
- ヘッドセット : マイクが口の正面に位置する装着型マイクを使用している場合

8 ドライブ

本製品には、DVDスーパーマルチドライブが1台内蔵されています。DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R、CD-RW、CD-Rの読み出し／書き込み機能を搭載したドライブです。


『安心してお使いいただくために』に、CD／DVDを使用するとき守ってほしいことが記述されています。

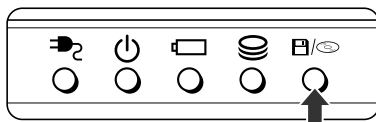
CD／DVDを使用する場合は、あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。

お願い DVD-Videoの再生にあたって

- DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。バッテリー駆動で再生する場合は「東芝省電力」で「DVD再生」プロファイルに設定してください。
- 使用するDVDディスクのタイトルによっては、コマ落ちしたり、マルチアングルシーンで一時停止ができない場合があります。

ドライブに関する表示

パソコン本体の電源が入っているとき、ドライブが動作しているときは、FDD/CD-ROM  LEDが点灯します。



1) 使用できるメディアと対応するアプリケーション

お願い

書き込み中は、シャットダウン、ログオフ、スタンバイなどを実行しないでください。

書き込みに使用できる、本製品に添付のアプリケーションは次のとおりです。

- RecordNow!
レコードナウ

参照 → 『dynabook 図解で読むマニュアル
オリジナル音楽CDを作る、データCDを作る』

参照 → 『困ったときは2章3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』

ディールエー

● DLA

参照 → 《サイバーサポート (検索) : データを CD/DVD にコピーしたい》

ウィンドーファイディークリエイター

プラチナム

● WinDVD Creator 2 Platinum

参照 → 『dynabook 図解で読むマニュアル 映像を編集して DVD に残す』

参照 → 『InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum ユーザーズ・マニュアル』

メディアにデータを書き込むとき、メディアの状態やデータの内容、またはパソコンの使用環境によって、実行速度は異なります。

使用できるメディア

○ : 使用できる × : 使用できない

	CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD+R	DVD-RW	DVD+RW	DVD-RAM
読み出し	○	○	○*1	○*1	○*1	○*1	○*1
書き込み回数	1回	繰り返し 書換可能*2	1回	1回	繰り返し 書換可能*2	繰り返し 書換可能*2	繰り返し 書換可能*2

* 1 使用するメディアによっては、読み出しができない場合があります。

* 2 実際に書き換えできる回数は、メディアの状態や書き込み方法により異なります。

アプリケーションと書き込み可能なメディア

○ : 使用できる × : 使用できない

【 RecordNow! 】

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD+R	DVD-RW	DVD+RW	DVD-RAM
○	○	○*1	○*1	○*1	○*1	×

* 1 DVD-Video、DVD-Audio の作成はできません。また、DVD プレーヤなどで使用することはできません。

【 DLA 】

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD+R	DVD-RW	DVD+RW	DVD-RAM
×	○*1	×	×	○*1	○*1	×

* 1 新品の CD-RW、DVD-RW、DVD+RW を「DLA」で使用するためには、あらかじめフォーマットが必要です。

【 WinDVD Creator 2 Platinum 】

「WinDVD Creator2 Platinum」には、「プロジェクトモード」と「ディスクマネージャ」の2つのモードがあります。各モードで使用できるフォーマット（映像を書き込むときの記録形式）が異なります。

プロジェクトモード	DVD-Video フォーマット
ディスクマネージャ	DVD-Video フォーマット、-VR フォーマット、+VR フォーマット

モードとフォーマットによって、書き込みできるメディアの種類が異なります。

プロジェクトモード(DVD-Video フォーマット)

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD+R	DVD-RW	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	○	○	○	○	○* ¹

* 1 DVD-Video フォーマットで記録されたDVD-RAMは、本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。

ディスクマネージャ(DVD-Video フォーマット)

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD+R	DVD-RW	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	×	×	○* ¹	×	×

* 1 再生するためには、ファイナライズを行ってください。
ディスクマネージャで作成したメディアのみ追記、再編集が可能です。

ディスクマネージャ(-VR フォーマット)

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD+R	DVD-RW	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	×	×	×	×	○

ディスクマネージャ(+VR フォーマット)

CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD+R	DVD-RW	DVD+RW	DVD-RAM
×	×	×	×	×	○* ¹	×

* 1 ディスクマネージャで作成したメディアのみ追記、再編集が可能です。

【 [マイコンピュータ] 上で書き込む場合 】

[マイコンピュータ] で目的のファイルやフォルダをドライブにコピーすると、パソコンで作成した文書データなどのファイルをメディアに書き込むことができます。*1
書き込み可能なメディアは、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAMです。
なお、これらのメディアはあらかじめフォーマットしておく必要があります。

* 1 CD-RW、DVD-RW、DVD+RW への書き込みは、「DLA」を使用してください。

参照 → CD-RW、DVD-RW、DVD+RW のフォーマット 《サイバーサポート
(検索) : データを CD/DVD にコピーしたい》

参照 → DVD-RAM のフォーマット 「本節 ④ DVD-RAM を使うときは」

2) 使用できる CD

【 読み出しできる CD 】

対応フォーマットによっては、再生ソフトが必要な場合があります。

- 音楽用 CD
8cm または 12cm の音楽用 CD が聴けます。
- フォト CD
普通のカメラで撮影した写真の画像をデジタル化して記録したものです。
- CD-ROM
使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのもので使用できます。
- CD エクストラ
記録領域は音楽データ用とパソコンのデータ用に分けられています。それぞれの再生装置で再生できます。
- CD-R
- CD-RW

【書き込みできる CD】

- CD-R
書き込みは 1 回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。
- CD-RW

書き込み速度は、使用するメディアによって異なります。

CD-R メディア : 最大 16 倍速

最大の倍速で書き込むためには書き込み速度に対応した CD-R メディアを使用してください。

マルチスピード CD-RW メディア : 最大 4 倍速

High-Speed CD-RW メディア : 最大 8 倍速

Ultra Speed CD-RW メディアは使用できません。使用した場合、データは保証できません。

お願い CD-RW、CD-R について

- CD-RW、CD-R に書き込む際には、次のメーカーのメディアを使用することを推奨します。
CD-RW (マルチスピード、High-Speed)
: 三菱化学 (株)、(株) リコー
CD-R : 太陽誘電 (株)、三菱化学 (株)、(株) リコー、日立マクセル (株)
これらのメーカー以外のメディアを使用すると、うまく書き込みができない場合があります。
- CD-R に書き込んだデータの消去はできません。
- CD-RW メディアは書き換え可能なメディアですが、「RecordNow!」で書き込んだファイルを変更したり、削除したりすることはできません。ファイルの変更・削除が必要な場合は、まず CD-RW メディアの消去を行い、改めて必要なファイルだけを書き込んでください。
「DLA」で CD-RW メディアに書き込んだファイルは、変更・削除することができます。
- CD-RW の消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されている際には、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

参照 ▶ エラーチェックの方法

『困ったときは 3 章 その他-Q. セーフモードで起動した』

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。CD-RW、CD-Rにデータなどを書き込む際は、メディアの状態をよくご確認ください。

3) 使用できる DVD

【読み出しできる DVD】

対応フォーマットによっては、再生ソフトが必要な場合があります。

- DVD-ROM ● DVD-Video (映像再生用です。映画などが収録されています)
- DVD-R ● DVD-RW ● DVD-RAM
- DVD+R
- DVD+RW

【書き込みできる DVD】

お願い

本製品のドライブでは、書き込み8倍速以上のDVD-R、DVD+Rメディアと、書き換え4倍速以上のDVD-RW、DVD+RWメディアを使用することはできません。

- DVD-R
書き込みは1回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。DVD-Rは、DVD-R for General Ver2.0規格に準拠したメディアを使用してください。
- DVD-RW
DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1規格に準拠したメディアを使用してください。
- DVD+R
- DVD+RW
- DVD-RAM
DVD-RAMは、DVD-RAM Ver2.0または2.1規格に準拠したメディアを使用してください。

【DVD-RAMの種類】

DVD-RAMにはいくつかの種類があります。本製品のドライブで使用できるDVD-RAMは次のとおりです。

カートリッジタイプのメディアは、カートリッジから取り出してドライブにセットしてください。両面ディスクで、読み出し／書き込みする面を変更するときは、一度ドライブからメディアを取り出し、裏返してセットし直してください。

○：使用できる ×：使用できない

DVD-RAMの種類	本製品の対応
カートリッジなし*1	○
カートリッジタイプ（取り出し不可）	×
カートリッジタイプ（取り出し可能）*2	○


* 1 一部の家庭用 DVD ビデオレコーダでは再生できない場合があります。

* 2 2.6GB、5.2GB のディスクは書き込みできません。

お願い

- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R に書き込む際には、次のメーカーのメディアを使用することを推奨します。
 DVD-RAM：松下電器産業（株）、日立マクセル（株）
 DVD-RW：日本ビクター（株）、三菱化学（株）
 DVD-R：松下電器産業（株）、太陽誘電（株）
 DVD+RW：三菱化学（株）、（株）リコー
 DVD+R：三菱化学（株）、（株）リコー
 これらのメーカー以外のメディアを使用すると、うまく書き込みができない場合があります。
- DVD-R、DVD+R に書き込んだデータの消去はできません。
- DVD-RW、DVD+RW メディアは書き換え可能なメディアですが、「RecordNow!」で書き込んだファイルを変更したり、削除したりすることはできません。ファイルの変更・削除が必要な場合は、まず DVD-RW、DVD+RW メディアの消去を行い、改めて必要なファイルだけを書き込んでください。
 「DLA」で DVD-RW、DVD+RW メディアに書き込んだファイルは、変更・削除することができます。
- DVD-RW、DVD+RW の消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されているときには、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。

- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R への書き込みでは、ファイルの管理領域なども必要になるため、メディアに記載された容量分のデータを書き込めない場合があります。
- DVD-RW、DVD-R への書き込みでは、DVD の規格に準拠するため、書き込むデータのサイズが約 1GB に満たない場合にはダミーのデータを加えて、最小 1GB のデータに編集して書き込みます。このため、実際に書き込もうとしたデータが少ないにもかかわらず、書き込み完了までに時間がかかることがあります。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

 参照 エラーチェックの方法

『困ったときは 3 章 その他-Q. セーフモードで起動した』

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R にデータなどを書き込むときは、メディアの状態をよくご確認ください。
- DVD-RAM をドライブにセットしたとき、システムが DVD-RAM を認識するまでに多少時間がかかります。

メモ

- 市販の DVD-R には業務用メディア (for Authoring) と一般用メディア (for General) があります。業務用メディアはパソコンのドライブでは書き込みできません。
一般用メディア (for General) を使用してください。
- 市販の DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R には「for Data」と「for Video」の 2 種類があります。映像を保存する場合や家庭用 DVD ビデオレコーダとの互換性を重視する場合は「for Video」を使用してください。

4 DVD-RAM を使うときは


ここでは、DVD-RAMに書き込みをする前に必要な操作について説明します。

1 フォーマットとは

新品のDVD-RAMは、使用する目的にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。

フォーマットとは、DVD-RAMにデータの管理情報（ファイルシステム）を記録し、DVD-RAMを使えるようにすることです。

フォーマットされていないDVD-RAMは、フォーマットしてから使用してください。ここでは、ファイルシステムとフォーマット方法について簡単に説明します。詳細はPDFマニュアルを確認してください。

 参照 「本項 2- PDF マニュアルを見る方法」

お願い

- フォーマットを行うと、そのDVD-RAMに保存されていた情報はすべて消去されます。一度使用したDVD-RAMをフォーマットする場合は注意してください。

ファイルシステム

DVD-RAMをフォーマットするときにファイルシステムを選択します。

ファイルシステムは、書き込むデータの種類や書き込み後のメディアを使用する機器に応じて選択します。また、映像データを書き込むときは、書き込み用のアプリケーションによって指定されている場合があります。

選択できるファイルシステムは「UDF2.0」「UDF1.5」「FAT32」です。

【UDF2.0】

-VRフォーマットに対応したファイルシステムです。
家庭用DVDビデオレコーダとの互換性があります。

【UDF1.5】

本製品で使用しているシステムの標準の機能で読み出しできるファイルシステムです。このファイルシステムのメディアは、本製品以外のWindows XP / 2000*¹がインストールされたパソコン*²でもデータを読み出すことができます。
家庭用DVDビデオレコーダとの互換性はありません。

- * 1 Windows 2000 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating System 日本語版
- * 2 DVD-RAM ドライブが搭載されていないパソコンで DVD-RAM を読み出すためには、DVD-RAM の読み出しに対応した DVD ドライブが搭載されている必要があります。

【 FAT32 】

本製品で使用しているシステムの標準の機能で読み出し／書き込みできるファイルシステムです。このファイルシステムのメディアは、本製品以外の Windows XP / Me *1 / 98 *2 がインストールされたパソコン*3 でもデータを読み出すことができます。家庭用 DVD ビデオレコーダとの互換性はありません。

- * 1 Windows Me ... Microsoft® Windows® Millennium Edition operating System 日本語版
- * 2 Windows 98 ... Microsoft® Windows® 98 SECOND Edition operating System 日本語版
- * 3 DVD-RAM ドライブが搭載されていないパソコンで DVD-RAM を読み出すためには、DVD-RAM の読み出しに対応した DVD ドライブが搭載されている必要があります。

2 フォーマット方法

Windows でのフォーマット方法を簡単に説明します。

1 フォーマットする DVD-RAM をセットする

参照▶ DVD-RAM のセット『さあ始めよう 2 章 4-① CD / DVD のセット』

2 [スタート] → [マイ コンピュータ] をクリックする

[マイ コンピュータ] 画面が表示されます。

3 [DVD-RAM ドライブ (D:)] をクリックする

[DVD-RAM ドライブ (D:)] が選択され、アイコンの色が反転します。

4 メニューバーの [ファイル] をクリックし①、表示されたメニューから [フォーマット] をクリックする②

アイコンを右クリックして表示されるメニューからも選択できます。



[DVDForm - D ドライブ] 画面が表示されます。

5 【ドライブ】 と 【フォーマット種別】 を選択する

映像を書き込み、家庭用 DVD ビデオレコーダで再生するための DVD-RAM を作成する場合は、[ユニバーサルディスクフォーマット (UDF2.0)] を選択してください。

パソコンで使用するための DVD-RAM を作成する場合は、[ユニバーサルディスクフォーマット (UDF1.5)] を選択してください。

6 ボリュームラベル名を入力する

UDF 形式を選択した場合は、必ず入力してください。

7 【開始】 ボタンをクリックする

物理フォーマットを行う場合は、[物理フォーマットを実行する] をチェックしてから、[開始] ボタンをクリックしてください。

物理フォーマットを行うと、DVD-RAM 上の全セクタを検査し、不良セクタの代替処理を行います（通常は行う必要はありません）。物理フォーマットを行う場合は、フォーマットが完了するまでに時間がかかります。

メッセージが表示されます。

8 メッセージの内容を確認し、【はい】 ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。

画面下のバーは進行状況を示しています。フォーマットが完了すると、メッセージが表示されます。

9 メッセージの内容を確認し、【OK】 ボタンをクリックする

これで、フォーマットは完了です。

他の DVD-RAM も続けてフォーマットする場合は、DVD-RAM を入れ替えて、手順 5 から実行します。

フォーマットを終了する場合は、[DVDForm - D ドライブ] 画面で [閉じる] ボタンをクリックしてください。

PDF マニュアルを見る方法

1 【スタート】 → 【すべてのプログラム】 → 【DVD-RAM】 → 【DVD-RAM ドライバー】 → 【DVD-RAM ディスクの使い方】 をクリックする

「Adobe Reader」が起動し、PDF マニュアルが表示されます。

お願い CD / DVD の取り扱いと手入れ

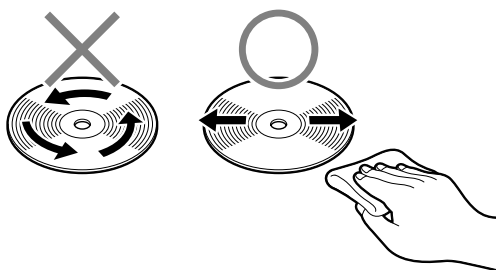
CD / DVD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってください。

- 傷、汚れをつけないよう、取り扱いには十分にご注意ください。
- CD / DVD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD / DVD を読み込むことができなくなります。
- CD / DVD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD / DVD の上に重いものを置かないでください。
- CD / DVD は専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD / DVD を持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD / DVD のデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD / DVD のレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンなどを使用してください。

ボールペンなど、先の硬いものを使用しないでください。

- CD / DVD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

拭き取りは円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにし、乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。



9 SDメモ리카ード/メモリースティック

SDメモ리카ードまたはメモリースティックをSDカード/メモリースティックスロットに差し込んで、データの読み出しや書き込みができます。

1 SDメモ리카ードについて


本製品のSDカード/メモリースティックスロットでは、マルチメディアカードは使用できません。

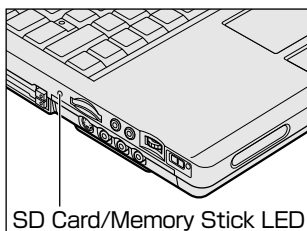
お願い SDメモ리카ードの使用にあたって

- SDメモ리카ードは、SDMIの取り決めに従って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐための著作権保護技術を搭載しています。そのため、他のパソコンなどで取り込んだデータが著作権保護されている場合は、本製品でコピー、再生することはできません。SDMIとはSecure Digital Music Initiativeの略で、デジタル音楽データの著作権を守るための技術仕様を決めるための団体のことです。
- あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- SDメモ리카ードは、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐSDMIに準拠したデータを取り扱うことができます。メモリの一部を管理データ領域として使用するため、使用できるメモリ容量は表示の容量より少なくなっています。
- SDIOカードを使用する場合、必ず本製品で動作が確認されている製品*1を使用してください。その他のSDIOカードを使用すると、システムの動作が不安定になることがあります。

*1 2004年5月現在、弊社製SDIOカード「Bluetooth™ SDカード2」(型番:PABSD001)のみ対応しています。

1 SDカード/メモリースティックスロットに関する表示

パソコン本体に電源が入っている場合、SDメモ리카ード/メモリースティックとデータをやり取りしているときは、SD Card/Memory Stick  LEDが点灯します。




新品のSDメモ리카ードは、使用するシステム（OS）にあわせて「フォーマット」という作業が必要です。フォーマット方法については、《サイバーサポート（検索）：SDメモ리카ードをフォーマットする》をご覧ください。

2 SDメモ리카ードのセットと取り出し

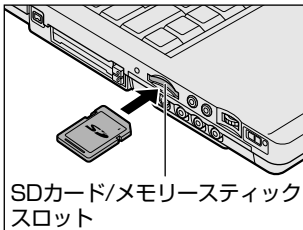
SDメモ리카ードをSDカード/メモリースティックスロットに挿入することを「SDメモ리카ードをセットする」といいます。

お願い

- SD Card/Memoy Stick  LED が点灯中は、電源を切ったり、SDメモ리카ードを取り出したり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データやSDメモ리카ードが壊れるおそれがあります。
- SDメモ리카ードは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しく押し込まれていない場合、パソコンの動作が不安定になったり、SDメモ리카ードが壊れるおそれがあります。

1 セット



1 SDメモ리카ードのラベルを貼られた面を上にして、SDカード/メモリースティックスロットに挿入する



奥まで挿入します。

2 取り出し

1 SDメモ리카ードの使用を停止する

- ① 通知領域の [ハードウェアの安全な取り外し] アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューから [XXXX (取りはずす SDメモ리카ード) を安全に取り外します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、[閉じる] ボタン () をクリックする

2 SDメモ리카ードを押す

カードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

3 SDメモ리카ードの内容を見る

著作権保護を必要としない画像や音声、テキストなどの一般的なファイルは、次の手順で見ることができます。

1 [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックする

[マイコンピュータ] 画面が表示されます。

2 [リムーバブルディスク (E:)] (標準値) をダブルクリックする

セットした SDメモ리카ードの内容が表示されます。

3 メモリースティックについて

本製品の SD カード / メモリースティックスロットでは、Memory Stick Specification V1.3 準拠のメモリースティックを取り付けて使用できます。使用できるメモリースティックの種類は次のとおりです。

- メモリースティック
- マジックゲートメモリースティック

本製品は、著作権保護技術 MagicGate には対応していません。本製品では、著作権保護を必要としないデータの読み出し / 書き込みのみできます。

- メモリースティック Duo

メモリースティック Duo に付属のメモリースティック Duo アダプタを取り付けてから、使用してください。

お願い メモリースティックの使用にあたって

- すべてのメモリースティックの動作確認は行っていません。
したがって、すべてのメモリースティックの動作は保証できません。
- メモリースティックの詳しい使いかたなどについては『メモリースティックに付属の説明書』を確認してください。

新品のメモリースティックは、メモリースティックの規格にあわせてフォーマットされた状態で販売されています。

フォーマットとは、メモリースティックにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、メモリースティックを使えるようにすることです。


再フォーマットをする場合は、メモリースティックを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤなど）で行ってください。

メモリースティックを使用する機器でのフォーマット方法については、『使用する機器に付属の説明書またはヘルプ』を確認してください。

4 メモリースティックのセットと取り出し

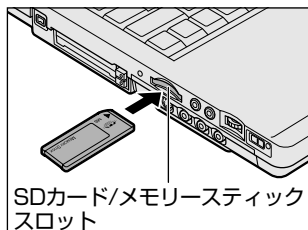
メモリースティックをSDカード／メモリースティックスロットに挿入することを「メモリースティックをセットする」といいます。

お願い

- SD Card/Memory Stick  LED が点灯中は、電源を切ったり、メモリースティックを取り出したり、パソコン本体を動かしたりしないでください。
データやメモリースティックが壊れるおそれがあります。
- スタンバイ中は、メモリースティックを取り出さないでください。データが消失するおそれがあります。
- メモリースティックは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しく挿し込まれていない場合、パソコンの動作が不安定になったり、メモリースティックが壊れるおそれがあります。

1 セット



- 1 メモリースティックの表裏を確認し、表を上にして、SDカード/メモリースティックスロットに挿入する



奥まで挿入します。

2 取り出し

- 1 メモリースティックの使用を停止する

- ① 通知領域の [ハードウェアの安全な取り外し] アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューから [USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブを安全に取り外します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、[閉じる] ボタン () をクリックする

- 2 メモリースティックを押す

メモリースティックが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

3 メモリースティックの内容を見る

著作権保護を必要としない画像や音声、テキストなどの一般的なファイルは、次の手順で見ることができます。

- 1 [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックする
[マイコンピュータ] 画面が表示されます。
- 2 [リムーバブルディスク (E:)] (標準値) をダブルクリックする
セットしたメモリースティックの内容が表示されます。

10 ワンタッチボタン

本製品には、簡単にインターネットブラウザソフトやメールソフトなどを起動することができる、3つのワンタッチボタンがあります。

各ボタンを押すと設定されているアプリケーションが起動します。

起動するアプリケーションは、「東芝コントロール」で自由に変更できます。購入時に各ボタンに設定されているアプリケーションは次のとおりです。

- インターネットボタン Internet Explorer
- メールボタン Microsoft Office Outlook
- サイバーサポートボタン サイバーサポート

【パソコン本体の電源が入っていないとき】




電源が入り、Windows 起動後、設定されているアプリケーションが起動します。

【スタンバイ状態／休止状態のとき】

スタンバイ状態／休止状態を実行する直前の状態が再現されてから、設定されているアプリケーションが起動します。

1 ボタンを割り当てるアプリケーションを変更する

各ボタンを押したときに起動するアプリケーションや、動作を設定することができます。

- 1 【コントロールパネル】を開き、[ プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- 2 [ 東芝コントロール] をクリックする
[東芝コントロールのプロパティ] 画面が表示されます。
- 3 [ボタン] タブで変更するボタン名の下 [ ボタン] をクリックする



ボタンに設定できる動作の一覧が表示されます。

4 [アプリケーションの指定] を選択する

[指定] 画面が表示されます。

このとき、他の項目を選択した場合は手順 8 に進んでください。

5 [参照] ボタンをクリックする



[ファイルを開く] 画面が表示されます。

6 ボタンに設定したいアプリケーション名をクリックし、[開く] ボタンをクリックする

[指定] 画面に戻ります。

[アプリケーション名] に、選択したアプリケーション名が表示されていることを確認してください。

7 [OK] ボタンをクリックする

[東芝コントロールのプロパティ] 画面に戻ります。

割り当てたいボタンの欄に、選択したアプリケーション名が表示されていることを確認してください。



8 [OK] ボタンをクリックする

2章

通信機能

本製品に内蔵されている通信に関する機能を説明しています。

ブロードバンドでインターネットに接続する方法や、他のパソコンと通信する方法、海外でインターネットに接続するときに必要な設定について紹介します。

-
- 1 LANへ接続する 88
 - 2 内蔵モデムについて 105

1 LANへ接続する

パソコンをインターネットに接続する前に、コンピュータウイルスへの対策を行ってください。

コンピュータウイルスとは、パソコンにトラブルを発生させるプログラムのことで、ハードディスクやデータの一部を破壊するものもあります。

本製品には、ウイルスチェックソフトとして「ノートン Norton Internet Security」が用意されています。『さあ始めよう 3章』をお読みになり、必ずウイルスチェックソフトのインストールと設定を行い、定期的にウイルスチェックを行ってください。設定したソフトは常に最新のバージョンに更新するようにしてください。

参照 ▶ コンピュータウイルスについて
『さあ始めよう 3章 1 ウイルスチェックをする』

1 ケーブルを使ったLAN接続（有線LAN）

本製品には、ブロードバンド対応のLAN機能が内蔵されています。

LANコネクタにADSLモデムやケーブルモデムを接続し、ブロードバンドでインターネットに接続することができます。ブロードバンドに必要なネットワーク機器や設定などについて、詳しくは契約しているプロバイダに問い合わせてください。

また、本製品のLAN機能は、Fast Ethernet（100BASE-TX）、Ethernet（10BASE-T）に対応しています。LANコネクタにLANケーブルを接続し、ネットワークに接続することができます。LANコネクタにLANケーブルを接続すると、Fast Ethernet / Ethernet を自動的に検出して切り替えます。

1 LANケーブルの接続

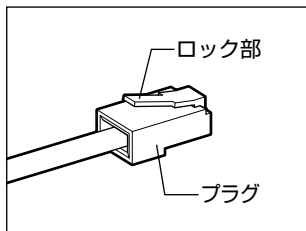
お願い LANケーブルの使用にあたって

- LANケーブルは市販のものを使用してください。同梱のモジュラーケーブルは、アナログ電話回線専用です。LANコネクタには接続できません。
- LANケーブルをパソコン本体のLANコネクタに接続した状態で、LANケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。LANコネクタが破損するおそれがあります。

LAN インタフェースを 100BASE-TX 規格（100Mbps）で使用するとき、必ずカテゴリ 5（CAT5）以上のケーブルおよびコネクタを使用してください。

10BASE-T 規格（10Mbps）で使用するとき、カテゴリ 3（CAT3）以上のケーブルが使用できます。

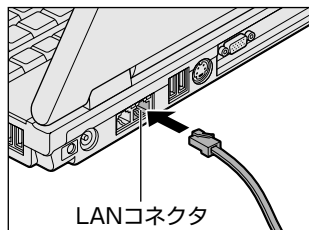
カテゴリとは、ネットワークで使用されるケーブルの種類を分類したもので、数字が高いほど品質が高くなります。



LAN ケーブルをはずしたり差し込むときは、プラグの部分を持って行ってください。また、はずすときは、プラグのロック部を押しながらかはすしてください。ケーブルを引っ張らないでください。

1 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る

2 LAN ケーブルのプラグをパソコン本体の LAN コネクタに差し込む



ロック部を上にして、パチンと音がするまで差し込んでください。

LAN ケーブルはモジュラーケーブルと似ているので、間違えないよう注意してください。

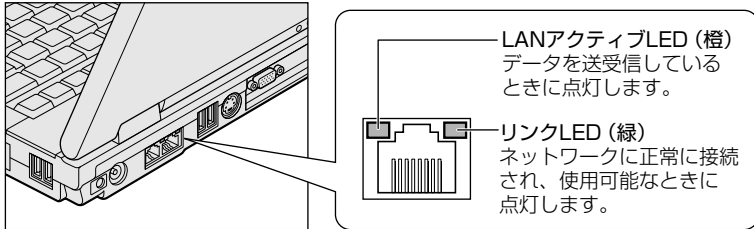
プラグの差し込み部分に線が 8 本あるのが、LAN ケーブルです。

3 LAN ケーブルのもう一方のプラグを接続先のネットワーク機器のコネクタに差し込む

ネットワーク機器の接続先やネットワークの設定は、『ヘルプとサポート』を参照してください。《サイバーサポート》で、[検索対象] を [Windows XP ヘルプ] にして質問を入力し、検索することもできます。また会社や学校で使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

2 LANコネクタに関するインジケータ

LAN コネクタの両脇には、LAN インタフェースの動作状態を示す 2 つの LED があります。




3 Windowsのネットワーク設定

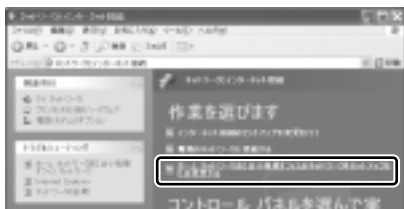
ネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワークの設定内容は、ネットワーク環境によって異なります。

購入時はコンピュータによって仮の値が設定されています。接続するネットワークのネットワーク管理者の指示に従って設定を行ってください。また、セットアップが終了し、Windows の起動時に、ネットワークパスワードを入力する必要がある場合があります。接続するネットワークのネットワーク管理者の指示に従って、パスワードを入力してください。

お願い

ご購入時は、ネットワークの設定は既定値になっています。Windows のセットアップ時に LAN ケーブルを接続していると、ネットワークの設定が既定値のままネットワークに接続してしまい、ネットワークに障害をもたらす場合があります。必ず、LAN ケーブルをはずした状態で Windows のセットアップを行ってください。

- 1 [コントロールパネル] を開き、[ ネットワークとインターネット接続] をクリックする
- 2 [ホームネットワークまたは小規模オフィスのネットワークをセットアップまたは変更する] をクリックする



[ネットワークセットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。画面に従って操作してください。

コンピュータ名とワークグループは必ずネットワーク管理者の指示に従って設定してください。コンピュータ名が重複すると、エラーメッセージが表示されますので、必ず重複しないコンピュータ名を付けてください。

2 ケーブルを使わないLAN接続（無線LAN）

* 無線LANモデルのみ

無線LANとは、パソコンにLANケーブルを接続しない状態で使用できる、ワイヤレスのLAN機能のことです。モデムやルータの位置とは関係なく、無線通信のエリア内であればあらゆる場所からコンピュータをLANシステムに接続できます。無線LANアクセスポイント（別売り）を使用することによって、複数のパソコンからワイヤレスでブロードバンド環境を実現できます。

1 無線LANの概要

本製品には IEEE802.11b および IEEE802.11g に準拠した無線 LAN モジュールが内蔵されています。次の機能をサポートしています。

- 転送レート自動選択機能
次の転送レートから選択可能です。
54、48、36、24、18、12、9、6Mbps (IEEE802.11g の場合)
11、5.5、2、1Mbps (IEEE802.11b の場合)
- 周波数チャンネル選択 (2.4GHz 帯)
- マルチチャンネル間のローミング
- パワーマネージメント
- データ暗号化 (WEP128bit)

【無線LANの種類】

無線 LAN は、IEEE802.11b および IEEE802.11g に準拠する無線ネットワークです。無線 LAN は IEEE802.11g の場合は最大 54Mbps、IEEE802.11b の場合は最大 11Mbps の転送レートをサポートしています。

- IEEE802.11g では「直交周波数分割多重方式」(Orthogonal Frequency Division Multiplexing, OFDM)、IEEE802.11b では「直接拡散方式」(Direct Sequence Spread Spectrum, DSSS) を採用し、IEEE802.11 に準拠する他社の無線 LAN システムと完全な互換性を持っています。
- Wi-Fi Alliance 認定の Wi-Fi (Wireless Fidelity) ロゴを取得しています。Wi-Fi ロゴは、IEEE802.11 に準拠する他社の無線 LAN 製品との通信が可能な無線機器であることを意味します。
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。

お願い 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利 (プライバシー保護) に関する重要な事項です！)

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物 (壁など) を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
メールの内容
などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っているので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

無線LAN内蔵ノートパソコンのセキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、東芝PCダイヤル（巻末参照）までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

お願い 暗号化

WEP（暗号化）機能を使用しないと、無線LAN経由で部外者による不正アクセスが容易に行えるため、不正侵入や盗聴、データの消失、破壊などにつながる危険性があります。

そのためWEP機能を設定されることを強くおすすめいたします。

 [WEP機能の設定「本項 4-WEP機能を設定する」](#)

お願い 無線 LAN を使用するにあたって

- 無線 LAN の無線アンテナは、できるかぎり障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。無線通信の範囲を最大限有効にするには、ディスプレイを開き、本や分厚い紙の束などの障害物でディスプレイを覆わないようにしてください。また、パソコンとの間を金属板で遮へいしたり、無線アンテナの周囲を金属性のケースなどで覆わないようにしてください。
 - 無線 LAN は無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、「付録 6-5 お客様に対するお知らせ」を確認してください。
 - 本製品の無線 LAN を使用できる地域については、同梱の『ご使用できる国／地域について』を確認してください。
-

2 無線LANネットワークの種類

無線LANネットワークには、次のような機能があります。

- 無線LANステーション同士を直接ワイヤレス接続する
- 無線LANアクセスポイント経由で、インターネットやその他の無線LANステーションに接続する

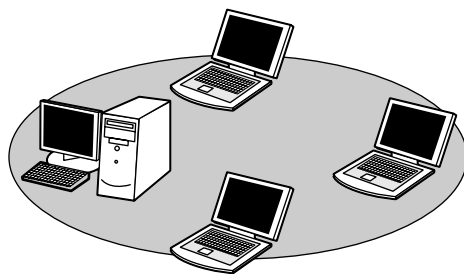
▶ 参照 「本項 2- ピア・ツー・ピアワークグループ」

▶ 参照 「本項 2- インフラストラクチャネットワーク」

ピア・ツー・ピアワークグループ

無線LANアクセスポイントを持たない環境（Small Office/Home Office（SOHO）など）で一時的なネットワークを構築する方法です。ピア・ツー・ピアワークグループを設定することで、小規模な無線ネットワークを構築できます。ステーション同士が互いの通信範囲内にある場合は、これが最も簡単かつ低コストに無線ネットワークを構築する方法です。

このワークグループでは、Microsoft ネットワークでサポートされているような「ファイルとプリンタの共有」などの機能を使用したファイル交換ができます。家族や友人同士でデータを共有したり、ファイルのやり取りをしたい場合などに便利です。



ピア・ツー・ピアワークグループでネットワークを構築するには、設定が必要です。

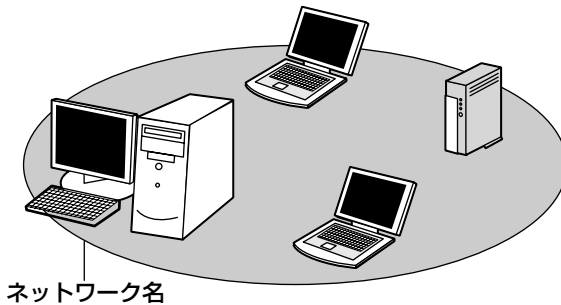
▶ 参照 ピア・ツー・ピアワークグループの設定について 「本項 3 基本設定」

インフラストラクチャネットワーク

無線 LAN アクセスポイントを使用して、バックボーンとなるネットワークに接続し、すべてのネットワーク設備に無線 LAN 機器でアクセスできる方法です。LAN のバックボーンネットワークは、次のどちらでもアクセスできます。

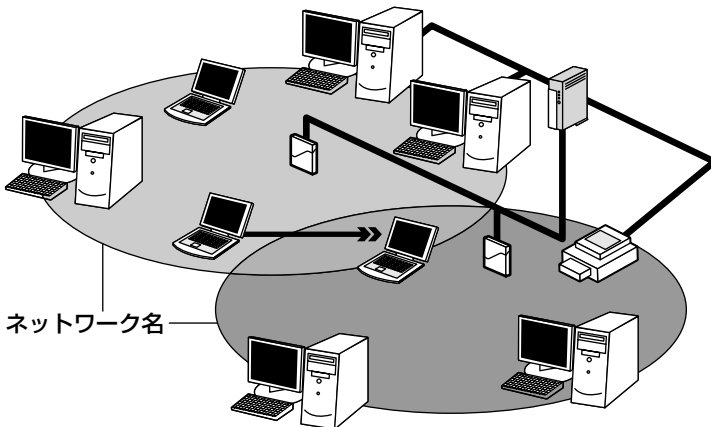
【スタンドアロンネットワーク】

無線 LAN アクセスポイントのみで構築したネットワークです。



【インフラストラクチャネットワーク】

無線 LAN アクセスポイントを既存の有線ネットワークに組み込み、既存の有線ネットワークをバックボーンネットワークとするネットワークです。



どちらの場合も、ネットワークに接続するには設定が必要です。


参照 ネットワーク接続のための設定について 「本項 3 基本設定」

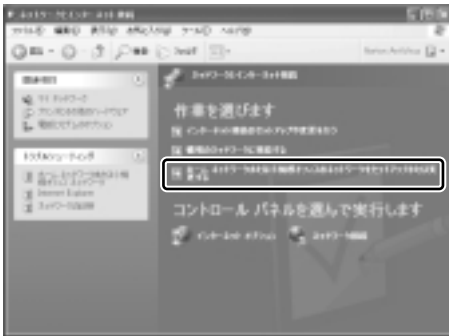
3 基本設定

無線LAN ネットワークに接続するには、接続するネットワークに応じた設定が必要です。

Windows XPは、標準で無線LAN ネットワークに対応しています。

ネットワーク設定の方法

- 1 [コントロールパネル] を開き、[ ネットワークとインターネット接続] をクリックする
- 2 [ホームネットワークまたは小規模オフィスのネットワークをセットアップまたは変更する] をクリックする



[ネットワークセットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。画面に従って操作してください。

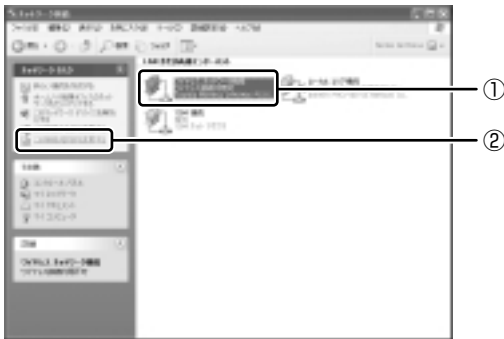


4 詳細設定

無線 LAN は、ほとんどのネットワーク環境において基本的な設定だけで動作します。インフラストラクチャネットワークに接続している場合の詳細設定は、[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ] 画面で行います。

プロパティ画面の表示

- 1 [スタート] → [マイコンピュータ] を開き、[その他] の [マイネットワーク] をクリックする
- 2 [ネットワークタスク] の [ネットワーク接続を表示する] をクリックする
[ネットワーク接続] 画面が表示されます。
- 3 [ワイヤレスネットワーク接続] を選択し①、[ネットワークタスク] の [この接続の設定を変更する] をクリックする②



[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ] 画面が表示されます。



設定を変更したあと、[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

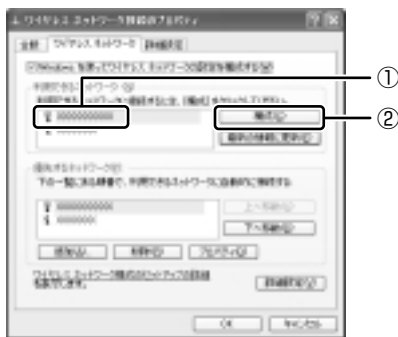
WEP 機能を設定する

WEP (Wired Equivalent Privacy) とは、無線で伝送されるデータを暗号化する機能です。WEPでの暗号化には128ビット、64ビットの2種類があり、プロパティ画面で設定できます。

1 [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ] 画面を開く

参照▶「本項 4- プロパティ画面の表示」

2 [ワイヤレスネットワーク] タブの [利用できるネットワーク] でネットワーク名をクリックし①、[構成] ボタンをクリックする②



[ワイヤレスネットワークのプロパティ] 画面が表示されます。

3 [データの暗号化] で ▼ ボタンをクリックし、[WEP] を選択する



4 ネットワークキーを設定する

ネットワークキーの設定がわからない場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

- ネットワークキーが自動的に提供される場合

[キーは自動的に提供される] がチェックされていることを確認する

- ネットワークキーが自動的に提供されない場合

① [キーは自動的に提供される] のチェックをはずす

② [ネットワークキー] と [ネットワークキーの確認入力] にネットワークキーを入力する

入力する文字の種類によって文字数が決められています。また、文字数によって設定されるセキュリティのレベルが異なります。ネットワーク上で接続する機器同士は同じセキュリティレベルに設定してください。

セキュリティレベル	文字の種類と文字数	
	半角英数文字	16進数
高 (128ビット)	13文字	26文字
低 (64ビット)	5文字	10文字

ネットワークキーは「**** (アスタリスク)」で表示されます。

5 [OK] ボタンをクリックする

手順4で指定以外の文字数でネットワークキーを入力するとエラーメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックしてメッセージを閉じ、もう1度手順4からやり直してください。

5 無線LANを使う

ここでは、ネットワークに接続している他のパソコンの確認について説明します。

警告

- パソコン本体を航空機に持ち込む場合、ワイヤレスコミュニケーションスイッチをオフ（手前側）にし、必ずパソコン本体の電源を切ってください。ワイヤレスコミュニケーションスイッチをオンにしたまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器に影響を与える場合があります。また、航空機内でのパソコンのご使用は、必ず航空会社の指示に従ってください。

1 本体左側面にある、ワイヤレスコミュニケーションスイッチを On 側にスライドする



ワイヤレスコミュニケーション (無線LAN) LED が点灯します。

無線 LAN 機能が起動します。

無線 LAN 機能が起動すると、パソコンは自動的に利用できるネットワークを検索します。

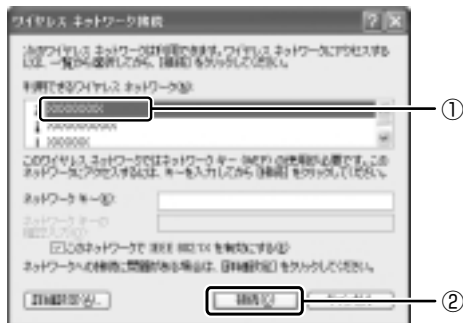
利用できるネットワークが検出された場合、通知領域にメッセージが表示されます。

2 [ワイヤレスネットワーク接続] アイコン (無線LANアイコン) を右クリックし、表示されたメニューから [利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

[ワイヤレスネットワーク接続] 画面が表示されます。

3 [利用できるワイヤレスネットワーク] の使いたいネットワークを選択し①、[接続] ボタンをクリックする②

WEP 機能を設定しているネットワークに接続するときは [ネットワークキー] にネットワークキーを入力し、[接続] ボタンをクリックしてください。



接続できると、通知領域に [ワイヤレスネットワーク接続 に接続しました] とメッセージが表示されます。

4 [スタート] → [マイコンピュータ] を開き、[その他] の [マイネットワーク] をクリックする

5 [ネットワークタスク] の [ワークグループのコンピュータを表示する] をクリックする

無線 LAN でつながれた、他のパソコンなどのデバイスが表示されます。

役立つ 操作集

通信状態を確認する

[ワイヤレスネットワーク接続] アイコンをクリックすると [ワイヤレスネットワーク接続の状態] 画面が表示され、接続の状態、接続継続時間、通信速度、シグナルの強さなど動作状況がわかります。

ヘルプの起動

無線 LAN の詳しい情報は『ヘルプとサポート』を参照してください。

《サイバーサポート》で [検索対象] を [Windows XP ヘルプ] にして質問を入力し、検索することもできます。

3 ネットワーク設定に便利な機能

本製品に用意されている「ConfigFree^{コンフィグフリー}」を使うと、次のようなネットワーク設定に便利な機能が使えます。

- ネットワークの診断を行い、問題があればその原因や対応策を表示します。
- 自宅やオフィスなどのネットワーク設定をプロファイルとして登録しておけば、プロファイルを選択するだけでネットワーク設定やネットワークデバイスを切り替えられます。
- 有線 LAN ケーブルが抜かれたときに、自動で無線 LAN に切り替えます。^{*1}
- 無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名 (SSID) に接続すると、そのネットワークで作成されていたプロファイルに自動的に切り替わります。^{*1}
- 近隣で使われている無線 LAN デバイスの SSID を検出し、信号の強度に応じて仮想のマップ上に表示します。^{*1}

など

* 1 無線 LAN モデルの場合や PC カードタイプなどの無線 LAN 機器を接続した場合のみ使用できます。

他にも便利な機能が色々用意されています。

詳細については『ファーストユーザーズガイド』をご覧ください。

「ConfigFree」は、コンピュータの管理者のユーザアカウントで使用してください。

ファーストユーザーズガイドの起動方法


- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [ネットワーク] → [ConfigFree ファーストユーザーズガイド] をクリックする

「ファーストユーザーズガイド」が表示されます。

左側に主な目次が並んでいますので、目的の項目をクリックすると右側に説明が表示されます。




「ConfigFree」の起動方法

購入時の状態では、Windows を起動すると通知領域に「ConfigFree」のアイコン () が表示されています。

「ConfigFree」を終了させた場合は、次の手順で起動してください。

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [ネットワーク] → [ConfigFree] をクリックする

[ConfigFree (ネットワーク診断)] 画面が表示されます。

[タスクトレイに常駐する] をチェックすると、通知領域にアイコン () が表示されます。

「ConfigFree」を起動したときは、「ConfigFree」の説明画面が表示されます。以降必要のない場合は、[次回から表示しない] をチェックし、[閉じる] ボタンをクリックして画面を閉じてください。

「ConfigFree」の詳細については、『ファーストユーザーズガイド』またはヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

- 1 「ConfigFree」を起動して、表示された画面の [ヘルプ] ボタンをクリックする

[ConfigFree ヘルプ] 画面が表示されます。

2 内蔵モデムについて

内蔵モデムを使用する場合、モジュラーケーブルを2線式の電話回線に接続します。内蔵モデムは、ITU-T V.90に準拠しています。通信先のプロバイダがV.90以外の場合は、最大33.6Kbpsで接続されます。

お願い 内蔵モデムの操作にあたって

- モジュラーケーブルをパソコン本体のモジュラージャックに接続した状態で、モジュラーケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。モジュラージャックが破損するおそれがあります。
- 市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に悪影響を与えることがあります。
- 回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの（未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの）を使用してください。

1 海外でインターネットに接続する

本製品の内蔵モデムで使用できる国／地域については、「付録5 技術基準適合について」を参照してください。

海外でモデムを使用する場合、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」による地域設定を行います。設定方法については、《サイバーサポート（検索）：海外でインターネットに接続したい》をご覧ください。

本製品を日本で使用する場合は、必ず日本モードで使用してください。他地域のモードで使用するすると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。

地域設定は、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」でのみ行ってください。「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」以外で地域設定の変更をした場合、正しく変更できない場合があります。

3章

周辺機器の接続

パソコンでできることをさらに広げたい。そのためには周辺機器を接続して、機能を拡張しましょう。本製品に取り付けられるさまざまな周辺機器の取り付けかたや各種設定について説明しています。

-
- 1 周辺機器について 108
 - 2 PC カードを接続する 110
 - 3 USB 対応機器を接続する 113
 - 4 テレビを接続する 115
 - 5 外部ディスプレイを接続する 120
 - 6 i.LINK (IEEE1394) 対応機器を接続する 122
 - 7 その他の機器を接続する 124
 - 8 メモリを増設する 128

1 周辺機器について

周辺機器とは、パソコンに接続して使う機器のことです。周辺機器を使うと、パソコンの性能を高めたり、機能を広げることができます。

周辺機器については、それぞれの機器に付属の説明書もあわせてお読みください。周辺機器には、次のようなものがあります。本製品では、すでにパソコンに内蔵されているものもあります。

- プリンタ
- ハードディスクドライブ（本製品では内蔵）
- PC カード
- モデム（本製品では内蔵）
- スキャナ
- フロッピーディスクドライブ
- マウス（本製品では同梱）
- デジタルカメラ
- 増設メモリ*1

*1 増設の際は、メモリ購入前に「本章 8 メモリを増設する」をご覧ください。

参照 ▶ 周辺機器の接続場所『さあ始めよう 2 章 1 各部の名前』

周辺機器によってインターフェースなどの規格が異なります。本製品に対応しているか確認してから購入してください。インターフェースとは、機器を接続するときのケーブルやコネクタの形状などの規格のことです。

お願い 取り付け／取りはずしにあたって

取り付け／取りはずしの方法は周辺機器によって違います。本章の各節を読んでから作業をしてください。またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。

- ホットインサクションに対応していない周辺機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、電源コネクタから AC アダプタのプラグを抜き、電源コードを電源コンセントからはずし、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行ってください。ホットインサクションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
- 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
- ホコリが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
- 極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
- 静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
- 本書で説明している場所のネジ以外は、取りはずさないでください。
- 作業時に使用するドライバは、ネジの形、大きさに合ったものを使用してください。
- 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
- パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向をあわせてください。

- ケーブルのコネクタに固定用ネジがある場合は、パソコン本体のコネクタに接続した後、ケーブルがはずれないようにネジを締めてください。
- パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

1 周辺機器を使う前に

周辺機器を使用する場合は、その機器を使用するための準備や設定が必要です。

1 ドライバをインストールする

周辺機器を使うには、ドライバや専用のアプリケーションのインストールが必要です。ドライバはあらかじめパソコンに用意されている場合と、周辺機器に添付のフロッピーディスクやCD-ROMを使う場合があります。

【自動的に対応（プラグアンドプレイ）している場合】

Windows には、あらかじめたくさんのドライバが用意されています。

周辺機器を接続すると Windows がドライバの有無をチェックし、対応したドライバが見つかったら、自動的にインストールを開始します。

[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。



【自動的に対応（プラグアンドプレイ）していない場合】

[ハードウェアの追加ウィザード] を起動するか、機器に付属の説明書を確認し、ドライバのインストールや必要な設定を行ってください。

[ハードウェアの追加ウィザード] は、次のように起動します。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [関連項目] の [ハードウェアの追加] をクリックする

2 PC カードを接続する

目的に合わせた PC カード^{ピーシー}を使うことにより、パソコンの機能が大きく広がります。PC カードには、次のようなものがあります。

- ISDN カード
- SCSI カード^{スキャシー}
- 無線 LAN カード
- フラッシュメモリカード用アダプタカード など

1 PC カードを使う前に

本製品は、PC Card Standard 準拠の TYPE II / III 対応のカード（CardBus 対応カードも含む）を使用できます。

使用するタイプによって取り付け可能なスロットは異なりますので、よく確認してください。

スロット 0 に TYPE III の PC カードを取り付けたときは、スロット 1 に PC カードを取り付けることはできません。

使用スロット：1（上側）	TYPE II
使用スロット：0（下側）	TYPE II / III

PC カードの大部分は電源を入れたままの取り付け／取りはずし（ホットインサクション）に対応しているので便利です。

使用している PC カードがホットインサクションに対応しているかどうかなど、詳しい使いかたについては『PC カードに付属の説明書』を確認してください。

お願い

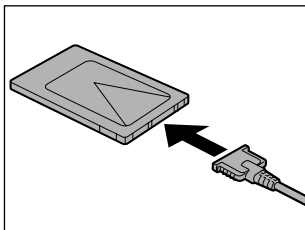
- ホットインサクションに対応していない PC カードを使用する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから取り付け／取りはずしを行ってください。
- PC カードには、長い時間使用していると熱を帯びるものがあります。PC カードを取りはずす際に、PC カードが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてから PC カードを取りはずしてください。
- PC カードの使用停止は必ず行ってください。使用停止せずに PC カードを取りはずすとシステムが致命的影響を受ける場合があります。

2) PCカードを使う

PCカードを使う場合、パソコン本体のPCカードスロットにPCカードを取り付けてください。

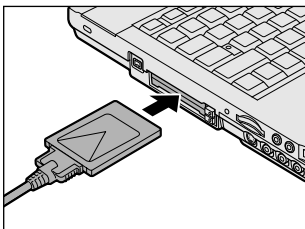
1 取り付け

1 PCカードにケーブルを付ける



SCSIカードなど、ケーブルの接続が必要なときに行います。

2 PCカードの表裏を確認し、表を上にして挿入する



カードは無理な力を加えず、静かに奥まで押してください。きちんと奥まで差し込まれていない場合、PCカードを使用できない、またはPCカードが壊れる場合があります。


カードを接続した後、カードが使用できるように設定されているか確認してください。


2 取りはずし

お願い

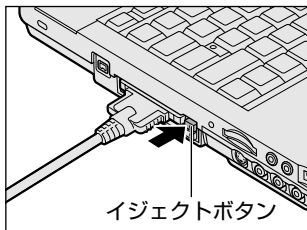
取りはずすときは、PCカードをアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してください。

1 PCカードの使用を停止する

- ① 通知領域の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコン () をクリックする

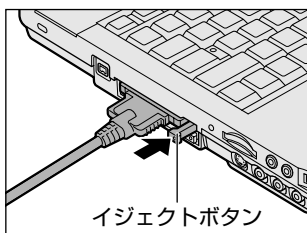
- ② 表示されたメニューから [XXXX (取りはずす PC カード) を安全に取り外します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、[閉じる] ボタン () をクリックする

2 イジェクトボタンを押す



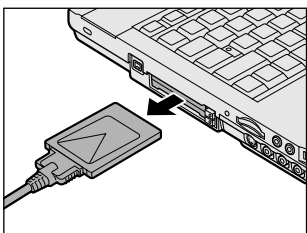
イジェクトボタンが出てきます。

3 もう 1 度イジェクトボタンを押す



「カチッ」と音がするまで押してください。
カードが少し出てきます。

4 カードをしっかりとつかみ、抜く



カードを抜くときはケーブルを引っ張らないでください。
故障するおそれがあります。
熱くないことを確認してから行ってください。

5 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンが収納されていない場合は、イジェクトボタンを押して収納します。

3 USB 対応機器を接続する

USB 対応機器は、電源を入れたままの取り付け／取りはずしができ、プラグアンドプレイに対応しています。

USB 対応機器には次のようなものがあります。

- USB 対応マウス
- USB 対応プリンタ
- USB 対応スキャナ
- USB 対応ターミナルアダプタ など

本製品の USB コネクタには USB2.0 対応機器と USB1.1 対応機器を取り付けることができます。

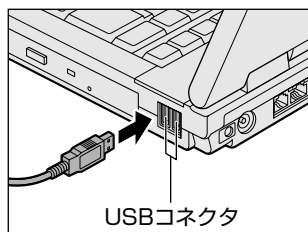
お願い 操作にあたって

- 電源供給を必要とする USB 対応機器を接続する場合は、USB 対応機器の電源を入れてからパソコン本体に接続してください。
- USB 対応機器を使用するには、システム (OS)、および機器用ドライバの対応が必要です。
- すべての USB 対応機器の動作確認は行っていません。したがってすべての USB 対応機器の動作は保証できません。
- USB 対応機器を接続したままスタンバイまたは休止状態にすると、復帰後 USB 対応機器が使用できない場合があります。その場合は、USB 対応機器を接続し直るか、パソコンを再起動してください。

1 取り付け

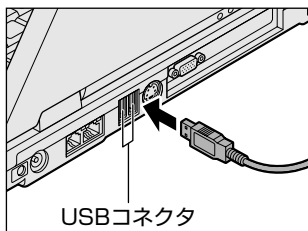
1 USB ケーブルのプラグをパソコン本体の USB コネクタに差し込む

【右側面】



プラグの向きを確認して差し込んでください。

【背面】





- 2 USBケーブルのもう一方のプラグをUSB対応機器に差し込む
この手順が必要ない機器もあります。USB対応機器についての詳細は、『USB対応機器に付属の説明書』を確認してください。

2 取りはずし

お願い

- 取りはずすときは、USB対応機器をアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してください。
- MOドライブなど、記憶装置のUSB対応機器を取りはずす場合は、データが消失するおそれがあるため、必ず使用停止の手順を行ってください。

1 USB対応機器の使用を停止する

- ① 通知領域の [ハードウェアの安全な取り外し] アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューから [XXXX (取りはずす USB 対応機器) を安全に取り外します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、[閉じる] ボタン () をクリックする

- 2 パソコン本体とUSB対応機器に差し込んであるUSBケーブルを抜く

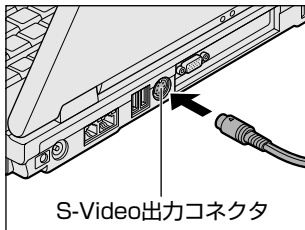
4 テレビを接続する

本製品の^{エスビデオ}S-Video出力コネクタとテレビをS端子ケーブルで接続すると、テレビ画面に表示させることができます。

接続するS端子ケーブルは、4ピンコネクタのケーブルを使用してください。

1 取り付け

- 1 S端子ケーブルのプラグをパソコン本体のS-Video出力コネクタに差し込む



- 2 S端子ケーブルのもう一方のプラグをテレビのS1/S2映像入力端子に差し込む

音声はパソコンのスピーカーで聞か、ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続して聞いてください。

2 テレビに表示する

テレビに表示するには次の設定を行ってください。設定を行わないと、テレビには表示されません。



お願い

- 必ず、DVD-Videoなどを再生する前に、表示装置の切り替えを行ってください。再生中は表示装置を切り替えないでください。
- 次のようなときには、表示装置を切り替えないでください。
 - ・データの読み出しや書き込みをしている間
 - ・通信を行っている間

メモ

テレビに表示する場合は、1024×768ドット以下の解像度でご覧ください。

【方法1 – [画面のプロパティ] で設定する】

- 1 [コントロールパネル] を開き、[ デスクトップの表示とテーマ] をクリックする
- 2 [ 画面] をクリックする
[画面のプロパティ] 画面が表示されます。
- 3 [設定] タブで [詳細設定] ボタンをクリックする
- 4 [Intel(R) Extreme Graphics 2 for Mobile] タブで [グラフィックのプロパティ] ボタンをクリックする
- 5 [デバイス] タブで表示する装置を選択する



✓ が付いているアイコンが現在の表示装置です。

変更するときは画面左側の表示装置のアイコンをクリックしたあと、形式を選択します。

- 内部液晶ディスプレイだけに表示
[ノートブック] アイコンをクリックしてください。
- テレビだけに表示
[テレビ] アイコンをクリックしてください。
「ビデオ標準」では 10 種類のモードが表示されますが、次の 3 つのみ使用してください。
 - ・NTSC-M (米国仕様の TV 受信機)
 - ・NTSC-J (日本仕様の TV 受信機)
 - ・PAL-B (ヨーロッパ仕様の TV 受信機)
- 外部ディスプレイだけに表示
[PC モニタ] アイコンをクリックしてください。
- Clone 表示 (クローン表示)
2 つの表示装置それぞれにデスクトップ画面を表示します。
 - ① [Intel(R) Dual Display Clone] アイコンをクリックする


②表示に合わせた設定をする

項目	プライマリデバイス	セカンダリデバイス
内部液晶ディスプレイと外部ディスプレイで Clone 表示	ノートブック	PC モニタ
内部液晶ディスプレイとテレビで Clone 表示	ノートブック	テレビ

● 拡張表示

2つの表示装置を1つの大きなデスクトップ画面として使用できます。内部液晶ディスプレイと外部液晶ディスプレイまたはテレビの両方にクローン表示している場合、[画面のプロパティ] から拡張表示を設定できません。(Ctrl)+(Alt)+(F12)キーを押して設定画面を表示し、次のように操作します。

① [拡張デスクトップ] アイコンをクリックする

[拡張デスクトップ] アイコンが表示されていない場合は、 ボタンをクリックしてください。

②表示に合わせた設定をする

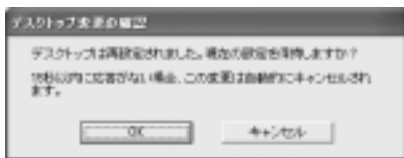
項目	プライマリデバイス	セカンダリデバイス
内部液晶ディスプレイと外部ディスプレイで拡張表示	ノートブック	PC モニタ
内部液晶ディスプレイとテレビで拡張表示	ノートブック	テレビ

メモ

内部液晶ディスプレイと外部ディスプレイを Clone 表示 (クローン表示) または拡張表示に設定する場合、外部ディスプレイにノイズが発生したときは、外部ディスプレイの解像度、色数、あるいはリフレッシュレートを下げてください。設定は Clone 表示 (クローン表示) または拡張表示に設定したあと、[デバイス] タブの [デバイス設定] ボタンをクリックし、表示される画面で行います。

6 [OK] ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



7 [OK] ボタンをクリックする

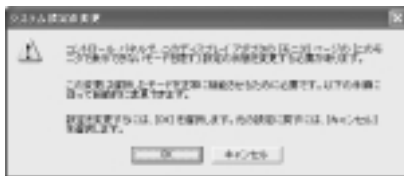
8 [OK] ボタンをクリックする

9 [画面のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

【メッセージについて】

設定の途中で、次のメッセージが表示された場合は、[OK] または [[はい] ボタンをクリックしてください。

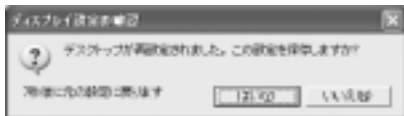
- [システム設定の変更] 画面



- [ディスプレイ設定] 画面



- [ディスプレイ設定の確認] 画面



【方法2 - (Fn) + (F5) キーを使う】

(Fn) キーを押したまま (F5) キーを押すと、表示装置を選択する画面が表示されます。カーソルは現在の表示装置を示しています。(Fn) キーを押したまま (F5) キーを押すたびに、カーソルが移動します。表示する装置にカーソルが移動したら、(Fn) キーを離すと表示装置が切り替わります。

- 表示装置をLCD（内部液晶ディスプレイ）に戻す方法


現在の表示装置がLCD（内部液晶ディスプレイ）以外に設定されている場合、表示装置をLCDに戻すことができます。表示装置を選択する画面が表示されていない状態で、**(Fn)+(F5)**キーを3秒以上押し続けてください。

表示装置に何も表示されず、選択する画面が表示されているか確認できない場合は、いったんキーボードから指を離してから、**(Fn)+(F5)**キーを3秒以上押し続けてください。



- LCD 内部液晶ディスプレイだけに表示
- LCD / CRT 内部液晶ディスプレイと外部ディスプレイに同時表示
- CRT 外部ディスプレイだけに表示
外部ディスプレイを接続している／していないに関わらず、外部ディスプレイだけに表示されます。
内部液晶ディスプレイには何も表示されません。
- LCD / TV 内部液晶ディスプレイとテレビに同時表示
- TV テレビだけに表示
テレビを接続している／していないに関わらず、テレビだけに表示されます。
内部液晶ディスプレイには何も表示されません。

「方法1」で「拡張表示」に設定した場合は、**(Fn)+(F5)**キーで表示装置を切り替えられません。「方法1」の手順で表示装置を切り替えてください。また、複数のユーザで使用する場合、ユーザアカウントを切り替えるときは「Windowsのログオフ」画面で「ログオフ」を選択して切り替えてください。「ユーザーの切り替え」で切り替えた場合は、**(Fn)+(F5)**キーで表示装置を切り替えられません。

 参照 ユーザアカウントの切り替え《できる dynabook》

3 取りはずし

- 1 パソコンの電源を切った後、パソコン本体とテレビに差し込んであるS端子ケーブルを抜く

5 外部ディスプレイを接続する

フルサイズ

RGB コネクタにケーブルを接続して、外部ディスプレイに表示させることができます。

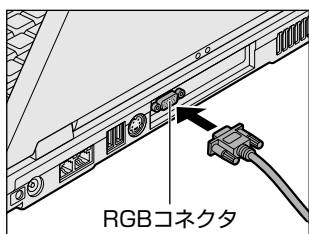
パソコンの電源を切ってから接続してください。

メモ

使用可能なディスプレイは解像度により異なります。解像度にあったディスプレイを接続してください。

1 接続

1 外部ディスプレイのケーブルのプラグを RGB コネクタに差し込む



外部ディスプレイを接続してパソコン本体の電源を入れると、本体は自動的にその外部ディスプレイを認識します。

取りはずすときは、RGB コネクタからケーブルのプラグを抜きます。

2 表示装置を切り替える

外部ディスプレイを接続した場合には次の表示方法があります。

- 外部ディスプレイだけに表示する
- 外部ディスプレイと内部液晶ディスプレイに同時表示する
- 内部液晶ディスプレイだけに表示する

「東芝省電力」で表示自動停止機能を設定して外部ディスプレイの表示が消えた場合、キーあるいはタッチパッドの操作により表示が復帰します。また、スタンバイに設定してある場合は、電源スイッチを押してください。

表示が復帰するまで 10 秒前後かかることがあります。故障ではありません。

【切り替え方法】

表示装置を切り替える方法は、テレビに表示する場合を確認してください。

参照 → テレビ接続について「本章 4-2 テレビに表示する」

メモ

外部ディスプレイと内部液晶ディスプレイを同時表示させる場合は、外部ディスプレイ／内部液晶ディスプレイとも、内部液晶ディスプレイの色数／解像度で表示されます。

3 表示について

外部ディスプレイに表示する場合、表示位置や表示幅などが正常に表示されない場合があります。この場合は、外部ディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。

参照 → ビデオモードについて「付録 1-3 サポートしているビデオモード」

6 i.LINK (IEEE1394) 対応機器を接続する

アイリンク アイトリプルイーイチサンキューヨン

i.LINK (IEEE1394) コネクタ (i.LINK コネクタとよびます) に接続します。

i.LINK (IEEE1394) 対応機器 (i.LINK 対応機器とよびます) には次のようなものがあります。

- i.LINK 対応デジタルビデオカメラ
- i.LINK 対応ハードディスクドライブ
- i.LINK 対応 MO ドライブ
- i.LINK 対応プリンタ

i.LINK 対応機器の詳細については、『i.LINK 対応機器に付属の説明書』を確認してください。

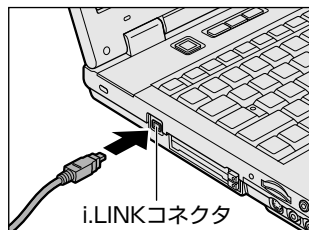
お願い 操作にあたって

- 静電気が発生しやすい場所や電氣的ノイズが大きい場所での使用時には注意してください。外来ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障、静電気や電氣的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめ了承してください。
- ビデオカメラから取り込んだ画像データ、音声データは、個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- デジタルビデオカメラなどを使用し、データ通信を行っているときに他の i.LINK 対応機器の取り付け／取りはずしを行うと、データがコマ落ちする場合があります。i.LINK 対応機器の取り付け／取りはずしは、データ通信を行っていないときまたはパソコン本体の電源を入れる前に行ってください。
- i.LINK 対応機器を使用するには、システム (OS) および周辺機器用ドライバの対応が必要です。
- すべての i.LINK 対応機器の動作確認は行っていません。したがって、すべての i.LINK 対応機器の動作は保証できません。
- ケーブルは規格に準拠したもの (S100、S200、S400 対応) を使用してください。詳細については、ケーブルのメーカーに問い合わせてください。
- 3m 以内の長さのケーブルを使用してください。
- 取り付ける機器によっては、スタンバイまたは休止状態にできなくなる場合があります。
- i.LINK 対応機器を接続してアプリケーションから使用している間は、i.LINK 対応機器の取り付け／取りはずしや電源コードと AC アダプタの取りはずしなど、パソコン本体の省電力設定の自動切り替えを伴う操作を行わないでください。行った場合、データの内容は保証できません。
- i.LINK 対応機器とパソコン本体の間でデータ転送している間は、スタンバイまたは休止状態にしないでください。データの転送が中断される場合があります。

1 取り付け

1 ケーブルのプラグを i.LINK コネクタに差し込む



プラグの向きを確認して差し込んでください。



2 ケーブルのもう一方のプラグを i.LINK 対応機器に差し込む

2 取りはずし

1 i.LINK 対応機器の使用を停止する

- ① 通知領域の [ハードウェアの安全な取り外し] アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューから取りはずす i.LINK 対応機器を選択する
- ③ 「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、[閉じる] ボタン () をクリックする

* i.LINK 対応機器の種類によっては、手順 1 は必要ありません。

2 パソコン本体と i.LINK 対応機器に差し込んであるケーブルを抜く

3 i.LINKによるネットワーク接続

システム (OS) が Windows XP で i.LINK コネクタがあるパソコン同士を i.LINK (IEEE1394) ケーブルで接続すると、2 台で通信ができます。ネットワークの設定については、『ヘルプとサポート』を参照してください。《サイバーサポート》で [検索対象] を [Windows XP ヘルプ] にして質問を入力し、検索することもできます。

1 ケーブルの一方のプラグをパソコン本体の i.LINK コネクタに接続する

2 ケーブルのもう一方のプラグを、接続する機器の i.LINK コネクタに接続する

7 その他の機器を接続する

本製品には、ここまで説明してきた他にも、さまざまな機器を接続できます。

1) マイクロホン

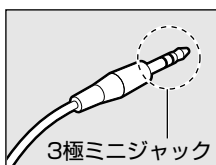
マイク入力端子には、マイクロホンを接続できます。

本製品にはサウンド機能が内蔵されています。

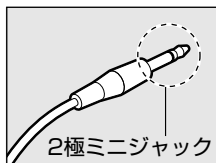
参照 ▶ サウンド機能について「1章 7 サウンド機能」

1 使用できるマイクロホン

本製品で使用できるマイクロホンは次のとおりです。



- モノラルマイクのみ使用できます。
- プラグは3.5mm φ 3極ミニジャックタイプが使用できます。



3.5mm φ 2極ミニジャックタイプのマイクロホンでもマイクロホン本体にバッテリーなどを内蔵し、電源供給を必要としないマイクロホンであれば使用できます。

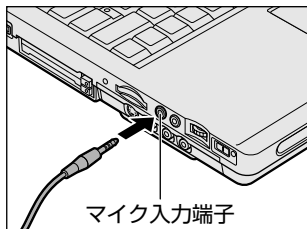
音声認識ソフトとあわせて使用する場合は、各アプリケーションの取り扱い元が推奨するマイクロホンを使用してください。

本製品には、音声認識ソフト「LaLaVoice」が用意されています。

参照 ▶ 「LaLaVoice」について
《サイバーサポート（検索）：パソコンを音声で操作したい》

2 接続

1 マイクロホンのプラグをマイク入力端子に差し込む



取りはずすときは、マイク入力端子からマイクロホンのプラグを抜きます。

2 ヘッドホン

ヘッドホン出力端子に接続します。

ヘッドホンのプラグは、直径 3.5mm ϕ ステレオミニジャックタイプを使用してください。

お願い

次のような場合にはヘッドホンを使用しないでください。雑音が発生する場合があります。

- ・パソコン本体の電源を入れる／切るとき
- ・ヘッドホンの取り付け／取りはずしをするとき

本製品にはサウンド機能が内蔵されています。

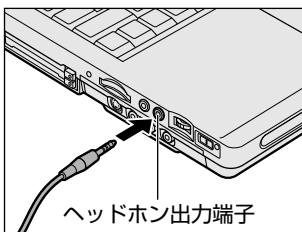
ヘッドホンの音量はボリュームダイヤル、または Windows のボリュームコントロールで調節してください。

ボリュームコントロールは、次のように操作して起動します。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテインメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする

1 接続

1 ヘッドホンのプラグをヘッドホン出力端子に差し込む



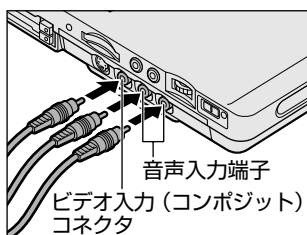
取りはずすときは、ヘッドホン出力端子からヘッドホンのプラグを抜きます。

3 アナログのビデオカメラやビデオデッキなど

本製品にケーブルを使ってアナログのビデオカメラやビデオデッキなどを接続すると、映像を取り込むことができます。取り込んだ映像は、編集したり、DVDに書き込んだりできます。

1 ビデオケーブルの接続

- 1 ビデオケーブルのプラグをパソコン本体の音声入力端子（赤：音声右、白：音声左）、ビデオ入力（コンポジット）コネクタ（黄）に差し込む

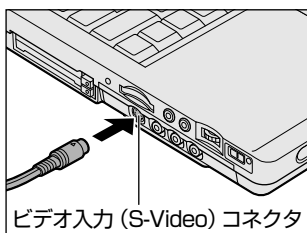


取りはずすときは、音声入力端子、ビデオ入力（コンポジット）コネクタからビデオケーブルのプラグを抜きます。

- 2 ビデオケーブルのもう一方のプラグを接続する機器の出力端子に差し込む

2 S端子ケーブルの接続

- 1 S端子ケーブルのプラグをパソコン本体のビデオ入力（S-Video）コネクタに差し込む



取りはずすときは、ビデオ入力（S-Video）コネクタからS端子ケーブルのプラグを抜きます。

- 2 S端子ケーブルのもう一方のプラグを接続する機器の出力端子に差し込む

音声は、ビデオケーブルで音声入力端子（赤：音声右、白：音声左）に接続して聞いてください。

ケーブルでアナログのビデオカメラやビデオデッキなどを接続したら、「WinDVR」を起動してください。

[スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideo WinDVR] → [InterVideo WinDVR] をクリックすると起動します。

「WinDVR」の使いかたについては、同梱の『InterVideo WinDVR ユーザーズ・マニュアル』をご覧ください。また、「1章 1-4 「WinDVR」を使う」もよくお読みください。

8 メモリを増設する

増設メモリスロットに増設メモリを取り付けることができます。

本製品には2つの増設メモリスロット（スロットAとスロットB）があり、スロットA（下段）はすでに256MBまたは512MBのメモリが取り付けられています。別売りの増設メモリをスロットB（上段）に取り付けたり、スロットAのメモリを付け替えることができます。

取り付けることのできるメモリの容量は、2つのスロットを合わせて、Pentiumモデルの場合は最大2GBまで、Celeronモデルの場合は最大1GBまでです。

Celeronモデルの場合、別売りの増設メモリ1GB（タイプ1）：PAME1001を取り付けるときは、あらかじめ取り付けられているメモリを取りはずしてください。

警告

- 本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると、感電ややけどのおそれがあります。

注意

- ステーブル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないでください。ショート、発煙のおそれがあります。万一、機器内部に入った場合は、バッテリーを取りはずし、電源を入れずに、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。
- 増設メモリの取り付け／取りはずしは、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行ってください。電源を入れたまま取り付け／取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。
- 電源を切った直後はやけどするおそれがありますので増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。電源を切った後30分以上たってから行うことをおすすめします。

お願い

- パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにゴミが付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。
- 増設メモリを強く押ししたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 増設メモリは、コネクタに差し込む部分ではなく両端（切れ込みがある方）を持つようにしてください。
- スタンバイ／休止状態中に増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。スタンバイ／休止状態が無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
- ネジをゆるめる際は、ネジの種類に合ったドライバーを使用してください。

増設メモリは、本製品で動作が保証されているものを使用してください。それ以外のメモリを増設すると、起動しなくなったり、動作が不安定になる場合があります。仕様に合わない増設メモリを取り付けるとパソコン本体が起動せず、次のような警告音（ビープ音）が鳴ります。

警告音	エラーの原因
ピー、ピッ、ピッ、ピッ	Celeron モデルの場合に、合計で 1GB + 128MB 以上のメモリが取り付けられている。
ピー、ピッ	スロット A に動作保証されていないメモリ（SPD 対応）が取り付けられている。
ピー、ピッ、ピッ	スロット B に動作保証されていないメモリ（SPD 対応）が取り付けられている。
ピー、ピッ、無音、ピー、ピッ、ピッ	スロット A、スロット B に動作保証されていないメモリ（SPD 対応）が取り付けられている。
警告音が鳴らない	動作保証されていないメモリ（SPD 非対応）が取り付けられている。

起動はするがメモリが認識されない場合は、どちらか一方のスロットには動作保証されているメモリが取り付けられていますが、もう一方のスロットには動作保証されていないメモリ（SPD 非対応）が取り付けられています。

お願い 静電気について

増設メモリは、精密な電子部品のため静電気によって致命的損傷を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、増設メモリを取り付ける前に静電気を逃がしてから作業を行ってください。手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を防ぐことができます。

1 取り付け

あらかじめ取り付けられているメモリを交換したい場合は、先にメモリの取りはずしを行ってください。

参照▶ 「本節 2 取りはずし」

1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る

参照▶ 電源の切りかた『さあ始めよう 1 章 4 電源を切る／入れる』

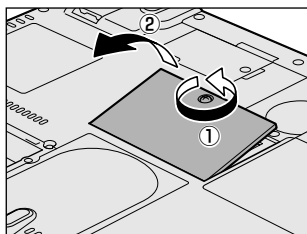
2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす

3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返し、バッテリーパックを取りはずす

参照▶ バッテリーパックの取りはずし「4 章 1-④ バッテリーパックを交換する」

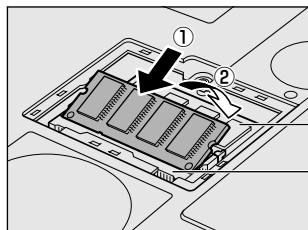
4 増設メモリカバーのネジ 1 本をゆるめ①、カバーをはずす②

バッテリーパックを取りはずしたときにはずしたネジが、増設メモリスロットの内部に入らないようにしてください。



5 増設メモリを増設メモリスロットのコネクタに斜めに挿入し①、固定するまで増設メモリを倒す②

パソコンの裏面を表にした状態で、下段がスロットA、上段がスロットBです。



スロットA

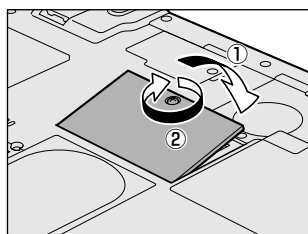
スロットB

増設メモリの切れ込みを、増設メモリスロットのコネクタのツメに合わせて、しっかり差し込みます。フックがかかりにくいときは、ペン先などで広げてください。

このとき、増設メモリの両端（切れ込みが入っている部分）を持って差し込むようにしてください。

6 増設メモリカバーをつけて①、手順4でゆるめたネジ1本をとめる②

増設メモリカバーが浮いていないことを確認してください。



7 バッテリパックを取り付ける

参照 ➡ バッテリパックの取り付け「4章 1-3 バッテリパックを交換する」

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。

参照 ➡ メモリ容量の確認について「本節 3 メモリ容量の確認」

2 取りはずし

1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る

参照▶ 電源の切りかた『さあ始めよう 1 章 4 電源を切る／入れる』

2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす

3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返し、バッテリーパックを取りはずす

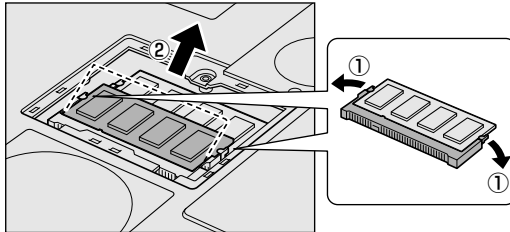
参照▶ バッテリーパックの取りはずし「4 章 1-③ バッテリーパックを交換する」

4 増設メモリカバーのネジ 1 本をゆるめ、カバーをはずす

バッテリーパックを取りはずしたときにはずしたネジが、増設メモリスロットの内部に入らないようにしてください。

5 増設メモリを固定している左右のフックをペン先などで開き①、増設メモリをパソコン本体から取りはずす②

パソコンの裏面を表にした状態で、下段がスロット A、上段がスロット B です。



斜めに持ち上がった増設メモリを引き抜きます。

6 増設メモリカバーをつけて、手順 4 でゆるめたネジ 1 本をとめる

増設メモリカバーが浮いていないことを確認してください。

7 バッテリーパックを取り付ける

参照▶ バッテリーパックの取り付け「4 章 1-③ バッテリーパックを交換する」

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。

3 メモリ容量の確認

メモリ容量は「東芝 PC 診断ツール」で確認することができます。

【確認方法】

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [ユーティリティ] → [PC 診断ツール] をクリックする
- ② [基本情報] タブで [メモリ] の数値を確認する



「東芝 PC 診断ツール」について

『困ったときは 1 章 3-① パソコンの情報を見る／状態を診断する』

メインメモリはビデオ RAM と共用のため、[基本情報] タブで表示されるメモリ容量は、実際の搭載メモリより少なく表示されます。

4章

バッテリー駆動

パソコンをモバイル使用する際に大事な存在であるバッテリーは、使いかたによっては長持ちさせることができます。

ここでは、充電や充電量の確認、省電力の設定、一時的に使用を中断するときの設定など、バッテリー使用するにあたっての取り扱い方法や各設定について説明しています。

-
- 1 バッテリーについて 136
 - 2 省電力の設定をする 145
 - 3 パソコンの使用を中断する／電源を切る 146

1 バッテリーについて

パソコン本体には、バッテリーパックが取り付けられています。

バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめACアダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させるか、フル充電したバッテリーパックを取り付けてください。

本製品を初めて使用するときは、バッテリーを充電してから使用してください。

『安心してお使いいただくために』に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

危険

- バッテリーパックは、必ず本製品に付属の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、東芝純正バッテリー(TOSHIBA バッテリーパック:PABAS037)をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なることがあるため火災・破裂・発熱のおそれがあります。

警告

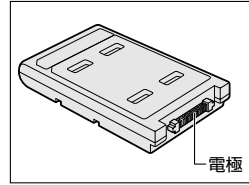
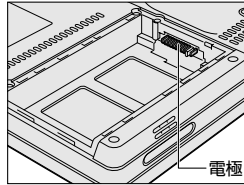
- 別売りのバッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常があると思われるときは使用しないでください。
お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。

注意

- バッテリーパックの充電温度範囲内（5～35℃）で充電してください。
充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- バッテリーパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。スタンバイを実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- バッテリーカバーのネジは必ず固定してください。正しく固定されていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ、足の上などに落ちて、思わぬケガのおそれがあります。

お願い

- バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。バッテリーを使いきってしまうと、スタンバイが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時計用バッテリーを使いきってしまうと、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、1度全バッテリーを充電してください。
- 電極に手を触れないでください。故障の原因になります。

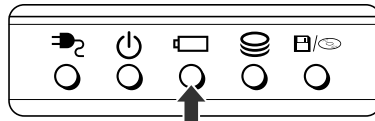


1 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。

1 Battery LEDで確認する

ACアダプタを使用している場合、Battery LEDが点灯します。



Battery LEDは次の状態を示しています。

緑	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリーが接続されていない ・ ACアダプタが接続されていない ・ バッテリー異常 異常の場合は、購入店またはお近くの保守サービスに連絡してください。

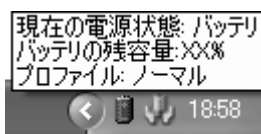
バッテリー駆動で使用しているときにオレンジ色に点滅した場合は、バッテリーの充電が必要です。

➡ 参照 バッテリーの充電について「本節 ② バッテリーを充電する」

2 通知領域の [東芝省電力] アイコンで確認する

通知領域の [東芝省電力] アイコン () の上にポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

このときバッテリー充電量以外にも、現在使用しているプロファイル名や、使用している電源の種類が表示されます。




➡ 参照 省電力設定について「本章 2 省電力の設定をする」

1ヶ月以上の長期にわたり、ACアダプタを接続したままパソコンを使用してバッテリー駆動を行わないと、バッテリー充電量が少しずつ減少します。このような状態でバッテリー充電量が減少したときは、Battery LED や [東芝省電力] アイコンで充電量の減少が表示されないことがあります。1ヶ月に1度は再充電することを推奨します。

➡ 参照 再充電について「本節 ②-2 バッテリーを長持ちさせるには」

3 バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量の減少が進むと、次のように警告します。


- Battery  LED がオレンジ色に点滅する（バッテリーの減少を示しています）
- バッテリーのアラームが動作する

「東芝省電力」の [アクション設定] タブの [アラーム設定] で設定すると、バッテリーの残量が少なくなったことを通知したり、自動的に対処する動作を行います。

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの方法で対処してください。

- ① パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源を供給する
- ② 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

購入時は休止状態が設定されています。バッテリー減少の警告が起こっても何も対処しなかった場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。

長時間使用しないでバッテリーが自然に放電しきってしまったときは、警告音も鳴らず、Battery  LED でも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

時計用バッテリー

本製品には、取りはずしができるバッテリーパックの他に、内蔵時計を動かすための時計用バッテリーが内蔵されています。

時計用バッテリーの充電は、パソコン本体の電源が入っているときに行われますので、普通に使用しているときは、あまり意識する必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。

時計用バッテリーが切れていると、時間の再設定をうながす Warning（警告）メッセージが出ます。

【 充電完了までの時間 】

状態	時計用バッテリー
電源 ON (Power  LED が緑色に点灯)	8 時間

実際には充電完了まで待たなくても使用できます。また、充電状態を知ることはできません。

2) バッテリーを充電する

充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

お願い

バッテリーパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。バッテリーは5～35℃の室温で充電してください。

1 充電方法

1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードの電源プラグをコンセントに差し込む

DC IN ➡ LED が緑色に点灯して Battery ❏ LED がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

電源コードの電源プラグをコンセントに差し込むと、パソコン本体の電源の ON / OFF にかかわらずフル充電になるまで充電されます。

2 Battery ❏ LED が緑色になるまで充電する

バッテリーの充電中は Battery ❏ LED がオレンジ色に点灯します。

DC IN ➡ LED が消灯している場合は、電源が供給されていません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。

【 充電完了までの時間 】

バッテリーパックは消耗品です。バッテリー充電時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。

周囲の温度が低いとき、バッテリーパックの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けている場合は、この時間よりも長くかかることがあります。

状態	充電時間
電源 ON	約 4.5 ～ 10.0 時間
電源 OFF	約 3.0 時間

【 使用できる時間 】

バッテリーパックは消耗品です。バッテリー駆動での使用時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。

次の時間は、充電完了の状態で使用した場合の目安にしてください。

Pentium モデルの場合

測定法	JEITA 測定法 1.0
駆動時間	約 3.0 時間

Celeron モデルの場合

測定法	JEITA 測定法 1.0
駆動時間	約 2.5 時間

【 使っていないときの充電保持時間 】

パソコン本体を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。バッテリーの保持時間は、放置環境などによって異なります。

次の保持時間は、充電完了した状態で電源を切った場合の目安にしてください。

パソコン本体の状態	保持時間
電源 OFF または休止状態	約 15 日
スタンバイ	約 4 日

スタンバイを実行した場合、放電しきるまでの時間が非常に短いため、バッテリー駆動時は休止状態にすることをおすすめします。

2 バッテリーを長持ちさせるには


- ACアダプタをパソコン本体に接続したままでパソコンを8時間以上使用しない場合は、バッテリーを長持ちさせるためにもACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 1ヶ月以上の長期間バッテリーを使わない場合は、パソコン本体からバッテリーパックをはずして、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
- 1ヶ月に1度は、ACアダプタをはずしてバッテリー駆動でパソコンを使用してください。

その際には、パソコンを使用する前に次の方法で再充電してください。


1 パソコン本体の電源を切る

2 パソコン本体からACアダプタをはずし、パソコンの電源を入れる 電源が入らない場合は手順4へ進んでください。

3 5分程度バッテリー駆動を行う


この間、Battery  LEDが点滅するか、充電量が少なくなった等の警告が表示された場合は、すぐにACアダプタを接続し、手順4へ進みます。

4 パソコン本体にACアダプタを接続し、電源コードの電源プラグをコンセントにつなぐ

DC IN  LEDが緑色に点灯してBattery  LEDがオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。




5 Battery LEDが緑色になるまで充電する

バッテリーの充電中はBattery  LEDがオレンジ色に点灯します。

DC IN  LEDが消灯している場合は、通電していません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。

【バッテリーを節約する】

バッテリーを節約して、本製品をバッテリー駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- こまめに休止状態にする  「本章 3-② 休止状態」
- 入力しないときは、ディスプレイを閉じておく
 「本章 3-③ 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する」
- 省電力のプロファイルに設定する  「本章 2 省電力の設定をする」

3 バッテリーパックを交換する

バッテリーパックの交換方法を説明します。

バッテリーパックの取り付け／取りはずしの際には、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。

1 取りはずし／取り付け

1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

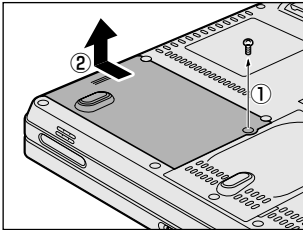
参照▶ 電源の切りかた『さあ始めよう 1章 4 電源を切る／入れる』

2 パソコン本体からACアダプタと周辺機器のケーブル類をはずす

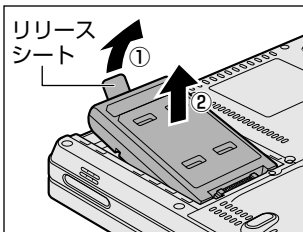
3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

4 バッテリーカバーのネジ1本をはずし①、カバーをはずす②

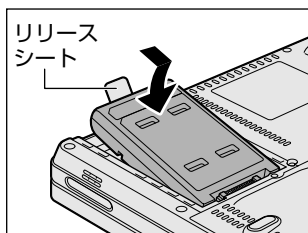
はずしたネジがパソコン本体の内部に入らないようにしてください。また、ネジをなくさないようにしてください。



5 バッテリーパックが取り出せる位までリリースシートをゆっくり引き上げ①、バッテリーパックを取りはずす②

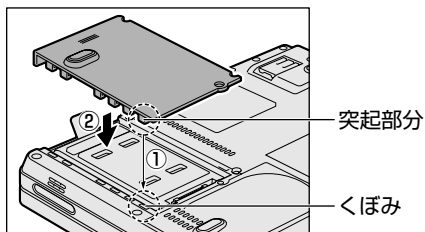


- 6 リリースシートの端が出た状態で、交換するバッテリーパックを斜めに挿入し、静かに差し込む



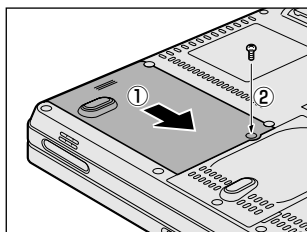
- 7 バッテリーカバーの突起部分とパソコン本体のくぼみを合わせながら
①、バッテリーカバーを取り付ける②

リリースシートは、バッテリーカバー内に収納してください。



- 8 バッテリーカバーを右へスライドし①、手順4ではずしたネジ1本をとめる②

バッテリーカバーはきちんと端までスライドしてください。



2 省電力の設定をする

バッテリー駆動でパソコンを使用しているときに、消費電力を減らす設定をする（ディスプレイの明るさを抑えるなど）と、より長い時間使用できます。

省電力の設定をまとめたものをプロファイルといいます。使用環境ごとに設定されたプロファイルがあらかじめ用意されていますので、使用環境にあわせてプロファイルを切り替えるだけで、簡単にパソコンの電源設定を変更できます。プロファイルの設定を変更したり、新しくプロファイルを追加することもできます。

1 東芝省電力

省電力の設定は「東芝省電力」から行います。

ACアダプタを接続して使う場合には、特に設定する必要はありませんが、ディスプレイの明るさなどはお好みにあわせて設定してください。

1 東芝省電力の起動方法

- 1 [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- 2 [東芝省電力] をクリックする

[東芝省電力のプロパティ] 画面が表示されます。



(表示例)

使いかたについては、ヘルプをご覧ください。

ヘルプの起動方法

- 1 「東芝省電力」を起動後、画面右上の **?** をクリックする
ポインタが **?** に変わります。
- 2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする
ヘルプの該当するページが表示されます。

3 パソコンの使用を中断する/電源を切る

パソコンの使用を一時的に中断したいとき、スタンバイまたは休止状態にすると、パソコンの使用を中断したときの状態が保存されます。

再び処理を行う（電源スイッチを押す、ディスプレイを開くなど）と、パソコンの使用を中断した時の状態が再現されます。

お願い 操作にあたって

- スタンバイまたは休止状態を実行する前にデータを保存することを推奨します。
- スタンバイ中に次のことを行わないでください。次回電源を入れたときに、システムが起動しないことがあります。
 - ・ スタンバイ中にメモリを抜き差しすること
 - ・ スタンバイ中にバッテリーパックをはずすことまた、スタンバイ中にバッテリー残量が減少したときも同様に、次回起動時にシステムが起動しないことがあります。システムが起動しないときは、電源スイッチを5秒以上押し続けて電源を切った後、再度電源を入れてください。この場合、スタンバイ前の状態は保持できていません（ResumeFailureで起動します）。
- スタンバイ中や休止状態では、バッテリーや増設メモリの取り付け／取りはずしは行わないでください。保存されていないデータは消失します。また、感電、故障のおそれがあります。
- スタンバイまたは休止状態を利用しないときは、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。保存されていないデータは消失します。
- パソコン本体を航空機や病院に持ち込むとき、スタンバイを使用しないで、必ず電源を切ってください。スタンバイ状態のまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器や医療機器に影響を与えることがあります。
- スタンバイまたは休止状態を実行するときは、DVD-RAMメディアへの書き込みが完全に終了していることを確認してください。書き込み途中のデータがある状態でスタンバイまたは休止状態を実行したとき、データが正しく書き込まれないことがあります。DVD-RAMメディアを取り出しできる状態になっていれば書き込みは終了しています。

メモ

メモリースティックを使用しているときにスタンバイが実行された場合、電源スイッチを押してから状態を再現するまでに少し時間がかかることがあります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

1) スタンバイ

作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源スイッチを押すと、状態を再現することができます。

スタンバイはすばやく状態が再現されますが、休止状態よりバッテリーを消耗します。バッテリーを使い切ってしまうと保存されていないデータは消失するので、ACアダプタを取り付けて使用することを推奨します。

1 スタンバイの実行方法

- 1 [スタート] ボタンをクリックし①、[終了オプション] をクリックする②



- 2 [スタンバイ] をクリックする



メモリへの保存が終わると、画面が真っ暗になります。

- 3 Power  LEDがオレンジ点滅しているか確認する

メモ

(Fn)+(F3)キーを押して、スタンバイにすることもできます。

2 休止状態

パソコンの使用を中断したときの状態をハードディスクに保存します。次に電源を入れると、状態を再現できます。

購入時の設定では、バッテリーが消耗すると、パソコン本体は自動的に休止状態になります。休止状態が無効の場合はそのまま電源が切れるため、作業中のデータが消失するおそれがあります。バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることを推奨します。

購入時は、休止状態が有効に設定されています。

1 休止状態の実行方法

1 休止状態を有効に設定する

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
 - ② [電源オプション] をクリックする
 - ③ [休止状態] タブで [休止状態を有効にする] をチェックする
 - ④ [OK] ボタンをクリックする
- 休止状態が有効になります。

2 [スタート] ボタンをクリックし①、[終了オプション] をクリックする②



3 (Shift) キーを押したまま [休止状態] をクリックする

(Shift) キーを押している間は、[スタンバイ] が [休止状態] に変わります。



Power LED が点灯中は、バッテリーパックを取りはずさないでください。

メモ

(Fn)+(F4)キーを押して、休止状態にすることもできます。

3 簡単に電源を切る / パソコンの使用を中断する

[スタート] メニューから操作せずに、電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときに、電源を切る（電源オフ）、またはスタンバイ / 休止状態にすることができます。

休止状態にするには、あらかじめ設定が必要です。購入時は、休止状態が有効に設定されています。解除した場合は、「本節 ②-1 休止状態の実行方法」手順 1 を参照して、設定しておいてください。

1 電源スイッチを押す

1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [東芝省電力] をクリックする
- ③ [アクション設定] タブの [電源ボタンを押したとき] で [入力を求める] [スタンバイ] [休止状態] [シャットダウン] のいずれかを選択する [何もしない] に設定すると、特に変化はありません。
- ④ [OK] ボタンをクリックする

2 電源スイッチを押す

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

手順 1 の③で [入力を求める] を選択したときは、[コンピュータの電源を切る] 画面が表示されます。

2 ディ스플레이を閉じる

ディスプレイを閉じることによって [スタンバイ] [休止状態] のうち、あらかじめ設定した状態へ移行する機能を、パネルスイッチ機能といいます。

1 ディ스플레이を閉じたときの動作を設定する

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [東芝省電力] をクリックする
- ③ [アクション設定] タブの [コンピュータを閉じたとき] で [スタンバイ] [休止状態] のいずれかを選択する
[何もしない] に設定すると、パネルスイッチ機能は働きません。
- ④ [OK] ボタンをクリックする

2 ディ스플레이を閉じる

設定した状態へ移行します。

[スタンバイ] [休止状態] に設定した場合は、次にディスプレイを開くと、自動的にディスプレイを閉じる前の状態が再現されます。

5 章

アプリケーションについて

アプリケーションについて知っておきたいことを説明しています。

-
- 1 アプリケーションを追加（インストール）する 152
 - 2 アプリケーションを削除（アンインストール）する 153

1 アプリケーションを追加(インストール)する

インストールとは、必要なファイルなどをパソコンに組み込んで、アプリケーションを使えるようにすることです。

新規に購入したアプリケーションを使うときに必要な作業です。

また、購入時にすでにインストール済みであることをプレインストールといいます。



お願い

- アプリケーションの追加や削除を行う前に、必ずデータを保存し、その他のアプリケーションを終了させてください。終了せずに、追加や削除を行うと、データが消失するおそれがあります。

アプリケーションのインストールは、コンピュータの管理者アカウントで行います。
[プログラムの追加と削除] からアプリケーションをインストールする方法を説明します。

手動で [プログラムの追加と削除] を実行しなくても、CD-ROMなどを挿入したときに自動的にインストールのプログラムが起動する場合もあります。その場合は表示されるメッセージに従って操作してください。

1 操作手順

- 1 インストールしたいアプリケーションのフロッピーディスクまたはCD-ROMなどをセットする
- 2 [コントロールパネル] を開き、[ プログラムの追加と削除] をクリックする
- 3 [プログラムの追加] ボタン () をクリックする
- 4 [CDまたはフロッピー] ボタンをクリックする



この後の作業はアプリケーションによって異なります。表示されるメッセージに従って操作してください。

2 アプリケーションを削除(アンインストール)する

アプリケーションを削除することを、アンインストールといいます。
本製品にプレインストールされているアプリケーションは、いったん削除した場合でも、再インストールして使用することができます。

参照 → 再インストールについて

『困ったときは 4章 3 アプリケーションを再インストールする』

アプリケーションを削除する方法を説明します。


アプリケーションの削除は、コンピュータの管理者アカウントで行います。

アプリケーションの削除は、本当に削除してよいか、よく確認してから行ってください。

メモ

アプリケーションによっては、アンインストールするためのユーティリティ(アンインストーラ)が用意されています。削除したいアプリケーションが一覧にないときは、アンインストーラを使用して削除できる場合があります。詳しくは、アプリケーションのヘルプや『アプリケーションに付属の説明書』を確認してください。

1 操作手順

- 1 [コントロールパネル] を開き、[ プログラムの追加と削除] をクリックする
- 2 現在インストールされているプログラムの一覧から削除したいアプリケーションをクリックする
- 3 [削除] または [変更と削除] ボタンをクリックする



(表示例)

表示されるメッセージに従って操作してください。

6章

システム環境の変更

本製品を使用するときの、システム上のさまざまな環境を設定する方法について説明しています。

-
- 1 システム環境の変更とは 156
 - 2 BIOS セットアップを使う 157

1 システム環境の変更とは

本製品は、次のようなパソコンのシステム環境を変更できます。

システム環境を変更するには、Windows 上のユーティリティで変更するか、または BIOS セットアップで変更するか、2つの方法があります。

通常は、Windows 上のユーティリティで変更することを推奨します。

変更できる項目		Windows 上のユーティリティ
ハードウェア環境（パソコン本体）の設定		「東芝 HW セットアップ」 参照▶ 《サイバーサポート（検索）：東芝 HW セットアップ》
パスワードセキュリティの設定	ユーザパスワード	「東芝 HW セットアップ」の [パスワード] タブ 参照▶ 《サイバーサポート（検索）：ユーザパスワード》
	スーパーバイザパスワード	「スーパーバイザパスワードユーティリティ」 参照▶ 《サイバーサポート（検索）：スーパーバイザパスワード》
省電力の設定		「東芝省電力」 参照▶ 「4章 2 省電力の設定をする

ユーザパスワードでキーフロッピーディスクを作成したい場合は、BIOS セットアップで登録してください。

参照▶ パスワードの種類について『さあ始めよう 4章 パスワードについて』

BIOS セットアップについては「本章 2 BIOS セットアップを使う」をご覧ください。

2 BIOS セットアップを使う

^{バイオス}BIOS セットアップとは、パソコンのシステム構成をパソコン本体から設定するプログラムのことです。

次のような設定ができます。

- ハードウェア環境（パソコン本体、周辺機器接続ポート）の設定
- セキュリティの設定
- 起動方法の設定
- 省電力の設定

BIOS セットアップを使用する前の注意

- 通常、システム構成の変更はWindows上の「東芝HWセットアップ」、「東芝省電力」、「デバイスマネージャ」などで行ってください。
BIOS セットアップとWindows上の設定が異なる場合、Windows上の設定が優先されます。
- 使用しているシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- BIOS セットアップで設定した内容は、電源を切っても消えません。しかし、内蔵バッテリー（時計用バッテリー）が消耗した場合は標準設定値に戻ります。

1 起動と終了

1 起動

1 (Esc)キーを押しながら電源を入れる

「Password = 」と表示された場合は、登録したユーザパスワードを入力し、(Enter)キーを押してください。

「Check system. Then press [F1] key.」と表示されます。

2 (F1)キーを押す

BIOS セットアップが起動します。

2 終了

変更した内容を有効にして終了します。

1 (Fn) + (→) キーを押す

本製品では、(Fn) + (→) が (End) キーの機能を持ちます。

画面にメッセージが表示されます。

2 (Y) キーを押す

設定内容が有効になり、BIOS セットアップが終了します。

変更した項目によっては、再起動されます。

途中で終了する方法

設定内容がよくわからなくなったり、途中で設定を中止する場合には、この場合は変更した内容はすべて無効になります。設定値は変更前の状態のままです。

1 (Esc) キーを押す

画面にメッセージが表示されます。

2 (Y) キーを押す

BIOS セットアップが終了します。

3 基本操作

基本操作は次のとおりです。

変更したい項目を選択する	(↑)、(↓)、(←)、(→) 画面中で反転している部分が現在変更できる項目です。
項目の内容を変更する	(Space) または (BackSpace)
画面を切り替える	(Fn) + (↓) または (Fn) + (↑) 本製品では、(Fn) + (↓) が (PgDn) キー、(Fn) + (↑) が (PgUp) キーの機能を持ちます。 次の画面または前の画面に切り替わります。
設定内容を標準値にする	(Fn) + (←) 本製品では、(Fn) + (←) が (Home) キーの機能を持ちます。 次の項目は、この操作をしても変更されません。 ●PASSWORD ●Hard Disk Mode ●Write Policy

2) BIOS セットアップの画面

BIOS セットアップには次の2つの画面があります。

SYSTEM SETUP (1/2) ACPI BIOS version = X. XX

①	MEMORY Total = XXXXXXKB	DISPLAY Power On Display = Auto-Selected LCD Display Stretch = Enabled *1 TV Type = NTSC(JAPAN)	⑥
②	SYSTEM DATE/TIME Date (MM-DD-YYYY) = XX-XX-XXXX Time (HH:MM:SS) = XX:XX:XX	OTHERS Power-up Mode = Boot CPU Cache = Enabled Level 2 Cache = Enabled Dynamic CPU Frequency Mode *1 = Dynamically Switchable Auto Power On = Disabled Start Up Logo = Animation Sound Logo = Enabled Power Button Lamp = Mode1 Panel Power On/Off *2 = Disabled	⑦
③	BATTERY Battery Save Mode = Full Power		
④	PASSWORD Not Registered		
⑤	BOOT PRIORITY Boot Priority = HDD → FDD → CD-ROM → LAN HDD Priority = Built-in HDD → PC Card Network Boot Protocol = PXE		

↑↓+* : Select items **Space, BkSp** : Change values **PgDn, PgUp** : Change pages
Esc : Exit without saving **Home** : Set default values **End** : Save changes and Exit

* 1 Pentium モデルのみ表示されます。

* 2 Panel Power On/Off は、「Power-up Mode」が「Boot」のときは表示されません。

SYSTEM SETUP (2/2) ACPI BIOS version = X. XX

⑧	CONFIGURATION Device Config. = Setup by OS	PC CARD Controller Mode = Auto-Selected	⑪
⑨	DRIVES I/O Built-in HDD = Primary IDE(1F0H/IRQ14) CD-ROM = Secondary IDE(170H/IRQ15) PC Card *3 = Other(190H/IRQ3)	PERIPHERAL Internal Pointing Device = Enabled Hard Disk Mode = Enhanced IDE(Normal)	⑫
		LEGACY EMULATION USB KB/Mouse Legacy Emulation = Enabled USB-FDD Legacy Emulation = Enabled	⑬
⑩	PCI BUS PCI BUS = IRQ10, IRQ11	PCI LAN Built-in LAN = Enabled	⑭

↑↓+* : Select items **Space, BkSp** : Change values **PgDn, PgUp** : Change pages
Esc : Exit without saving **Home** : Set default values **End** : Save changes and Exit

* 3 PC カードタイプのハードディスクからシステムを起動させた場合のみ表示されます。

(注) 画面は標準設定値の表示例です。

3 設定項目

カーソルが移動しない項目は、変更できません（参照のみ）。
ここでは、標準設定値を「標準値」と記述します。

1 MEMORY—メモリ容量を表示する

【 Total 】

本体に取り付けられているメモリの総メモリ容量が表示されます。

2 SYSTEM DATE/TIME—日付と時刻の設定をする

日付と時刻の設定は、(Space)または(BackSpace)キーで行います。
月と日と年、時と分と秒の切り替えは、(↑)(↓)キーで行います。

【 Date 】

日付を設定します。

【 Time 】

時刻を設定します。

3 BATTERY—バッテリーで長く使用するための設定をする

【 Battery Save Mode 】

バッテリーセーブモードを設定します。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウが開きます。

「User Setting」を選択した場合のみ、設定の変更ができます。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの設定項目は次のように表示されます。

●Full Power (標準値)

Processing Speed = High
CPU Sleep Mode = Enabled
Display Auto Off = 30Min.
HDD Auto Off = 30Min.
System Auto Off = Disabled
LCD Brightness = Super-Bright
Cooling Method = Maximum Performance

●User Setting (設定例)

Processing Speed = Low
CPU Sleep Mode = Enabled
Display Auto Off = 03Min.
HDD Auto Off = 03Min.
System Auto Off = 30Min.
LCD Brightness = Semi-Bright
Cooling Method = Battery Optimized

●Low Power

Processing Speed = Low
CPU Sleep Mode = Enabled
Display Auto Off = 03Min.
HDD Auto Off = 03Min.
System Auto Off = 30Min.
LCD Brightness = Bright
Cooling Method = Battery Optimized

(注) System Auto Off (システム自動停止時間) は、「Power-up Mode」が「Boot」のときは表示されません。

また LCD Brightness は、AC アダプタを接続している場合の表示内容です。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウを閉じるには、(↑)(↓)キーを押して選択項目を「Cooling Method」の外に移動します。

次に「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

- **Processing Speed**

処理速度を設定します。

使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- ・ High..... 処理速度を高速に設定する
- ・ Low 処理速度を低速に設定する

- **CPU Sleep Mode**

CPU が処理待ち状態のとき、電力消費を低減します。

一部のアプリケーションソフトでは「Enabled」に設定すると処理速度が遅くなることがあります。その場合は「Disabled」に設定してください。

- ・ Enabled 電力消費を低減する
- ・ Disabled 電力消費を低減しない

- **Display Auto Off (表示自動停止時間)**

時間を設定すると、設定した時間以上キーを押さない場合（マウスやタッチパッドの操作も含む）にディスプレイを消灯して節電します。

画面に表示されている内容が見えなくなりますが、これは故障ではありません。

画面に表示するには、(Shift)キーを押すか、マウス、タッチパッドを操作してください。

- ・ Disabled 自動停止機能を使用しない

自動停止時間の設定は「01Min.」～「30Min.」から選択します。

- **HDD Auto Off (HDD 自動停止時間)**

設定した時間以上ハードディスクの読み書きをしない場合に、ハードディスクの回転を止めて節電します。

自動停止時間の設定は「01Min.」～「30Min.」から選択します。ハードディスクドライブを保護するため、「Disabled」は設定できません。

- **System Auto Off (システム自動停止時間)**

時間を設定すると、設定した時間以上システムを使用しない場合に、システムを止めて節電します。

「Power-up Mode」が「Resume」の場合に設定できます。

- ・ Disabled 自動停止機能を使用しない

自動停止時間の設定は「10Min.」～「60Min.」から選択します。

- LCD Brightness (LCD 輝度)

画面の明るさを選択します。

- ・ Semi-Bright 低輝度に設定する
- ・ Super-Bright 最高輝度に設定する
- ・ Bright 高輝度に設定する

- Cooling Method (CPU 熱制御方式)

CPU の熱を冷ます方式を選択します。

CPU が高熱を帯びると故障の原因になります。

- ・ Maximum Performance ... CPU 温度が上昇したときに、本体内にあるファンを高速回転させて CPU に風を送り、冷やします。
- ・ Performance CPU が高温になったときに、本体内にあるファンが作動し CPU に風を送り、冷します。
- ・ Battery Optimized CPU が高温になったときに、CPU の処理速度を「Low」にして温度を下げます。「Low」にしても、温度が上がる場合はファンを作動させます。

4 PASSWORD—ユーザパスワードの登録／削除をする

ユーザパスワードの登録や削除は「東芝 HW セットアップ」で行うことを推奨します。

参照 → 東芝 HW セットアップでのパスワード設定

《サイバーサポート (検索) : ユーザパスワード》

キーフロッピーディスクを作成したい場合は、BIOS セットアップで登録してください。

パスワードの入力エラーが 3 回続いた場合は、以後パスワードの項目にカーソルが移動できなくなります。この場合は、パソコン本体の電源を入れ直し、再度登録を行ってください。

【 Not Registered 】

ユーザパスワードが登録されていないときに表示されます (標準値)。

【 Registered 】

ユーザパスワードが登録されているときに表示されます。

■ ユーザパスワードの登録とキーフロッピーディスクの作成 ■

キーフロッピーディスクとは、ユーザパスワードを忘れた場合に使用するフロッピーディスクのことです。BIOS セットアップで作成してください。

キーフロッピーディスクを作成する場合は、フォーマット済みの2DD（720KB）または2HD（1.44MB）フロッピーディスクとフロッピーディスクドライブが必要です。あらかじめ用意してください。

キーフロッピーディスクを作成すると、そのフロッピーディスクに保存されていた内容はすべて消去されます。フロッピーディスクの内容をよく確認してから、使用してください。


次のように操作して、キーフロッピーディスクを作成します。

1 BIOS セットアップを起動する

2 カーソルバーを「PASSWORD」の「Not Registered」に合わせ、(Space)または(BackSpace)キーを押す

パスワード入力画面が表示されます。

ユーザパスワードが登録されている場合は、「PASSWORD」に「Registered」と表示されます。その場合は、ユーザパスワードを削除してから、登録してください。

 ユーザパスワードの削除方法「本項 4- ユーザパスワードの削除」

3 パスワードを入力する

パスワードは10文字以内で入力できます。パスワードに使用できる文字は、「東芝HWセットアップ」の場合と同様です。

パスワードは1文字ごとに*が表示されますので、画面で確認できません。よく確認してから入力してください。

4 (Enter)キーを押す

1回目のパスワードが確認され、パスワードの再入力画面が表示されます。

5 2回目のパスワードを入力する

パスワードは手順3と同じパスワードを入力してください。

6 (Enter)キーを押す

パスワードが登録されます。2回目のパスワードが1回目のパスワードと異なる場合は、再度パスワードの入力画面が表示されます。手順3からやり直してください。

7 ユーザパスワードの登録が終了したら、(Fn) + (→)キーを押す

本製品では、(Fn) + (→)が(End)キーの機能を持ちます。
次のようなメッセージが表示されます。

Are you sure ? (Y/N)
The changes you made will cause the system to reboot.
Insert password service disk if necessary.

8 キーフロッピーディスクを作成する場合は、フロッピーディスクをセットして(Y)キーを押す

作成しないでそのまま終了する場合はフロッピーディスクをセットせずに(Y)キーを押します。

BIOSセットアップの画面に戻るには(N)キーを押します。

手順9はキーフロッピーディスクを作成する場合の手順です。

9 キーフロッピーディスクを作成する

次のメッセージが表示されます。

Password Service Disk Type ? (1:2HD,2:2DD)

- ① セットされているフロッピーディスクが2HDの場合は①キーを、2DDの場合は②キーを押す

フロッピーディスクへの書き込みを開始します（フロッピーディスクがセットされていない場合は、そのまま終了します）。

フロッピーディスクへの書き込みが終了すると、次のメッセージが表示されます。

Remove the password service disk, then press any key.

- ② フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押して終了する



キーフロッピーディスクの使いかた

「本項 4- ユーザパスワードを忘れてしまった場合」

■ ユーザパスワードの削除 ■

「東芝HWセットアップ」からの削除については《サイバーサポート（検索）：ユーザパスワード》を確認してください。

1 BIOS セットアップを起動する

2 カーソルバーを「PASSWORD」の「Registered」に合わせ、
(Space)または(BackSpace)キーを押す
パスワード入力画面が表示されます。

3 登録してあるパスワードを入力する
入力すると1文字ごとに*が表示されます。

4 (Enter)キーを押す

パスワードが削除されます。

入力したパスワードが登録したユーザパスワードと異なる場合は、ビーブ音が鳴りエラーメッセージが表示された後、パスワードの入力画面が表示されます。手順3からやり直してください。

■ ユーザパスワードを忘れてしまった場合 ■

キーフロッピーディスクを使用して、登録したユーザパスワードの解除と再登録ができます。また、再登録したユーザパスワードのキーフロッピーディスクも作成できます。

キーフロッピーディスクを作成していなかったときにユーザパスワードを忘れてしまった場合は、近くの保守サービスに相談してください。ユーザパスワードの解除を保守サービスに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

1 「Password= 」と表示されたら、キーフロッピーディスクをフ
ロッピーディスクドライブにセットして、(Enter)キーを押す
パスワードが解除され、次のメッセージが表示されます。

Set Password Again ? (Y/N)

2 パスワードを再登録する場合は、**Y**キーを押す

セットアップ画面が表示されます。「本項 4- ユーザパスワードの登録とキーフロッピーディスクの作成」の手順2以降を行ってください。再登録後、システムが再起動します。

パスワードを再登録しない場合は、**N**キーを押す

次のメッセージが表示されます。

Remove the Disk, then press any key.

フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押すと、システムが再起動します。

■ ユーザパスワードの変更 ■

ユーザパスワードを削除してから、登録を行ってください。

5 BOOT PRIORITY—ブート優先順位を設定する

【 Boot Priority 】

システムを起動するディスクドライブの順番を設定します。

通常は「HDD → FDD → CD-ROM → LAN」に設定してください。

- ・ HDD → FDD → CD-ROM → LAN (標準値)
 - ・ FDD → HDD → CD-ROM → LAN
 - ・ HDD → CD-ROM → LAN → FDD
 - ・ FDD → CD-ROM → LAN → HDD
 - ・ CD-ROM → LAN → HDD → FDD
 - ・ CD-ROM → LAN → FDD → HDD
- 指定のドライブ順に起動する

インスタントプレイ機能を使用して起動するとHDDが最優先されます。

【 HDD Priority 】

ハードディスクドライブを複数使用する場合に、システムを起動する順番を設定します。

通常は「Built-in HDD → PC Card」に設定してください。

- ・ Built-in HDD → PC Card (標準値)
- ・ PC Card → Built-in HDD

インスタントプレイ機能を使用して起動するとBuilt-in HDDが優先されます。

【 Network Boot Protocol 】

ネットワークからの起動について設定します。

- ・ PXE (標準値) PXE プロトコルに設定する
- ・ RPL RPL プロトコルに設定する

6 DISPLAY—表示装置の設定をする

【 Power On Display 】

起動時の Windows ロゴを表示する表示装置を選択します。

- ・ Auto-Selected (標準値) .. システム起動時に外部ディスプレイを接続しているときは外部ディスプレイだけに、接続していないときは内部液晶ディスプレイだけに表示する
- ・ LCD + Analog RGB 外部ディスプレイと内部液晶ディスプレイに同時表示する

SVGA モードに対応していない外部ディスプレイを接続して、「LCD + Analog RGB」を選択した場合、外部ディスプレイには画面が表示されません。

Windows 起動後は、前回電源を切る前に接続していた表示装置が存在すればその表示装置に表示します。前回電源を切る前に接続していた表示装置が存在しない場合は、内部液晶ディスプレイに表示されます。

インスタントプレイ機能を使用して起動すると内部液晶ディスプレイにのみ表示されます。

【 LCD Display Stretch 】

内部液晶ディスプレイの表示機能を選択します。

- ・ Enabled(標準値) 解像度の小さい表示モードを伸張して表示する
- ・ Disabled 解像度の小さい表示モードは伸張せずにそのまま表示する

【 TV Type 】

テレビ受信機を選択します。

- ・ NTSC (JAPAN) (標準値) ... 日本仕様の TV 受信機
- ・ PAL ヨーロッパ仕様の TV 受信機
- ・ NTSC (US) 米国仕様の TV 受信機

7 OTHERS—その他の設定をする

【 Power-up Mode (レジューム機能) 】

レジューム機能を設定します。

- ・ Boot (標準値) レジューム機能を無効にする
- ・ Resume レジューム機能を有効にする

【 CPU Cache (キャッシュ) 】

CPU内のキャッシュメモリを使用するかどうかの設定をします。

使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- ・ Enabled (標準値) ... キャッシュメモリを使用する
- ・ Disabled キャッシュメモリを使用しない

【 Level 2 Cache 】

2次キャッシュを使用するかどうかの設定をします。

「CPU Cache」が「Disabled」に設定されている場合は表示されません。

- ・ Enabled (標準値) ... 2次キャッシュを使用する
- ・ Disabled 2次キャッシュを使用しない

【 Dynamic CPU Frequency Mode 】

Pentiumモデルのみ表示されます。

- ・ Dynamically Switchable (標準値) CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を有効にし、使用状況に応じてCPU周波数を自動的に切り替えます。
- ・ Always High CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、常時、高周波数で動作します。
- ・ Always Low CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、常時、低周波数で動作します。

【 Auto Power On (タイマ・オン機能) 】

タイマ・オン機能の設定状態を示します。タイマ・オン機能は1回のみ有効です。起動後は設定が解除されます。

Windows XPを使用している場合は「Auto Power On」の設定は無効になります。

Windowsのタスクスケジューラを使用してください。

- ・ Disabled (標準値) ... タイマ・オン機能が設定されていない
- ・ Enabled タイマ・オン機能が設定されている

タイマ・オン機能の設定は「OPTIONS」ウィンドウで行います。

パスワードセキュリティで設定したパスワードと休止状態が設定してある状態で、
タイマ・オン機能 (Auto Power On) を設定してシステムを起動させた場合、
「Password=」と表示されます。パスワードセキュリティで設定したパスワードを
入力すると、休止状態から Windows に復帰します。

参照▶ パスワードセキュリティの設定「本章 1 システム環境の変更とは」

「OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

アラームの時刻の設定は (Space) または (BackSpace) キーで行います。

時と分、月と日の切り替えは (↑) (↓) キーで行います。

● Alarm Time

自動的に電源を入れる時間を設定します。

- ・ Disabled 時間を設定しない

● Alarm Date Option

自動的に電源を入れる月日を設定します。

「Alarm Time」が「Disabled」の場合は、設定できません。

- ・ Disabled 月日を設定しない

● Ring Indicator

電話回線からの呼び出し信号により、自動的に電源を入れます。

「Power-up Mode」が「Resume」の場合に設定できます。

また、この機能は PC カードタイプのモデムでは使用できません。

- ・ Disabled (標準値) ... リングインジケータ機能を使用しない
- ・ Enabled リングインジケータ機能を使用する

【 Start Up Logo 】

起動時に表示される「dynabook」ロゴについて設定します。

- ・ Animation (標準値) アニメーションロゴが表示される
- ・ Picture ピクチャ (静止画) ロゴが表示される

インスタントプレイ機能を使用して起動するとピクチャ (静止画) ロゴが表示され
ます。

【 Sound Logo 】

パソコンを起動したときに音を鳴らすかどうかを設定します。

- ・ Enabled (標準値) ... 音を鳴らす
- ・ Disabled 音を鳴らさない

インスタントプレイ機能を使用して起動すると音は鳴りません。

【 Power Button Lamp 】

電源スイッチのランプの光りかたのパターンを設定します。

状態	電源 ON	スタンバイ	電源オフ／休止状態
Mode 1 (標準値)	青色に点灯	黄色に点灯	オレンジ色に点灯
Mode 2	青色に点灯	緑色とオレンジ色が交互に点滅	緑色と青色が交互に点滅
Mode 3	緑色→オレンジ色→青色の順に点滅	黄色に点灯	オレンジ色に点灯
Off	常に消灯		

なお、ACアダプタとバッテリーパックを取りはずすと、いったん設定が Mode 1 (標準値) に戻ります。その後パソコン本体の電源を入れると、ACアダプタとバッテリーパックを取りはずす前の設定に戻ります。

【 Panel Power On/Off (パネルスイッチ機能) 】

ディスプレイの開閉による電源の入／切を設定します。

「Power-up Mode」が「Resume」の場合に表示されます。

- ・ Enabled パネルスイッチ機能を使用する
- ・ Disabled (標準値) ... パネルスイッチ機能を使用しない


8 CONFIGURATION

【 Device Config. 】

ブート時に BIOS が初期化する装置を指定します。

- ・ Setup by OS (標準値) ... OS をロードするのに必要な装置のみ初期化する
それ以外の装置は OS が初期化します。
この場合、「PC CARD」内の設定は、「Auto-Selected」固定となり、変更できません。
- ・ All Devices すべての装置を初期化する

プレインストールされている OS を使用する場合は、「Setup by OS」(標準値) を選択することを推奨します。ただし「PC CARD」内の Controller Mode の設定を「Auto-Selected」以外に設定する場合は「All Devices」に設定してください。

 「PC CARD」について「本項 11 PC CARD」

9 DRIVES I/O—HDD、CD-ROM、PC カードの設定

【 Built-in HDD 】

ハードディスクドライブのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。変更はできません。

【 CD-ROM 】

ドライブのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。変更はできません。内蔵されているドライブが CD-ROM ドライブではない場合も、すべて「CD-ROM」と表示されます。

【 PC Card 】

PC カードタイプ (TYPE II または III) のハードディスク (別売り) からシステムを起動させた場合のみ、表示されます。

システムを起動できる PC カードのタイプ (TYPE II または III) のハードディスク (別売り) を PC カードスロットに接続したときのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。

10 PCI BUS—PCIバスの割り込みレベルを表示する

PCIバスの割り込みレベルを表示します。変更はできません。

11 PC CARD—PCカードのモードを選択する

【 Controller Mode 】

PC カードのモードを選択します。

- ・ Auto-Selected (標準値) ... プラグアンドプレイに対応した OS を使用している場合、選択します。
- ・ PCIC Compatible Auto-Selected や CardBus/16-bit で正常に動作しない 16-bit PC カードを使用する場合に選択します。
- ・ Card Bus/16-bit Auto-Selected で正常に動作しない CardBus 対応の PC カードを使用する場合に選択します。

12 PERIPHERAL—HDDや外部装置の設定をする

【 Internal Pointing Device 】

タッチパッドを使用する／使用しないを設定します。

- ・ Enabled (標準値) 使用する
- ・ Disabled 使用しない

メモ

Windowsを使用している場合は「東芝HWセットアップ」の設定が有効になり、「Parallel Port Mode」の設定は無効になります。

【 Hard Disk Mode 】

ハードディスクのモードを設定します。

項目を変更する場合は、パーティションの再設定を行ってください。

- ・ Enhanced IDE (Normal) (標準値) 通常はこちらを選択する
- ・ Standard IDE Enhanced IDEに対応していないOSを使用する場合に選択する
この場合、528MBまでが使用可能となり、残りの容量は使用できません。

13 LEGACY EMULATION

【 USB KB/Mouse Legacy Emulation 】

USBキーボードやマウスのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

- ・ Enabled (標準値) ... レガシーサポートを行う
ドライバなしでUSBキーボード／USBマウスが使用できます。
- ・ Disabled レガシーサポートを行わない

【 USB-FDD Legacy Emulation 】

- ・ Enabled (標準値) ... レガシーサポートを行う
ドライバなしでUSBフロッピーディスクドライブが使用できます。フロッピーディスクから起動する場合は、こちらに設定します。
- ・ Disabled レガシーサポートを行わない

「USB-FDD Legacy Emulation」が「Enabled」に設定されていても、
⑤「BOOT PRIORITY」の「Boot Priority」が標準値の「HDD → FDD → CD-ROM
→ LAN」の場合は、本体ハードディスクから起動します。

14 PCI LAN

【 Built-in LAN 】

内蔵 LAN の機能を有効にするかどうかの設定をします。

- ・ Enabled (標準値) ... 有効にする
- ・ Disabled 無効にする

付録

本製品のハードウェア仕様や、技術基準適合などについて記しています。

-
- 1 本製品の仕様 176
 - 2 クイックプレイ操作一覧 184
 - 3 地域コード一覧 186
 - 4 言語コード一覧 202
 - 5 技術基準適合について 204
 - 6 無線 LAN について 216
 - 7 追加情報 225

1 本製品の仕様

1 製品仕様

機種		dynabook EX/2シリーズ
プロセッサ	CPU	東芝PC診断ツールを参照
メモリ	ROM	512KB (フラッシュROM)、ACPI 1.0b、APM1.2、Plug and Play 1.0a
	RAM	標準：東芝PC診断ツールを参照 最大：2GB (Pentiumモデルの場合) ：1GB (Celeronモデルの場合)
	ビデオRAM	最大64MB (システムメモリと共用) *1
表示機能	表示装置	15型TFT方式カラー液晶ディスプレイ
	グラフィック表示	横1024 x 縦768 1画面
入力装置	キーボード	OADG109Aキータイプ準拠 87キー (文字キー、制御キーの合計)
	ポインティングデバイス	タッチパッド内蔵 (スクロールスイッチ付き)
補助記憶装置	SDカード/メモリ スティックスロット	1個装備
	2.5型ハードディスク ドライブ	1台内蔵 *2
	DVDスーパーマルチ ドライブ *3	1台内蔵 CD-ROM 読み出し：最大24倍速 CD-R 書き込み：最大16倍速 CD-RW (マルチスピード) 書き換え：最大4倍速 High-Speed対応CD-RW 書き換え：最大8倍速 DVD-ROM 読み出し：最大8倍速 DVD-R 書き込み：最大4倍速 DVD-RW 書き換え：最大2倍速 DVD+R 書き込み：2.4倍速 DVD+RW 書き換え：2.4倍速 DVD-RAM 書き換え：2倍速 8cm、12cmのディスク対応 マルチセッション
インタフェース	RGB	1個装備
	USB	4個装備 USB2.0準拠 *4
	i.LINK (IEEE1394)	1個装備 (S400・4ピン)

インタ フェース	PCカード	2個装備 PC Card Standard準拠 (TYPE II x 2、またはTYPE III x 1) CardBus対応
	サウンド	音声入力 (L) (RCA) 1個装備 音声入力 (R) (RCA) 1個装備 マイク入力 (モノラル) ミニジャック 1個装備 (φ3.5mmミニジャック) ヘッドホン出力 (ステレオ) (ライン出力共用) ミニジャック 1個装備 (φ3.5mmミニジャック) 内蔵スピーカ (ステレオ) 装備 内蔵マイク装備
	ビデオ	S-Video出力 1個装備 ビデオ入力 (コンポジット) 1個装備 ビデオ入力 (S-Video) 1個装備
	TV	TVチューナ 1台内蔵 アンテナ入力 (φ2.5mmミニジャック) 1個装備
通信機能	モデム *5	1個装備
	LAN	1個装備 100BASE-TX/10BASE-T
	無線LAN *6	1個装備 IEEE802.11b/g準拠
カレンダー機能		日付、時計機能を標準装備 充電型電池によるバックアップ
電源	ACアダプタ	AC100V~240V (50Hz、または60Hz) ACアダプタ
	バッテリー	バッテリーパック Li-Ion 10.8V/3600mAh
最大消費電力		約60W
使用環境条件		温度：5~35℃ 湿度：20~80%Rh
外形寸法 (突起部除く)		330 (幅) x 282 (奥行) x 38.4 (最薄部) / 39.9 (高さ) mm
質量		約3.1kg

* 1 システムメモリが256MB以上の場合はビデオRAMの容量は最大64MBですが、システムメモリを128MBまで減らすとビデオRAMの容量は最大32MBになります。

* 2 ハードディスクの一部分は、リカバリ領域として、あらかじめ使用されています。リカバリ領域以外の全ての領域がCドライブとして設定されています。(NTFS、1パーティションで設定)。

* 3 ドライブは、各種ディスクの特性にあった速度を選択して読み出し/書き込みを行います。ディスクによっては最大速度での読み出し/書き込みができない場合もあります。

* 4 従来のUSB1.1規格と完全な互換性を持つとともに、USB1.1と比べて40倍(理論値)の高速データ転送の可能なHighSpeedモードをサポートします。

ただし、すべてのUSB1.1 / 2.0対応機器の動作を保証するものではありません。

* 5 内蔵モデムは対応世界61地域以外では使用できません。33.6kbps以上の高速受信は接続先の対応や回線状態が整った場合のみ可能です。送信時は最大33.6kbpsでの接続になります。K56Flex™には対応していません。FAX通信ソフトは搭載していません。

* 6 無線LANモデルのみ

【 東芝 PC 診断ツール 】

基本仕様の一部は「東芝 PC 診断ツール」で確認することができます。

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [ユーティリティ] → [PC 診断ツール] をクリックする
- 2 [基本情報] タブで確認する

メモ

「東芝 PC 診断ツール」で表示される内容は、その時点での設定内容です。購入後に設定を変更された場合は、変更後の設定内容が表示されます。ただし [CPU] の項目には、搭載されている CPU の最大クロック数（固定値）が表示され、これはユーティリティなどによる設定値には影響されません。

【 電源コードの仕様 】

本製品に同梱されている電源コードは、日本の規格にのみ準拠しています。

その他の地域で使用する場合は、当該国・地域法令・安全規格に適合した電源コードを購入してください。

使用できる電圧（AC）は 100V です。必ず AC100V のコンセントで使用してください。

* 取得規格は、電気用品安全法です。

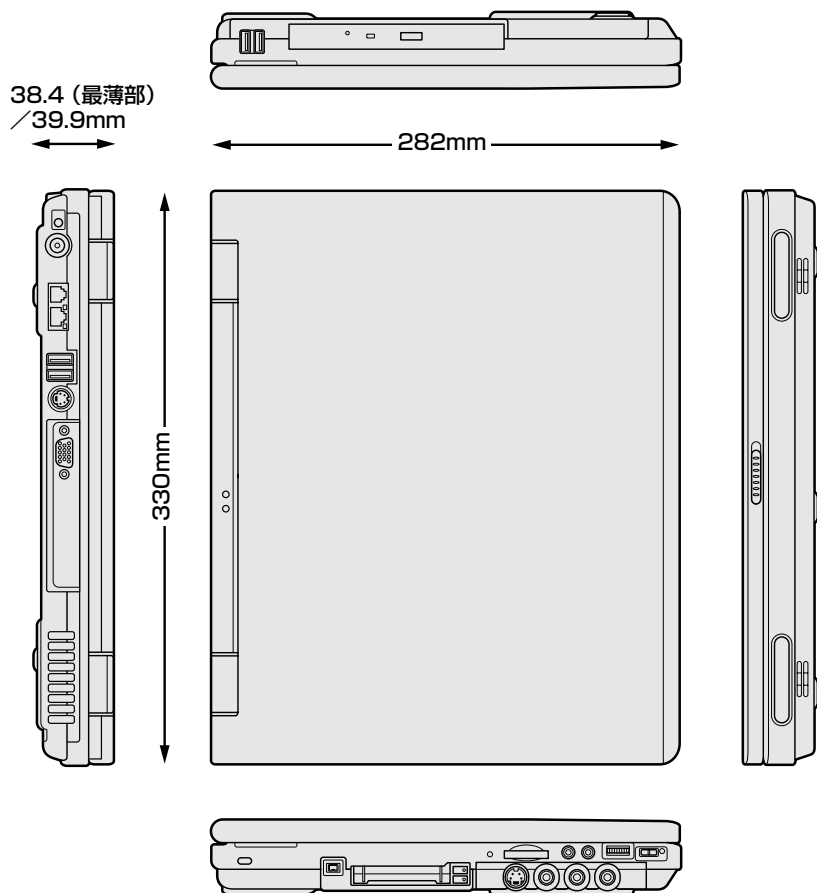
【 AC アダプタの仕様 】

入力 : AC100 ~ 240V、1.3A-0.7A、50-60Hz

出力 : DC15V、4A

2 外形寸法図

* 数値は突起部を含みません。



3 サポートしているビデオモード

ディスプレイコントローラによって制御される画面の解像度と表示可能な最大色数を定めた規格をビデオモードと呼びます。

参照 → 表示可能色数の詳細について
 「1章 5-①-1 表示可能色数」

本製品でサポートしている英語モード時のすべてのビデオモードを次に示します。モードナンバは一般に、プログラマがそれぞれのモードを識別するのに用いられます。アプリケーションソフトがモードナンバによってモードを指定してくる場合、そのナンバが図のナンバと一致していないことがあります。この場合は解像度とフォントサイズと色の数をもとに選択し直してください。

【 Pentium モデルの場合 】

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)
0.1	VGA テキスト	40 x 25字	8 x 8	16/256K	70
2,3		80 x 25字			
0*,1*		40 x 25字	8 x 14		
2*,3*		80 x 25字			
0+,1+		40 x 25字	8(9) x 16		
2+,3+		80 x 25字			
4,5	VGA グラフィックス	320 x 200ドット	8 x 8	4/256K	
6	640 x 200ドット	2/256K			
7	VGA テキスト	80 x 25字	8(9) x 14	モノクロ	
7+			8(9) x 16		
D	VGA グラフィックス	320 x 200ドット	8 x 8	16/256K	
E		640 x 200ドット			
F		640 x 350ドット	8 x 14	モノクロ	
10				16/256K	
11		640 x 480ドット	8 x 16	2/256K	60
12				16/256K	
13		320 x 200ドット	8 x 8	256/256K	70

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)	
—	SVGA グラフィックス	640 x 480ドット	—	256/256K	60/75/85 /100	
—		800 x 600ドット	—			
—		1024 x 768ドット	—			
—		1280 x 1024ドット* ¹	—		60/75/85	
—		1400 x 1050ドット* ¹	—			
—		1600 x 1200ドット* ¹	—			60/75/85/100
—		1920 x 1440ドット* ¹	—			60/75/85
—		2048 x 1536ドット* ¹	—			60/75
—		640 x 480ドット	—			64K/64K
—		800 x 600ドット	—			
—		1024 x 768ドット	—			
—		1280 x 1024ドット* ¹	—	60/75/85		
—		1400 x 1050ドット* ¹	—			
—		1600 x 1200ドット* ¹	—		60/75/85/100	
—		1920 x 1440ドット* ¹	—		60/75/85	
—		2048 x 1536ドット* ¹	—		60/75	
—		640 x 480ドット	—		16M/16M	
—		800 x 600ドット	—			
—	1024 x 768ドット	—				
—	1280 x 1024ドット* ¹	—	60/75/85			
—	1400 x 1050ドット* ¹	—				
—	1600 x 1200ドット* ¹	—		60/75/85/100		
—	1920 x 1440ドット* ¹	—		60/75/85		
—	2048 x 1536ドット* ¹	—		60/75		

* 1 LCDに表示する場合は、実際の画面（1024 × 768）内に、仮想スクリーン表示します。

注）一部の画面モードは、マルチモニターでは使用できません。

【 Celeron モデルの場合 】

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)
0.1	VGA テキスト	40×25字	8×8	16/256K	70
2,3		80×25字			
0*,1*		40×25字	8×14		
2*,3*		80×25字			
0+,1+		40×25字	8(9)×16		
2+,3+		80×25字			
4,5	VGA	320×200ドット	8×8	4/256K	70
6	グラフィックス	640×200ドット		2/256K	
7	VGA テキスト	80×25字	8(9)×14	モノクロ	70
7+			8(9)×16		
D	VGA グラフィックス	320×200ドット	8×8	16/256K	60
E		640×200ドット			
F		640×350ドット	8×14	モノクロ	
10				16/256K	
11		640×480ドット	8×16	2/256K	
12				16/256K	
13	320×200ドット	8×8	256/256K	70	

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)
-	SVGA グラフィックス	640 x 480ドット	-	256/256K	60/75/85 /100
-		800 x 600ドット	-		
-		1024 x 768ドット	-		
-		1280 x 1024ドット*1	-		
-		1400 x 1050ドット*1	-		
-		1600 x 1200ドット*1	-		
-		1920 x 1440ドット*1	-		
-		640 x 480ドット	-	64K/64K	60/75/85 /100
-		800 x 600ドット	-		
-		1024 x 768ドット	-		
-		1280 x 1024ドット*1	-		
-		1400 x 1050ドット*1	-		
-		1600 x 1200ドット*1	-		
-		1920 x 1440ドット*1	-		
-		640 x 480ドット	-	16M/16M	60/75/85 /100
-		800 x 600ドット	-		
-		1024 x 768ドット	-		
-		1280 x 1024ドット*1	-		
-		1400 x 1050ドット*1	-		
-		1600 x 1200ドット*1	-		
-		1920 x 1440ドット*1	-		

*1 LCDに表示する場合は、実際の画面（1024 x 768）内に、仮想スクリーン表示します。

注) 一部の画面モードは、マルチモニターでは使用できません。

2 クイックプレイ操作一覧

クイックプレイを使用しているとき、リモコンとキーボードからの操作は次のようになります。詳細は「1章3 クイックプレイを使う」をご覧ください。

リモコン	パソコン本体	クイックTV	クイックCD	クイックDVD
電源	電源スイッチ	クイックTV終了	クイックCD終了	クイックDVD終了
TV			クイックCD終了 →クイックTV起動	クイックDVD終了 →クイックTV起動
CD/DVD		クイックTV終了 →クイックCDまたはDVD起動		
入力切替	I	TV/ライン切り替え		
輝度H	Fn + F7	画面の輝度を上げる	画面の輝度を上げる	画面の輝度を上げる
リプレイ	Ctrl + K			約10秒前に戻す
スキップ	Ctrl + L			約30秒後にスキップ
輝度V	Fn + F6	画面の輝度を下げる	画面の輝度を下げる	画面の輝度を下げる
1	1	1チャンネルを選択	1曲目を選択	1番目のチャプターを選択
2	2	2チャンネルを選択	2曲目を選択	2番目のチャプターを選択
3	3	3チャンネルを選択	3曲目を選択	3番目のチャプターを選択
4	4	4チャンネルを選択	4曲目を選択	4番目のチャプターを選択
5	5	5チャンネルを選択	5曲目を選択	5番目のチャプターを選択
6	6	6チャンネルを選択	6曲目を選択	6番目のチャプターを選択
7	7	7チャンネルを選択	7曲目を選択	7番目のチャプターを選択
8	8	8チャンネルを選択	8曲目を選択	8番目のチャプターを選択
9	9	9チャンネルを選択	9曲目を選択	9番目のチャプターを選択
10/0	1、0	10チャンネルを選択		
	0		2桁の曲番号 選択時、ゼロ	2桁のチャプター番号 選択時、ゼロ
11	1、1	11チャンネルを選択		
12	1、2	12チャンネルを選択		
DVD メニュー	F8 または F9			メニュー表示

リモコン	パソコン本体	クイックTV	クイックCD	クイックDVD
▲	↑	設定項目移動		設定項目移動
◀	←	設定項目移動		設定項目移動
決定	Enter	決定または設定完了	曲選択決定	決定または設定完了
▶	→	設定項目移動		設定項目移動
▼	↓	設定項目移動		設定項目移動
設定	F2	設定メニュー表示 /非表示		設定メニュー表示 /非表示
戻る	Esc	メニュー取り消し /戻る		メニュー取り消し /戻る/リターン*1
チャンネル ∧	Fn + ↑	チャンネルを進める		
音量+	Ctrl + ↑	音量上げる	音量上げる	音量上げる
チャンネル ∨	Fn + ↓	チャンネルを戻す		
音量-	Ctrl + ↓	音量下げる	音量下げる	音量下げる
ミュート	M	消音	消音	消音
◀◀	<		約10秒前に戻す	巻き戻し
▶/	Space		再生/一時停止	再生/一時停止
▶▶	>		約10秒後にスキップ	早送り
◀◀	K		前の曲	前のチャプター
■	Ctrl + Space		停止	停止
▶▶	L		次の曲	次のチャプター
	Ctrl + R		1曲リピート /Discリピート	
	Ctrl + S		シャッフル再生	
表示	D	表示切替	表示切替	表示切替
アングル	G			アングル
字幕	S			字幕
音声/音多	A	音多切替		音声切替
	T			タイトル選択
	Y			スロー再生
	F1	キーガイド表示	キーガイド表示	キーガイド表示
	E		ディスプレイを開く	ディスプレイを開く

* 1 リターン：DVD で指定された画面に戻ります。再生する DVD に付属の説明書もあわせてお読みください。

3 地域コード一覧

チャンネルの地域設定をする場合、次の表を参照して本製品を使用している地域のコード番号を入力してください。

参照 → 地域設定「1章 3-②-4 各種設定」

都道府県名	チャンネル ポジション		1		2		3		4		5		6	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
北海道	0	初期設定	-		-		-		-		-		-	
	1	サッポロ (札幌)	北海道放送				NHK総合		テレビ北海道		札幌テレビ放送			
			1	1			3	3	17	17	5	5		
	2	ハコダテ (函館)	北海道文化放送				北海道テレビ放送		NHK総合		テレビ北海道		北海道放送	
			27	27			35	35	4	4	21	21	6	6
	3	アサヒカワ (旭川)			NHK教育				テレビ北海道		北海道文化放送		北海道テレビ放送	
					2	2			33	33	37	37	39	39
	4	オビヒロ (帯広)	北海道文化放送				北海道テレビ放送		NHK総合				北海道放送	
			32	32			34	34	4	4			6	6
	5	クシロ (釧路)			NHK教育		北海道テレビ放送		北海道文化放送					
					2	2	39	39	41	41				
	6	トマコマイ (苫小牧)			NHK教育				北海道テレビ放送		北海道文化放送			
					49	49			61	61	53	53		
	7	オタル (小樽)			NHK教育				北海道テレビ放送		北海道文化放送			
				2	2			4	4	26	26			
8	キタミ (北見)			NHK教育				北海道テレビ放送		北海道文化放送				
				2	2			61	61	59	59			
9	ムロラン (室蘭)			NHK教育				テレビ北海道		北海道文化放送		北海道テレビ放送		
				2	2			29	29	37	37	39	39	
10	アバシリ (網走)	北海道放送				NHK総合				札幌テレビ放送				
		1	1			3	3			5	5			
11	ワッカナイ (稚内)			北海道文化放送				NHK総合				札幌テレビ放送		
				26	26			28	28			22	22	
12	ナヨロ (名寄)			北海道文化放送				NHK総合				札幌テレビ放送		
				26	26			4	4			6	6	
13	ネムロ (根室)			NHK教育						北海道文化放送		北海道テレビ放送		
				2	2					62	62	60	60	
青森	アオモリ (青森)	青森放送				NHK総合		青森朝日放送		NHK教育				
		1	1			3	3	34	34	5	5			
	15	ハチノヘ (八戸)			アイビーシー 岩手放送		テレビ岩手		岩手めんこい テレビ				岩手朝日テレビ	
				2	2	37	37	29	29			27	27	
16	ムツ (むつ)							NHK総合				青森朝日放送		
								4	4			56	56	

(2003年7月1日現在)

都道府県名	チャンネル ポジション		7		8		9		10		11		12	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
北海道	0	初期設定	-		-		-		-		-		-	
	1	サッポロ (札幌)	北海道文化放送						北海道テレビ放送				NHK教育	
			27	27					35	35			12	12
	2	ハコダテ (函館)							NHK教育				札幌テレビ放送	
									10	10			12	12
	3	アサヒカワ (旭川)	札幌テレビ放送				NHK総合				北海道放送			
			7	7			9	9			11	11		
	4	オビヒロ (帯広)							札幌テレビ放送				NHK教育	
									10	10			12	12
	5	クシロ (釧路)	札幌テレビ放送				NHK総合				北海道放送			
			7	7			9	9			11	11		
	6	トマコマイ (苫小牧)	札幌テレビ放送				NHK総合				北海道放送		テレビ北海道	
			57	57			51	51			55	55	47	47
	7	オタル (小樽)	札幌テレビ放送				北海道放送				NHK総合		テレビ北海道	
			7	7			9	9			11	11	24	24
	8	キタミ (北見)	札幌テレビ放送				NHK総合				北海道放送			
			7	7			9	9			53	53		
	9	ムロラン (室蘭)	札幌テレビ放送				NHK総合				北海道放送			
			7	7			9	9			11	11		
10	アバシリ (網走)	北海道文化放送				北海道テレビ放送						NHK教育		
		27	27			35	35					12	12	
11	ワッカナイ (稚内)			北海道テレビ放送				北海道放送				NHK教育		
				24	24			10	10			30	30	
12	ナヨロ (名寄)			北海道テレビ放送				北海道放送				NHK教育		
				24	24			10	10			12	12	
13	ネムロ (根室)	札幌テレビ放送				NHK総合				北海道放送				
		7	7			9	9			11	11			
青森	アオモリ (青森)											青森テレビ		
												38	38	
	15	ハチノハ (八戸)	NHK教育				NHK総合		青森朝日放送		青森放送		青森テレビ	
7			7			9	9	31	31	11	11	33	33	
16	ムツ (むつ)			青森テレビ				青森放送				NHK教育		
				58	58			10	10			12	12	

都道府県名	チャンネル ポジション		1		2		3		4		5		6	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
岩手	17	モリオカ (盛岡)	テレビ岩手						NHK総合				アイビーシー 岩手放送	
			35	35					4	4			6	6
	18	カマイシ (釜石)			NHK総合				岩手朝日テレビ				岩手めんこい テレビ	
宮城	20	センダイ (仙台)	東北放送				NHK総合				NHK教育			
			1	1			3	3			5	5		
	21	イシノマキ (石巻)	東北放送				NHK総合				NHK教育			
秋田	22	ケセンママ (気仙沼)			NHK総合				東北放送				仙台放送	
					2	2			4	4			6	6
	23	アキタ (秋田)			NHK教育						秋田朝日			
山形	24	オオダテ (大館)	青森放送						NHK総合		秋田朝日		秋田放送	
			1	1					4	4	59	59	6	6
	25	オオマガリ ・ヨコテ (大曲・横手)			NHK教育						秋田朝日			
福島	26	ヤマガタ (山形)							NHK教育				テレビユー山形	
									4	4			36	36
	27	ツルオカ ・サカタ (鶴岡・酒田)	山形放送				NHK総合						NHK教育	
			1	1			3	3					6	6
茨城	28	ヨネザワ (米沢)			さくらんぼ テレビジョン				NHK教育				テレビユー山形	
					60	60			50	50			56	56
	29	シンジョウ (新庄)			NHK教育				さくらんぼ テレビジョン				テレビユー山形	
栃木	30	フクシマ・ コオリヤマ (福島・郡山)			NHK教育				テレビユー福島				福島中央テレビ	
					2	2			31	31			33	33
	31	イワキ (いわき)							NHK総合				福島中央テレビ	
栃木	32	アイツワカマツ (会津若松)	NHK総合				NHK教育		テレビユー福島				福島テレビ	
			1	1			3	3	47	47			6	6
	33	ミト (水戸)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送	
栃木	34	ヒタチ (日立)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送	
			52	1			50	3	54	4			56	6
栃木	35	ウツノミヤ (宇都宮)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		とちぎテレビ		東京放送	
			29	1			27	3	25	4	31	31	23	6
栃木	36	ヤイタ (矢板)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		とちぎテレビ		東京放送	
			51	1			49	3	53	4	33	31	55	6

都道府県名	チャンネル ポジション		7		8		9		10		11		12	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
岩手	17	モリオカ (盛岡)			NHK教育				岩手めんこい テレビ				岩手朝日テレビ	
					8	8			33	33			31	31
	18	カマイシ (釜石)			テレビ岩手				アイビーシー 岩手放送				NHK教育	
				58	58			10	10			12	12	
19	ニノヘ (二戸)			岩手めんこい テレビ				テレビ岩手				NHK教育		
				29	29			37	37			12	12	
宮城	20	センダイ (仙台)	東日本放送				宮城テレビ放送						仙台放送	
			32	32			34	34					12	12
	21	イシノマキ (石巻)	東日本放送				宮城テレビ放送						仙台放送	
			61	61			55	55					57	57
22	ケセンヌマ (気仙沼)			東日本放送				NHK教育				宮城テレビ放送		
				43	43			10	10			37	37	
秋田	23	アキタ (秋田)					NHK総合				秋田放送		秋田テレビ	
							9	9			11	11	37	37
	24	オオダテ (大館)			NHK教育								秋田テレビ	
				8	8							57	57	
25	オオマガリ ・ヨコテ (大曲・横手)					NHK総合				秋田放送		秋田テレビ		
						45	45			47	47	51	51	
山形	26	ヤマガタ (山形)			NHK総合				山形放送				山形テレビ	
					8	8			10	10	30	30	38	38
	27	ツルオカ ・サカタ (鶴岡・酒田)			テレビユー山形						さくらんぼ テレビジョン		山形テレビ	
					22	22					24	24	39	39
	28	ヨネザワ (米沢)			NHK総合				山形放送				山形テレビ	
				52	52			54	54			58	58	
29	シンジョウ (新庄)					NHK総合				山形放送		山形テレビ		
						9	9			11	11	58	58	
福島	30	フクシマ・ コオリヤマ (福島・郡山)					NHK総合		福島放送		福島テレビ			
							9	9	35	35	11	11		
	31	イウキ (いわき)	テレビユー福島		福島テレビ				NHK教育				福島放送	
		62	62	8	8			10	10			60	60	
32	アイツツカマツ (会津若松)			福島中央テレビ				福島放送						
				37	37			41	41					
茨城	33	ミト (水戸)			フジテレビジョン				テレビ朝日				テレビ東京	
					38	8			36	10			32	12
34	ヒタチ (日立)			フジテレビジョン				テレビ朝日				テレビ東京		
				58	8			60	10			62	12	
栃木	35	ウツノミヤ (宇都宮)			フジテレビジョン				テレビ朝日				テレビ東京	
					21	8			19	10			17	12
36	ヤイタ (矢板)			フジテレビジョン				テレビ朝日				テレビ東京		
				57	8			59	10			61	12	

都道府県名	チャンネル ポジション		1		2		3		4		5		6	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
群馬	37	マエバシ (前橋)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		放送大学		東京放送	
			52	1			50	3	54	4	40	40	56	6
	38	キリュウ (桐生)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		放送大学		東京放送	
			43	1			45	3	39	4	40	40	37	6
埼玉	39	サイタマ (さいたま)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		放送大学		東京放送	
			1	1			3	3	4	4	16	16	6	6
	40	クマガヤ ・コダマ (熊谷・児玉)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送	
33			1			35	3	25	4			23	6	
	41	チチブ (秩父)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送	
			51	1			49	3	53	4			55	6
千葉	42	チバ・ フナバシ (千葉・船橋)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		放送大学		東京放送	
			1	1			3	3	4	4	16	16	6	6
	43	チョウシ (銚子)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送	
51			1			49	3	53	4			55	6	
東京	44	トウキョウ 23ク (東京23区)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		東京メトロポリ タンテレビ		東京放送	
			1	1			3	3	4	4	14	14	6	6
	45	ハチオウジ (八王子)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		東京メトロポリ タンテレビ		東京放送	
51			1			49	3	53	4	47	14	55	6	
46	タマ (多摩)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網		東京メトロポリ タンテレビ		東京放送		
		30	1			32	3	26	4	28	14	24	6	
神奈川	47	ヨコハマ・ カワサキ (横浜・川崎)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送	
			1	1			3	3	4	4			6	6
	48	ヨコハマ ミナト (横浜みなと)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送	
			52	1			50	3	54	4			56	6
	49	ヒラツカ・ チガサキ (平塚・ 茅ヶ崎)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送	
33			1			29	3	35	4			37	6	
50	オダワラ (小田原)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送		
		52	1			50	3	54	4			56	6	
51	ハダノ (秦野)	NHK総合				NHK教育		日本テレビ放送網				東京放送		
		47	1			49	3	51	4			53	6	
新潟	52	ニイガタ (新潟)					新潟テレビ21		テレビ新潟放送網		新潟放送			
							21	21	29	29	5	5		
53	ジョウエイツ (上越)	NHK教育				NHK総合						新潟テレビ21		
		1	1			3	3					37	37	
富山	54	トヤマ (富山)	北日本放送				NHK総合						チューリップ テレビ	
			1	1			3	3					32	32
	55	タカオカ (高岡)	北日本放送				NHK総合						チューリップ テレビ	
50			1			48	3					42	32	
石川	56	カナザワ (金沢)							NHK総合				北陸放送	
									4	4			6	6
57	ナナオ (七尾)	テレビ金沢				北陸朝日放送				NHK教育				
		57	57			59	59			5	5			

都道府県名	チャンネル ポジション		7		8		9		10		11		12	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
群馬	37	マエバシ (前橋)	テレビ埼玉 38	38	フジテレビジョン 58	8			テレビ朝日 60	10	群馬テレビ 48	48	テレビ東京 62	12
	38	キリュウ (桐生)			フジテレビジョン 35	8			テレビ朝日 33	10	群馬テレビ 41	48	テレビ東京 31	12
埼玉	39	サイタマ (さいたま)	テレビ埼玉 38	38	フジテレビジョン 8	8			テレビ朝日 10	10	群馬テレビ 48	48	テレビ東京 12	12
	40	クマガヤ ・コダマ (熊谷・児玉)	テレビ埼玉 28	38	フジテレビジョン 21	8			テレビ朝日 19	10	群馬テレビ 48	48	テレビ東京 17	12
	41	チチブ (秩父)	テレビ埼玉 47	38	フジテレビジョン 57	8			テレビ朝日 59	10			テレビ東京 61	12
千葉	42	チバ・ フナバシ (千葉・船橋)	テレビ神奈川 42	42	フジテレビジョン 8	8	ちばテレビ放送 46	46	テレビ朝日 10	10			テレビ東京 12	12
	43	チョウシ (銚子)			フジテレビジョン 57	8	ちばテレビ放送 39	46	テレビ朝日 59	10			テレビ東京 61	12
東京	44	トウキョウ 23ク (東京23区)	テレビ神奈川 42	42	フジテレビジョン 8	8	ちばテレビ放送 46	46	テレビ朝日 10	10	テレビ埼玉 38	38	テレビ東京 12	12
	45	ハチオウジ (八王子)			フジテレビジョン 57	8			テレビ朝日 59	10			テレビ東京 61	12
	46	タマ (多摩)			フジテレビジョン 22	8			テレビ朝日 20	10			テレビ東京 18	12
神奈川	47	ヨコハマ・ カワサキ (横浜・川崎)	テレビ神奈川 42	42	フジテレビジョン 8	8	ちばテレビ放送 46	46	テレビ朝日 10	10			テレビ東京 12	12
	48	ヨコハマ ミナト (横浜みなと)	テレビ神奈川 48	42	フジテレビジョン 58	8	ちばテレビ放送 46	46	テレビ朝日 60	10			テレビ東京 62	12
	49	ヒラツカ・ チガサキ (平塚・茅ヶ崎)	テレビ神奈川 31	42	フジテレビジョン 39	8			テレビ朝日 41	10			テレビ東京 43	12
	50	オダワラ (小田原)	テレビ神奈川 46	42	フジテレビジョン 58	8			テレビ朝日 60	10			テレビ東京 62	12
	51	ハダノ (秦野)	テレビ神奈川 61	42	フジテレビジョン 55	8			テレビ朝日 57	10			テレビ東京 59	12
新潟	52	ニイカタ (新潟)			NHK総合 8	8			新潟総合テレビ 35	35			NHK教育 12	12
	53	ジョウエツ (上越)			テレビ新潟放送網 27	27			新潟放送 10	10			新潟総合テレビ 33	33
富山	54	トヤマ (富山)							NHK教育 10	10			富山テレビ放送 34	34
	55	タカオカ (高岡)							NHK教育 46	10			富山テレビ放送 44	34
石川	56	カナザワ (金沢)	北陸朝日放送 25	25	NHK教育 8	8			テレビ金沢 33	33			石川テレビ放送 37	37
	57	ナナオ (七尾)	石川テレビ放送 55	55			NHK総合 9	9			北陸放送 11	11		

都道府県名	チャンネル ポジション		1		2		3		4		5		6	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
福井	58	フクイ (福井)					NHK教育							
							3	3						
山梨	59	ツルガ (敦賀)												NHK総合
													6	6
山梨	60	コウフ (甲府)	NHK総合				NHK教育				山梨放送			テレビ山梨
			1	1			3	3			5	5	37	37
長野	61	ナガノ(ウツクシガハラ) (長野(美ヶ原))			NHK総合				長野朝日放送					テレビ信州
					2	2			20	20			30	30
	62	ナガノ(ゼンコウジタイラ) (長野(善光寺平))			NHK総合				長野朝日放送					テレビ信州
					44	44			50	50			40	40
	63	マツモト (松本)			NHK総合				長野朝日放送					テレビ信州
				44	44			50	50			48	48	
岐阜	64	イイダ (飯田)					NHK教育		NHK総合					信越放送
							3	3	4	4			6	6
	65	オカヤ・スワ (岡谷・諏訪)	長野朝日放送						NHK総合					信越放送
			61	61					4	4			6	6
	66	ギフ (岐阜)	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送			三重テレビ放送
		1	1			3	3			5	5	33	33	
岐阜	67	ナガラ (長良)	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送			
			57	57			53	53			55	55		
	68	タカヤマ (高山)			NHK教育		中京テレビ放送		NHK総合					中部日本放送
					2	2	26	26	4	4			6	6
	69	カカミガハラ (各務原)	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送			
		1	1			3	3			5	5			
静岡	70	ナカツガワ (中津川)					中京テレビ放送		NHK総合					名古屋テレビ放送
							26	26	4	4			6	6
	71	シズオカ (静岡)			NHK教育				静岡第一テレビ					静岡朝日テレビ
					2	2			31	31			33	33
	72	ハママツ (浜松)			静岡第一テレビ				NHK総合					静岡放送
					30	30			4	4			6	6
	73	ミシマ・ヌマツ (三島・沼津)			NHK教育		静岡第一テレビ				静岡朝日テレビ			
				51	51	61	61			57	57			
静岡	74	シマダ (島田)	NHK総合				NHK教育				静岡放送			
			15	15			18	18			22	22		
	75	フジ (富士)			NHK教育		静岡第一テレビ				静岡朝日テレビ			
					54	54	27	27			29	29		
愛知	76	フジエダ (藤枝)	NHK総合				NHK教育				静岡放送			
			42	42			44	44			40	40		
	77	ナゴヤ (名古屋)	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送			三重テレビ放送
		1	1			3	3			5	5	33	33	
愛知	78	トヨハシ (豊橋)	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送			三重テレビ放送
			56	1			54	3			62	5	33	33
愛知	79	トヨタ (豊田)	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送			三重テレビ放送
			57	1			53	3			55	5	33	33

都道府県名	チャンネル ポジション		7		8		9		10		11		12			
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名			
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示		
福井	58	フクイ (福井)					NHK総合				福井放送		福井テレビジョン 放送			
							9	9			11	11	39	39		
福井	59	ツルガ (敦賀)			福井放送				福井テレビジョン 放送				NHK教育			
					8	8			38	38			12	12		
山梨	60	コウフ (甲府)														
長野	61	ナガノ(ウツ クシガハラ) (長野(美ヶ原))					NHK教育		長野放送		信越放送					
							9	9	38	38	11	11				
	62	ナガノ(ゼンコ ウジタイラ) (長野 (善光寺平))					NHK教育		長野放送		信越放送					
							46	46	42	42	48	48				
	63	マツモト (松本)					NHK教育		長野放送		信越放送					
						46	46	42	42	40	40					
岐阜	64	イイダ (飯田)			テレビ信州				長野放送				長野朝日放送			
					42	42			40	40			44	44		
	65	オカヤ・スワ (岡谷・諏訪)			NHK教育				テレビ信州				長野放送			
							8	8			59	59		47	47	
	66	ギフ (岐阜)	テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送			
		25	25			9	9	37	37	11	11	35	35			
岐阜	67	ナガラ (長良)					NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送			
							49	49	61	61	59	59	47	47		
	68	タカヤマ (高山)			東海テレビ放送				岐阜放送				名古屋テレビ放送			
							8	8			38	38		12	12	
	69	カカミガ ハラ (各務原)					NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送			
						9	9	37	37	11	11	35	35			
静岡	70	ナカツガワ (中津川)			中部日本放送				東海テレビ放送		岐阜放送		NHK教育			
							8	8			10	10	28	28	12	12
	71	シズオカ (静岡)					NHK総合				静岡放送		テレビ静岡			
							9	9			11	11	35	35		
	72	ハママツ (浜松)			NHK教育				静岡朝日テレビ				テレビ静岡			
							8	8			28	28			34	34
	73	ミシマ・ ヌマツ (三島・沼津)	テレビ静岡				NHK総合				静岡放送					
		59	59			53	53			55	55					
静岡	74	シマダ (島田)	静岡第一テレビ						静岡朝日テレビ				テレビ静岡			
			48	48					50	50			58	58		
	75	フジ (富士)	テレビ静岡				NHK総合				静岡放送					
			39	39			52	52			41	41				
愛知	76	フジエダ (藤枝)	静岡第一テレビ						静岡朝日テレビ				テレビ静岡			
			24	24					26	26			38	38		
	77	ナゴヤ (名古屋)	テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送			
			25	25			9	9	37	37	11	11	35	35		
	78	トヨハシ (豊橋)	テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送			
			52	25			50	9	37	37	60	11	58	35		
愛知	79	トヨタ (豊田)	テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送			
			49	25			51	9	37	37	61	11	59	35		

都道府県名	チャンネル ポジション		1		2		3		4		5		6	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
三重	80	ツ (津)	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送		三重テレビ放送	
			1	1			3	3			5	5	33	33
	81	イセ (伊勢)	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送		三重テレビ放送	
57			1			53	3			55	5	59	33	
82	ナバリ (名張)	東海テレビ放送				NHK総合				中部日本放送		三重テレビ放送		
			62	1			52	3			60	5	58	33
滋賀	83	オオツ (大津)			NHK総合				毎日放送				朝日放送	
					28	2			36	4			38	6
84	ヒコネ (彦根)			NHK総合				毎日放送				朝日放送		
				52	2			54	4			58	6	
京都	85	キョウト (京都)			NHK総合		テレビ大阪		毎日放送				朝日放送	
					32	2	19	19	4	4			6	6
	86	ヤマシナ (山科)			NHK総合				毎日放送				朝日放送	
					52	2			54	4			56	6
87	フクチャマ (福知山)			NHK総合				毎日放送				朝日放送		
				50	2			54	4			58	6	
88	マイヅル (舞鶴)			NHK総合				毎日放送				朝日放送		
				51	2			53	4			55	6	
大阪	89	オオサカ (大阪)			NHK総合		テレビ大阪		毎日放送		サンテレビジョン		朝日放送	
					2	2	19	19	4	4	36	36	6	6
兵庫	90	コウベ (神戸)			NHK総合				毎日放送		テレビ大阪		朝日放送	
					28	28			18	4	19	19	20	6
	91	ヒメジ (姫路)			NHK総合				毎日放送				朝日放送	
					50	50			54	4			58	6
	92	アカシ (明石)			NHK総合				毎日放送		テレビ大阪		朝日放送	
					51	51			53	4	19	19	57	6
	93	カワニシ (川西)			NHK総合				毎日放送				朝日放送	
					29	29			35	4			37	6
94	ナダ (灘)			NHK総合				毎日放送		テレビ大阪		朝日放送		
				52	52			54	4	19	19	56	6	
95	ナガタ (長田)			NHK総合				毎日放送				朝日放送		
				44	44			38	4			40	6	
96	ホクダン タルミ (北淡・垂水)			NHK総合				毎日放送				朝日放送		
				51	51			53	4			57	6	
97	ミキ (三木)			NHK総合				毎日放送				朝日放送		
				44	44			34	4			38	6	
奈良	98	ナラ (奈良)			NHK総合				毎日放送		京都放送		朝日放送	
					2	2			4	4	34	34	6	6
	99	イコマ (生駒)			NHK総合				毎日放送				朝日放送	
				2	2			4	4			6	6	
100	ゴジョウ (五條)			NHK総合				毎日放送				朝日放送		
					43	2			33	4			35	6

都道府県名	チャンネル ポジション		7		8		9		10		11		12	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
三重	80	ツ (津)	テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送	
			25	25			9	9	37	37	11	11	35	35
	81	イセ (伊勢)	テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送	
25			25			49	9	37	37	61	11	47	35	
82	ナバリ (名張)	テレビ愛知				NHK教育		岐阜放送		名古屋テレビ放送		中京テレビ放送		
		25	25			50	9	37	37	56	11	54	35	
滋賀	83	オオツ (大津)	京都放送	関西テレビ放送	びわ湖放送	読売テレビ放送							NHK教育	
			34	34	40	8	30	30	42	10			46	12
84	ヒコネ (彦根)		関西テレビ放送	びわ湖放送	読売テレビ放送								NHK教育	
			60	8	56	56	62	10					50	12
京都	85	キョウト (京都)	京都放送	関西テレビ放送		読売テレビ放送							NHK教育	
			34	34	8	8			10	10			12	12
	86	ヤマシナ (山科)	京都放送	関西テレビ放送		読売テレビ放送							NHK教育	
			62	62	58	8			60	10			50	12
	87	フクチャマ (福知山)	京都放送	関西テレビ放送		読売テレビ放送							NHK教育	
56			56	60	8			62	10			52	12	
88	マイヅル (舞鶴)	京都放送	関西テレビ放送		読売テレビ放送							NHK教育		
		57	57	59	8			61	10			49	12	
大阪	89	オオサカ (大阪)	京都放送	関西テレビ放送		読売テレビ放送							NHK教育	
			34	34	8	8			10	10			12	12
兵庫	90	コウベ (神戸)		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送							NHK教育	
				22	8	36	36	24	10			26	12	
	91	ヒメジ (姫路)		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送							NHK教育	
				60	8	56	56	62	10			52	12	
	92	アカシ (明石)		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送							NHK教育	
				59	8	55	55	61	10			49	12	
	93	カワニシ (川西)		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送							NHK教育	
				39	8	33	33	41	10			31	12	
	94	ナダ (灘)		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送							NHK教育	
			58	8	62	62	60	10			50	12		
95	ナガタ (長田)		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送							NHK教育		
			42	8	34	34	48	10			46	12		
96	ホクダン ・タルミ (北淡・垂水)		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送							NHK教育		
			59	8	55	55	61	10			49	12		
97	ミキ (三木)		関西テレビ放送	サンテレビジョン	読売テレビ放送							NHK教育		
			40	8	36	36	42	10			46	12		
奈良	98	ナラ (奈良)		関西テレビ放送		読売テレビ放送		奈良テレビ放送				NHK教育		
				8	8			10	10	55	55	12	12	
	99	イコマ (生駒)		関西テレビ放送		読売テレビ放送		奈良テレビ放送				NHK教育		
			8	8			10	10	26	55	22	12		
100	ゴジョウ (五條)		関西テレビ放送		読売テレビ放送		奈良テレビ放送				NHK教育			
			37	8			39	10	41	55	45	12		

都道府県名	チャンネル ポジション		1		2		3		4		5		6	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
和歌山	101	ワカヤマ (和歌山)			NHK総合				毎日放送		テレビ和歌山		朝日放送	
					32	2			42	4	30	30	44	6
	102	カイン ・タナベ (海南・田辺)			NHK総合				毎日放送		テレビ和歌山		朝日放送	
	103	シングウ (新宮)			NHK総合				毎日放送		テレビ和歌山		朝日放送	
					44	2			36	4	34	34	38	6
鳥取	104	トットリ (鳥取)	日本海 テレビジョン放送				NHK総合		NHK教育					
			1	1			3	3	4	4				
	105	ヨナゴ (米子)					NHK総合				NHK教育			
							42	42			5	5		
	106	クラヨシ (倉吉)	日本海 テレビジョン放送				NHK総合		NHK教育					
			1	1			3	3	4	4				
島根	107	マツエ (松江)	日本海 テレビジョン放送										NHK総合	
			30	30									6	6
	108	ハマダ (浜田)			NHK総合		日本海 テレビジョン放送				山陰放送			
					2	2	54	54			5	5		
岡山	109	オカヤマ (岡山)					NHK教育				NHK総合		テレビせとうち	
							3	3			5	5	23	23
	110	ツヤマ (津山)			NHK総合				テレビせとうち				瀬戸内海放送	
					2	2			56	56			62	62
	111	カサオカ (笠岡)			NHK総合				NHK教育		テレビせとうち		山陽放送	
					2	2			4	4	19	19	6	6
広島	112	ヒロシマ (広島)	テレビ新広島				NHK総合		中国放送					
			31	31			3	3	4	4				
	113	フクヤマ (福山)	テレビ新広島				NHK教育				NHK総合			
			54	54			3	3			5	5		
	114	クレ (呉)	NHK教育				広島ホームテレビ				広島テレビ放送			
		1	1			24	24			5	5			
	115	オノミチ (尾道)	NHK総合				広島ホームテレビ				テレビ新広島			
			1	1			24	24			26	26		
山口	116	ヤマグチ (山口)	NHK教育										山口朝日放送	
			42	42									52	52
	117	シモノセキ (下関)	NHK教育				TVQ九州放送		山口放送				山口朝日放送	
			41	41			23	23	4	4			21	21
	118	ウベ (宇部)	NHK教育										山口朝日放送	
			14	14									31	31
	119	イワクニ (岩国)	NHK教育										山口朝日放送	
			1	1									28	28
	120	ホウフ (防府)	NHK教育										山口朝日放送	
			1	1									28	28
徳島	121	トクシマ (徳島)	四国放送				NHK総合		毎日放送				朝日放送	
			1	1			3	3	4	4			6	6

都道府県名	チャンネル ポジション		7		8		9		10		11		12			
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名			
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示		
和歌山	101	ワカヤマ (和歌山)			関西テレビ放送				読売テレビ放送				NHK教育			
					46	8			48	10			26	12		
	102	カイン ・タナベ (海南・田辺)			関西テレビ放送				読売テレビ放送				NHK教育			
				60	8			62	10			52	12			
103	シングウ (新宮)			関西テレビ放送				読売テレビ放送				NHK教育				
				40	8			42	10			46	12			
鳥取	104	トットリ (鳥取)							山陰放送				山陰中央 テレビジョン放送			
									22	22			24	24		
	105	ヨナゴ (米子)			日本海 テレビジョン放送				山陰放送				山陰中央 テレビジョン放送			
				8	8			10	10			34	34			
106	クラヨシ (倉吉)			山陰中央 テレビジョン放送				山陰放送								
				58	58			56	56							
島根	107	マツエ (松江)			山陰中央 テレビジョン放送				山陰放送				NHK教育			
					34	34			10	10			12	12		
	108	ハマダ (浜田)			山陰中央 テレビジョン放送		NHK教育									
				58	58	9	9									
岡山	109	オカヤマ (岡山)	瀬戸内海放送				西日本放送				山陽放送		岡山放送			
			25	25			9	9			11	11	35	35		
	110	ツヤマ (津山)	山陽放送				西日本放送				岡山放送		NHK教育			
				7	7			58	58			60	60	12	12	
111	カサオカ (笠岡)					西日本放送		瀬戸内海放送		岡山放送						
						17	17	21	21	60	60					
広島	112	ヒロシマ (広島)	NHK教育				広島ホームテレビ						広島テレビ放送			
			7	7			35	35					12	12		
	113	フクヤマ (福山)	中国放送				広島ホームテレビ				広島テレビ放送					
					7	7			57	57			11	11		
	114	クレ (呉)	テレビ新広島				中国放送				NHK総合					
				26	26			9	9			11	11			
115	オノミチ (尾道)	NHK教育						中国放送				広島テレビ放送				
				7	7			10	10			12	12			
山口	116	ヤマグチ (山口)	テレビ山口				NHK総合				山口放送					
			49	49			44	44			46	46				
	117	シモノセキ (下関)	テレビ山口				NHK総合		テレビ西日本				福岡放送			
					33	33			39	39	10	10			35	35
	118	ウベ (宇部)	テレビ山口				NHK総合		テレビ西日本		山口放送					
				20	20			16	16	10	10	18	18			
119	イワクニ (岩国)	テレビ山口				NHK総合				山口放送						
				22	22			9	9			11	11			
120	ホウフ (防府)	テレビ山口				NHK総合				山口放送						
				38	38			9	9			11	11			
徳島	121	トクシマ (徳島)			関西テレビ放送				読売テレビ放送				NHK教育			
				8	8			10	10			38	12			

都道府県名	チャンネル ポジション		1		2		3		4		5		6		
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	
香川	122	タカマツ (高松)					NHK教育				NHK総合	テレビせとうち			
							39	39			37	37	19	19	
	123	マルガメ (丸亀)					NHK教育				NHK総合	テレビせとうち			
							40	40			44	44	16	16	
愛媛	124	マツヤマ (松山)			NHK教育								NHK総合		
					2	2							6	6	
	125	イマバリ (今治)			NHK教育								NHK総合		
					30	30							32	32	
	126	ニイハマ (新居浜)			NHK総合				NHK教育				南海放送		
					2	2			4	4			6	6	
	127	ウウジマ (宇和島)	NHK教育										NHK総合		
			1	1									6	6	
高知	128	コウチ (高知)							NHK総合				NHK教育		
									4	4			6	6	
	129	ナカムラ (中村)	NHK総合				高知放送						テレビ高知		
			1	1			3	3					32	32	
福岡	130	フクオカ (福岡)	九州朝日放送				NHK総合		アール・ケー・ビー 毎日放送		TVQ九州放送	NHK教育			
			1	1			3	3	4	4	19	19	6	6	
	131	キタ キュウシュウ (北九州)		九州朝日放送			福岡放送				TVQ九州放送	NHK総合			
				2	2		35	35			23	23	6	6	
	132	クルメ (久留米)	九州朝日放送				NHK総合		アール・ケー・ビー 毎日放送		TVQ九州放送	NHK教育			
			57	57			46	46	48	48	14	14	54	54	
	133	オオムタ (大牟田)	九州朝日放送				NHK総合		アール・ケー・ビー 毎日放送		TVQ九州放送	NHK教育			
			58	58			53	53	61	61	19	19	50	50	
	134	ユクハシ (行橋)		九州朝日放送			福岡放送				TVQ九州放送	NHK総合			
				57	57		43	43			19	19	49	49	
佐賀	135	サガ (佐賀)		NHK教育			福岡放送		さがテレビ		TVQ九州放送	九州朝日放送			
				40	40		52	52	36	36	14	14	57	57	
	136	イマリ (伊万里)	NHK教育				福岡放送		さがテレビ		TVQ九州放送	九州朝日放送			
			44	44			52	52	41	41	14	14	57	57	
長崎	137	ナガサキ (長崎)	NHK教育				NHK総合				長崎放送				
			1	1			3	3			5	5			
	138	サセボ (佐世保)		NHK教育									長崎文化放送		
			2	2								31	31		
	139	イサハヤ (諫早)	NHK教育				NHK総合				長崎放送				
			45	45			47	47			49	49			
熊本	140	クマモト (熊本)		NHK教育			熊本朝日放送		熊本県民テレビ				テレビ熊本		
				2	2		16	16	22	22			34	34	
	141	ミナマタ (水俣)	NHK教育				熊本朝日放送		NHK総合				熊本放送		
			1	1			32	32	4	4			6	6	

都道府県名	チャンネル ポジション		7		8		9		10		11		12	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
香川	122	タカマツ (高松)	瀬戸内海放送				西日本放送				山陽放送		岡山放送	
			33	33			41	41			29	29	31	31
	123	マルガメ (丸亀)	瀬戸内海放送				西日本放送				山陽放送		岡山放送	
			42	42			20	20			18	18	22	22
愛媛	124	マツヤマ (松山)			あいテレビ		愛媛朝日テレビ		南海放送		広島ホームテレビ		愛媛放送	
					29	29	25	25	10	10	35	35	37	37
	125	イマバリ (今治)			あいテレビ		愛媛朝日テレビ		南海放送				愛媛放送	
					27	27	17	17	34	34			36	36
126	ニイハマ (新居浜)	愛媛朝日テレビ		あいテレビ								愛媛放送		
		14	14	27	27							36	36	
127	ウワジマ (宇和島)			あいテレビ		愛媛朝日テレビ		南海放送				愛媛放送		
				34	34	16	16	10	10			32	32	
高知	128	コウチ (高知)			高知放送				テレビ高知				高知 さんさんテレビ	
					8	8			38	38			40	40
129	ナカムラ (中村)			高知 さんさんテレビ						NHK教育				
				14	14					11	11			
福岡	130	フクオカ (福岡)					テレビ西日本						福岡放送	
							9	9					37	37
	131	キタ キュウシュウ (北九州)			アール・ケー・ビー 毎日放送				テレビ西日本				NHK教育	
					8	8			10	10			12	12
	132	クルメ (久留米)					テレビ西日本						福岡放送	
							60	60					52	52
133	オオムタ (大牟田)					テレビ西日本						福岡放送		
						55	55					43	43	
134	ユクハシ (行橋)			アール・ケー・ビー 毎日放送				テレビ西日本				NHK教育		
				60	60			54	54			46	46	
佐賀	135	サガ (佐賀)			アール・ケー・ビー 毎日放送		NHK総合		テレビ西日本		熊本放送			
					48	48	38	38	60	60	11	11		
136	イマリ (伊万里)			アール・ケー・ビー 毎日放送		NHK総合		テレビ西日本		熊本放送				
				48	48	51	51	60	60	11	11			
長崎	137	ナガサキ (長崎)	テレビ長崎				長崎文化放送				長崎国際テレビ			
			37	37			27	27			25	25		
	138	サセボ (佐世保)	テレビ長崎		NHK総合				長崎放送		長崎国際テレビ			
35			35	8	8			10	10	17	17			
139	イサハヤ (諫早)	テレビ長崎				長崎文化放送				長崎国際テレビ				
		42	42			24	24			20	20			
熊本	140	クマモト (熊本)					NHK総合				熊本放送			
							9	9			11	11		
141	ミナマタ (水俣)			熊本県民テレビ				テレビ熊本						
				36	36			38	38					

都道府県名	チャンネル ポジション		1		2		3		4		5		6	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
大分	142	オオイタ (大分)					NHK総合				大分放送		大分朝日放送	
							3	3			5	5	24	24
	143	ナカツ (中津)					NHK総合				大分放送		大分朝日放送	
宮崎	144	サイキ (佐伯)	NHK教育								テレビ大分		大分朝日放送	
			1	1							49	49	31	31
	145	ミヤザキ (宮崎)					テレビ宮崎							
鹿児島	146	ノベオカ (延岡)			NHK教育				NHK総合				宮崎放送	
					2	2			4	4			6	6
	147	カゴシマ (鹿児島)	南日本放送				NHK総合				NHK教育			
沖縄	148	カノヤ (鹿屋)			NHK教育				NHK総合				南日本放送	
					2	2			4	4			6	6
	149	アクネ (阿久根)							鹿児島放送				鹿児島テレビ放送	
150	ナハ (那覇)			NHK総合								琉球朝日放送		
				2	2							28	28	

都道府県名	チャンネル ポジション		7		8		9		10		11		12	
	地域 コード	地域・ 都市名	放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名		放送局名	
			CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示	CH	表示
大分	142	オオイタ (大分)	テレビ大分										NHK教育	
			36	36									12	12
	143	ナカツ (中津)	テレビ大分										NHK教育	
37			37									45	45	
144	サイキ (佐伯)	NHK総合				大分放送								
			7	7			9	9						
宮崎	145	ミヤザキ (宮崎)			NHK総合				宮崎放送				NHK教育	
					8	8			10	10			12	12
146	ノベオカ (延岡)			テレビ宮崎										
					39	39								
鹿児島	147	カゴシマ (鹿児島)	鹿児島放送				鹿児島テレビ放送				鹿児島読売テレビ			
			32	32			38	38			30	30		
	148	カノヤ (鹿屋)			鹿児島放送				鹿児島テレビ放送				鹿児島読売テレビ	
				31	31			33	33			25	25	
149	アクネ (阿久根)			NHK総合				南日本放送		鹿児島読売テレビ		NHK教育		
				8	8			10	10	17	17	12	12	
沖縄	150	ナハ (那覇)			沖縄テレビ放送				琉球放送				NHK教育	
					8	8			10	10			12	12

4 言語コード一覧

クイックプレイで言語コードを入力する場合、次の表を参照してコード番号を入力してください。

参照 → 「1章 3-4-4 各種設定」

コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アフアル語	EO	エスペラント語	IT	イタリア語
AB	アブバジア語	ES	スペイン語	IW	ヘブライ語
AF	アフリカーンス語	ET	エストニア語	JA	日本語
AM	アムハラ語	EU	バスク語	JI	イディッシュ語
AR	アラビア語	FA	ペルシャ語	JW	ジャワ語
AS	アッサム語	FI	フィンランド語	KA	グルジア語
AY	アイマラ語	FJ	フィジー語	KK	カザフ語
AZ	アゼルバイジャン語	FO	フェロー語	KL	グリーンランド語
BA	バシキール語	FR	フランス語	KM	カンボジア語
BE	ベラルーシ語	FY	フリジア語	KN	カンナダ語
BG	ブルガリア語	GA	アイルランド語	KO	韓国語
BH	ビハーリー語	GD	スコットランドゲール語	KS	カシミール語
BI	ビスラマ語	GL	ガルシア語	KU	クルド語
BN	ベンガル語、バングラ語	GN	グアラニ語	KY	キルギス語
BO	チベット語	GU	グジャラート語	LA	ラテン語
BR	ブルトン語	HA	ハウサ語	LN	リンガラ語
CA	カタロニア語	HI	ヒンディー語	LO	ラオス語
CO	コルシカ語	HR	クロアチア語	LT	リトアニア語
CS	チェコ語	HU	ハンガリー語	LV	ラトビア語、レット語
CY	ウェールズ語	HY	アルメニア語	MG	マダガスカル語
DA	デンマーク語	IA	国際語	MI	マオリ語
DE	ドイツ語	IE	国際語	MK	マケドニア語
DZ	ブータン語	IK	エスキモー語	ML	マラヤーラム語
EL	ギリシャ語	IN	インドネシア語	MN	モンゴル語
EN	英語	IS	アイスランド語	MO	モルダビア語

コード	言語	コード	言語	コード	言語
MR	マラータ語	SA	サンスクリット語	TI	ティグリニャ語
MS	マレー語	SD	シンド語	TK	トゥルクメン語
MT	マルタ語	SG	サンゴ語	TL	タガログ語
MY	ミャンマー語	SH	セルビアクロアチア語	TN	セツワナ語
NA	ナウル語	SI	シンハラ語	TO	トンガ語
NE	ネパール語	SK	スロバキア語	TR	トルコ語
NL	オランダ語	SL	スロベニア語	TS	ツォンガ語
NO	ノルウェー語	SM	サモア語	TT	タタール語
OC	プロバンス語	SN	ショナ語	TW	トウィ語
OM	(アフアン) オロモ語	SO	ソマリ語	UK	ウクライナ語
OR	オリヤー語	SQ	アルバニア語	UR	ウルドゥー語
PA	パンジャブ語	SR	セルビア語	UZ	ウズベク語
PL	ポーランド語	SS	シスワティ語	VI	ベトナム語
PS	パシュトー語	ST	セストゥ語	VO	ボラピュク語
PT	ポルトガル語	SU	スンダ語	WO	ウォロフ語
QU	ケチュア語	SV	スウェーデン語	XH	コーサ語
RM	ラエティ＝ロマン語	SW	スワヒリ語	YO	ヨルバ語
RN	キルンディ語	TA	タミール語	ZH	中国語
RO	ルーマニア語	TE	テルグ語	ZU	ズール語
RU	ロシア語	TG	タジク語		
RW	キニヤルワンダ語	TH	タイ語		

5 技術基準適合について

瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

▶ 参照 『困ったときは 3 章 その他 -
Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい』

高調波対策について

本装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



▶ 参照 省電力設定について 「4 章 2 省電力の設定をする」

FCC information

Product name : dynabook EX/2 series

Model number : PSJ02N

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING : *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by TOSHIBA is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's RGB connector, USB connector, i.LINK(IEEE1394) connector and Microphone jack. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by TOSHIBA or parties authorized by TOSHIBA could void the user's authority to operate the equipment.*

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

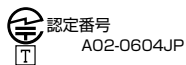
Address : TOSHIBA America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697

Telephone : (949) 583-3000

モデム使用時の注意事項

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項を守ってください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により電気通信事業法第 50 条 1 項に基づき、技術基準適合認定を受けたものです。



●対応地域

内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、メキシコ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルグ、レバノン、ロシア

(2004年5月現在)

なお、その他の地域での許認可は受けていないため、その他の地域では使用できません。注意してください。

内蔵モデムが使用できない地域では、その地域で許認可を受けているモデムを購入してください。

内蔵モデムに接続する回線が PBX 等を經由する場合は使用できない場合があります。上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめ了承してください。

参照 ➡ 設定について

《サイバーサポート（検索）：海外でインターネットに接続したい》

●自動再発信の制限

内蔵モデムは 2 回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を 2 回以下または再発信間隔を 1 分以上にしてください）。

* 内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は 2 回以内（但し、最初の発信から 3 分以内）」に従っています。

Conformity Statement

The equipment has been approved to [Commission Decision "CTR21"] for pan-European single terminal connection to the Public Switched Telephone Network (PSTN).

However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries/regions the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

Network Compatibility Statement

This product is designed to work with, and is compatible with the following networks. It has been tested to and found to confirm with the additional requirements conditional in EG 201 121.

Germany	- ATAAB AN005,AN006,AN007,AN009,AN010 and DE03,04,05,08,09,12,14,17
Greece	- ATAAB AN005,AN006 and GR01,02,03,04
Portugal	- ATAAB AN001,005,006,007,011 and P03,04,08,10
Spain	- ATAAB AN005,007,012, and ES01
Switzerland	- ATAAB AN002
All other countries/regions	- ATAAB AN003,004

Specific switch settings or software setup are required for each network, please refer to the relevant sections of the user guide for more details.

The hookflash (timed break register recall) function is subject to separate national type approvals. It has not been tested for conformity to national type regulations, and no guarantee of successful operation of that specific function on specific national networks can be given.

Pursuant to FCC CFR 47, Part 68:

When you are ready to install or use the modem, call your local telephone company and give them the following information:

- The telephone number of the line to which you will connect the modem
- The registration number that is located on the device

The FCC registration number of the modem will be found on either the device which is to be installed, or, if already installed, on the bottom of the computer outside of the main system label.

- The Ringer Equivalence Number (REN) of the modem, which can vary.
For the REN of your modem, refer to your modem's label.

The modem connects to the telephone line by means of a standard jack called the USOC RJ11C.

Type of service

Your modem is designed to be used on standard-device telephone lines.

Connection to telephone company-provided coin service (central office implemented systems) is prohibited. Connection to party lines service is subject to state tariffs. If you have any questions about your telephone line, such as how many pieces of equipment you can connect to it, the telephone company will provide this information upon request.

Telephone company procedures

The goal of the telephone company is to provide you with the best service it can.

In order to do this, it may occasionally be necessary for them to make changes in their equipment, operations, or procedures. If these changes might affect your service or the operation of your equipment, the telephone company will give you notice in writing to allow you to make any changes necessary to maintain uninterrupted service.

If problems arise

If any of your telephone equipment is not operating properly, you should immediately remove it from your telephone line, as it may cause harm to the telephone network. If the telephone company notes a problem, they may temporarily discontinue service. When practical, they will notify you in advance of this disconnection. If advance notice is not feasible, you will be notified as soon as possible. When you are notified, you will be given the opportunity to correct the problem and informed of your right to file a complaint with the FCC.

In the event repairs are ever needed on your modem, they should be performed by TOSHIBA Corporation or an authorized representative of TOSHIBA Corporation.

Disconnection

If you should ever decide to permanently disconnect your modem from its present line, please call the telephone company and let them know of this change.

Fax branding

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device to send any message via a telephone fax machine unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity or individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity or individual.

In order to program this information into your fax modem, you should complete the setup of your fax software before sending messages.

Instructions for IC CS-03 certified equipment

- 1 **NOTICE** : The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means that the equipment meets certain telecommunications network protective, operational and safety requirements as prescribed in the appropriate Terminal Equipment Technical Requirements document(s). The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction.

Before installing this equipment, users should ensure that it is permissible to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection.

The customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations.

Repairs to certified equipment should be coordinated by a representative designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

Caution: Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or electrician, as appropriate.

- 2 The user manual of analog equipment must contain the equipment's Ringer Equivalence Number (REN) and an explanation notice similar to the following:

The Ringer Equivalence Number (REN) of the modem, which can vary.

For the REN of your modem, refer to your modem's label.

NOTICE : The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

- 3 The standard connecting arrangement (telephone jack type) for this equipment is jack type(s): USOC RJ11C.

CANADA:1353A-L4AINT

Notes for Users in Australia and New Zealand

Modem warning notice for Australia

Modems connected to the Australian telecoms network must have a valid Austel permit. This modem has been designed to specifically configure to ensure compliance with Austel standards when the region selection is set to Australia.

The use of other region setting while the modem is attached to the Australian PSTN would result in you modem being operated in a non-compliant manner.

To verify that the region is correctly set, enter the command ATI which displays the currently active setting.

To set the region permanently to Australia, enter the following command sequence:

```
AT%TE=1
ATS133=1
AT&F
AT&W
AT%TE=0
ATZ
```

Failure to set the modem to the Australia region setting as shown above will result in the modem being operated in a non-compliant manner. Consequently, there would be no permit in force for this equipment and the Telecoms Act 1991 prescribes a penalty of \$12,000 for the connection of non-permitted equipment.

Notes for use of this device in New Zealand

- The grant of a Telepermit for a device in no way indicates Telecom acceptance of responsibility for the correct operation of that device under all operating conditions. In particular the higher speeds at which this modem is capable of operating depend on a specific network implementation which is only one of many ways of delivering high quality voice telephony to customers. Failure to operate should not be reported as a fault to Telecom.
- In addition to satisfactory line conditions a modem can only work properly if:
 - a/ it is compatible with the modem at the other end of the call and
 - b/ the application using the modem is compatible with the application at the other end of the call - e.g., accessing the Internet requires suitable software in addition to a modem.
- This equipment shall not be used in any manner which could constitute a nuisance to other Telecom customers.
- Some parameters required for compliance with Telecom's PTC
Specifications are dependent on the equipment (PC) associated with this modem. The associated equipment shall be set to operate within the following limits for compliance with Telecom Specifications:
 - a/ There shall be no more than 10 call attempts to the same number within any 30 minute period for any single manual call initiation, and

-
- b/ The equipment shall go on-hook for a period of not less than 30 seconds between the end of one attempt and the beginning of the next.
 - c/ Automatic calls to different numbers shall be not less than 5 seconds apart.
 - Immediately disconnect this equipment should it become physically damaged, and arrange for its disposal or repair.
 - The correct settings for use with this modem in New Zealand are as follows:
 - ATB0 (CCITT operation)
 - AT&G2 (1800 Hz guard tone)
 - AT&P1 (Decadic dialing make-break ratio =33%/67%)
 - ATS0=0 (not auto answer)
 - ATS10=less than 150 (loss of carrier to hangup delay, factory default of 15 recommended)
 - ATS11=90 (DTMF dialing on/off duration=90 ms)
 - ATX2 (Dial tone detect, but not (U.S.A.) call progress detect)
 - When used in the Auto Answer mode, the S0 register must be set with a value between 3 or 4. This ensures:
 - (a) a person calling your modem will hear a short burst of ringing before the modem answers. This confirms that the call has been successfully switched through the network.
 - (b) caller identification information (which occurs between the first and second ring cadences) is not destroyed.
 - The preferred method of dialing is to use DTMF tones (ATDT...) as this is faster and more reliable than pulse (decadic) dialing. If for some reason you must use decadic dialing, your communications program must be set up to record numbers using the following translation table as this modem does not implement the New Zealand "Reverse Dialing" standard.
 - Number to be dialed: 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 - Number to program into computer: 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1
 - Note that where DTMF dialing is used, the numbers should be entered normally.
 - The transmit level from this device is set at a fixed level and because of this there may be circumstances where the performance is less than optimal.
 - Before reporting such occurrences as faults, please check the line with a standard Telepermitted telephone, and only report a fault if the phone performance is impaired.
 - It is recommended that this equipment be disconnected from the Telecom line during electrical storms.
 - When relocating the equipment, always disconnect the Telecom line connection before the power connection, and reconnect the power first.
 - This equipment may not be compatible with Telecom Distinctive Alert cadences and services such as Fax Ability.

NOTE THAT FAULT CALL OUT CAUSED BY ANY OF THE ABOVE CAUSES MAY INCUR A CHARGE FROM TELECOM

General conditions

As required by PTC 100, please ensure that this office is advised of any changes to the specifications of these products which might affect compliance with the relevant PTC Specifications.

The grant of this Telepermit is specific to the above products with the marketing description as stated on the Telepermit label artwork. The Telepermit may not be assigned to other parties or other products without Telecom approval.

A Telepermit artwork for each device is included from which you may prepare any number of Telepermit labels subject to the general instructions on format, size and colour on the attached sheet.

The Telepermit label must be displayed on the product at all times as proof to purchasers and service personnel that the product is able to be legitimately connected to the Telecom network.

The Telepermit label may also be shown on the packaging of the product and in the sales literature, as required in PTC 100.

The charge for a Telepermit assessment is \$337.50. An additional charge of \$337.50 is payable where an assessment is based on reports against non-Telecom New Zealand Specifications. \$112.50 is charged for each variation when submitted at the same time as the original.

An invoice for \$NZ1237.50 will be sent under separate cover.

Panasonic DVD SuperMulti ドライブ UJ-820 (DVD スーパーマルチドライブ) 安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。

本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス1レーザー機器”に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。

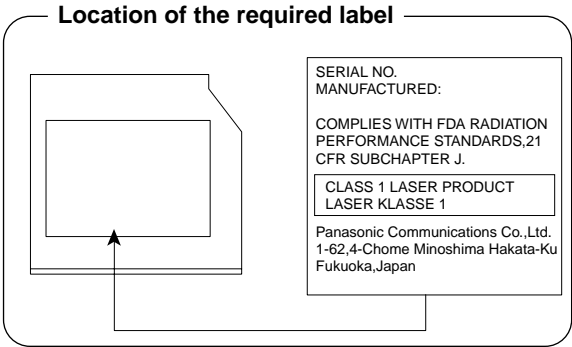
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。

4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。

5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	CLASSE 3B RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	KLASSE 3B SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
WARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÅR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
VARO!	KURSSI 3B NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE, ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.



6 無線 LAN について

* 無線 LAN モデルのみ

1 無線特性

無線 LAN の無線特性は、製品を購入した国／地域、購入した製品の種類により異なる場合があります。

多くの場合、無線通信は使用する国／地域の無線規制の対象になります。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない 2.4GHz 帯で動作するように設計されていますが、国／地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。

各地域で適用される無線規制については、「本節 5 お客様に対するお知らせ」を確認してください。

無線周波数帯	IEEE802.11g, IEEE802.11b	2.4GHz (2400-2497MHz)
変調方式	IEEE802.11g	直交周波数分割多重方式 OFDM-BPSK, OFDM-QPSK, OFDM-16QAM, OFDM-64QAM
	IEEE802.11b	直接拡散方式 DSSS-CCK, DSSS-DQPSK, DSSS-DBPSK
データレート	IEEE802.11g	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
	IEEE802.11b	11/5.5/2/1Mbps

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。

メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る " 障害物 " がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

2 サポートする周波数帯域

無線 LAN がサポートする 2.4GHz 帯のチャンネルは、国／地域内で適用される無線規制によって異なる場合があります（表「無線 IEEE802.11 チャンネルセット」参照）。

各地域で適用される無線規制については、「本節 5 お客様に対するお知らせ」を確認してください。

【無線 IEEE802.11 チャンネルセット】

周波数帯域	2400-2497 MHz
チャンネルID	
1	2412
2	2417
3	2422
4	2427
5	2432
6	2437
7	2442
8	2447
9	2452
10	2457 *1
11	2462
12	2467 *2
13	2472 *2
14	2484 *2

* 1 購入時に設定されているチャンネルです。

* 2 これらのチャンネルが使用可能かどうかは、使用する無線 LAN モジュールによって異なります。使用可能チャンネルについては、同梱の『ご使用できる国／地域について』を参照してください。

無線 LAN をインストールする場合、チャンネル設定は、次のように管理されます。

- インフラストラクチャで無線 LAN 接続する場合、ステーションが自動的に無線 LAN アクセスポイントのチャンネルに切り替えます。異なるアクセスポイント間をローミングする場合は、ステーションが必要に応じて自動的にチャンネルを切り替えます。無線 LAN アクセスポイントの設定チャンネルもこの範囲にする必要があります。
- "ピア・ツー・ピア" モードで無線 LAN 接続する場合は、チャンネル 10 が使用されます。

3 本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は 2,400MHz～2,483.5MHz です。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯 2,427MHz～2,470.75MHz と重複しています。

【1. ステッカー】

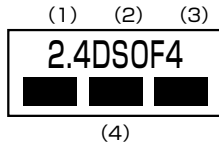
本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に同梱されている次のステッカーをパソコン本体に貼付ください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCダイヤルへお問い合わせください。

【 2. 現品表示 】

本製品と梱包箱には、次に示す現品表示が記載されています。



- (1) 2.4 : 2,400MHz 帯を使用する無線設備を表す。
- (2) DS : 変調方式が DS-SS 方式であることを示す。
OF : 変調方式が OFDM 方式であることを示す。
- (3) 4 : 想定される与干渉距離が 40m 以下であることを示す。
- (4) ■ ■ ■ : 2,400MHz ~ 2,483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

【 3. 東芝 PC ダイアル 】

受付時間 : 9:00 ~ 19:00 (年中無休)

ナビダイヤル : 0570-00-3100

4 機器認証表示について

本製品には、電波法及び電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、以下の認証を受けた無線設備を内蔵しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

無線設備名 : WM3B2200BG

株式会社 ディーエスピーリサーチ

認証番号 : 003NY03120,

D03-0064JPB

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品（ノートブックコンピュータ）に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備を他の機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触する恐れがありますので、十分にご注意ください。

5 お客様に対するお知らせ

【無線製品の相互運用性】

Intel(R) PRO/Wireless 2200BG Network Connection 製品は、Direct Sequence Spread Spectrum (DSSS) / Orthogonal Frequency Division Multiplexing (OFDM) 無線技術を使用するあらゆる無線 LAN 製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers (米国電気電子技術者協会) 策定の IEEE802.11 Standard on Wireless LANs(Revision B/G) (無線 LAN 標準規格(版数 B/G))
- Wi-Fi Alliance の定義する Wireless Fidelity (Wi-Fi) 認証

【健康への影響】

Intel(R) PRO/Wireless 2200BG Network Connection 製品はほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルに抑えられています。

Intel(R) PRO/Wireless 2200BG Network Connection 製品の動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。

ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者が Wireless LAN の使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中で Wireless LAN 装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Wireless LAN 装置の電源を入れる前に、管理者に使用の可否について確認してください。

【規制に関する情報】

Intel(R) PRO/Wireless 2200BG Network Connection 製品のインストールと使用に際しては、必ず製品付属のマニュアルに記載されている製造元の指示に従ってください。本製品は、次に示す無線周波基準と安全基準に準拠しています。

● Canada - Industry Canada (IC)

This device complies with RSS 210 of Industry Canada.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference , and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device."

L 'utilisation de ce dispositif est autorisée seulement aux conditions suivantes : (1) il ne doit pas produire de brouillage et (2) l' utilisateur du dispositif doit être prêt à accepter tout brouillage radioélectrique reçu, même si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (EIRP) is not more than that required for successful communication.

To prevent radio interference to the licensed service, this device is intended to be operated indoors and away from windows to provide maximum shielding. Equipment (or its transmit antenna) that is installed outdoors is subject to licensing.

Pour empêcher que cet appareil cause du brouillage au service faisant l'objet d'une licence, il doit être utilisé à l'intérieur et devrait être placé loin des fenêtres afin de fournir un écran de blindage maximal. Si le matériel (ou son antenne d'émission) est installé à l'extérieur, il doit faire l'objet d'une licence.

The term "IC" before the equipment certification number only signifies that the Industry Canada technical specifications were met.

● Europe - EU Declaration of Conformity

This device complies with the essential requirements of the R&TTE Directive 1999/5/EC with essential test suites as per standards:

België/
Belgique: For outdoor usage only channel 10 (2457 MHz) and 11 (2462MHz) is allowed. For private usage outside buildings across public grounds over less than 300m no special registration with IBPT/BIPT is required. Registration to IBPT/BIPT is required for private usage outside buildings across public grounds over more than 300m. An IBPT/BIPT license is required for public usage outside building. For registration and license please contact IBPT/BIPT.

Gebruik buiten gebouw alleen op kanalen 10 (2457 MHz) en 11 (2462 MHz). Voor privé-gebruik buiten gebouw over publieke grond over afstand kleiner dan 300m geen registratie bij BIPT/IBPT nodig; voor gebruik over afstand groter dan 300m is wel registratie bij BIPT/IBPT nodig. Voor publiek gebruik buiten gebouwen is licentie van BIPT/IBPT verplicht. Voor registratie of licentie kunt u contact opnemen met BIPT.

L'utilisation en extérieur est autorisé sur le canal 10 (2457 MHz) et 11 (2462 MHz).

Dans le cas d'une utilisation privée, à l'extérieur d'un bâtiment, au-dessus d'un espace public, aucun enregistrement n'est nécessaire pour une distance de moins de 300m. Pour une distance supérieure à 300m un enregistrement auprès de l'IBPT est requise. Pour une utilisation publique à l'extérieur de bâtiments, une licence de l'IBPT est requise. Pour les enregistrements et licences, veuillez contacter l'IBPT.

Deutschland: License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow

Anmeldung im Outdoor-Bereich notwendig, aber nicht genehmigungspflichtig. Bitte mit Händler die Vorgehensweise abstimmen.

France: Restricted frequency band: only channels 10 and 11 (2457 MHz and 2462 MHz respectively) may be used in France. License required for every installation, indoor and outdoor installations. Please contact ART for procedure to follow.

Bande de fréquence restreinte : seuls les canaux 10 à 11 (2457 et 2462 MHz respectivement) doivent être utilisés en France.

Toute utilisation, qu'elle soit intérieure ou extérieure, est soumise à autorisation. Vous pouvez contacter l'Autorité de Régulation des Télécommunications (<http://www.art-telecom.fr>) pour la procédure à suivre.

Italia:	License required for indoor use. Use with outdoor installations not allowed E' necessaria la concessione ministeriale anche per l'uso interno. Verificare con i rivenditori la procedura da seguire. L'uso per installazione in esterni non e' permessa.
Nederland	License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow Licentie verplicht voor gebruik met buitenantennes. Neem contact op met verkoper voor juiste procedure

● USA-Federal Communications Commission(FCC)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by tuning the equipment off and on, the user is encouraged to try and correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

TOSHIBA is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized modification of the devices included with this Intel(R) PRO/Wireless 2200BG Network Connection, or the substitution or attachment of connecting cables and equipment other than specified by TOSHIBA.

The correction of interference caused by such unauthorized modification, substitution or attachment will be the responsibility of the user.

Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation.

The radiated output power of the Intel(R) PRO/Wireless 2200BG Network Connection is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the Intel(R) PRO/Wireless 2200BG Network Connection shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. The antenna(s) used in this device are located at the upper edge of the LCD screen, and this device has been tested as portable device as defined in Section 2.1093 of FCC rules when the LCD screen is rotated 180 degree and covered the keyboard area. In addition, Wireless LAN has been tested with Bluetooth transceiver for co-location requirements. This device and its antenna(s) must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website www.hc-sc.gc.ca/rpb.

● Taiwan

Article 14 Unless approved, for any model accredited low power radio frequency electric machinery, any company, trader or user shall not change the frequency, increase the power or change the features and functions of the original design.

Article 17 Any use of low power radio frequency electric machinery shall not affect the aviation safety and interfere with legal communications. In event that any interference is found, the use of such electric machinery shall be stopped immediately, and reusing of such products can be resumed until no interference occurs after improvement. The legal communications mentioned in the above item refer to radio communications operated in accordance with telecommunication laws and regulations.

Low power radio frequency electric machinery shall resist against interference from legal communications or from industrial, scientific and medical radio emission electric machinery.

7 追加情報

本製品について、次のような追加情報があります。よくお読みのうえご使用ください。

1 テレビ表示／内部液晶ディスプレイとテレビの同時表示中

テレビ表示や内部液晶ディスプレイとテレビの同時表示中に、次のような状態になることがあります。

スタンバイまたは休止状態になったとき、**(Fn) + (F5)**キーを押して内部液晶ディスプレイへ表示装置を変更すると、その後**(Fn) + (F5)**キーを押してテレビ表示または内部液晶ディスプレイとテレビの同時表示に設定できない

このようなときは、次の方法で設定してください。

1 **(Ctrl) + (Alt) + (F12)**キーを押す

[Intel(R) 82852/82855 GM/GME Graphics Controllerのプロパティ] 画面が表示されます。

2 [デバイス] タブ左側のイラストアイコンで、表示装置を切り替える

2 内部液晶ディスプレイの仮想スクリーン表示

[画面のプロパティ] の [画面の解像度] で内部液晶ディスプレイの解像度を「1600 × 1200 ピクセル」以上に設定し、[画面の色] で「最高 (32 ビット)」を選択すると、次のような状態になることがあります。

[画面のプロパティ] で画面の解像度または画面の色を設定したいとき、「1280 × 1024 ピクセル」以上の「最高(32 ビット)」モードに設定できない

このようなときは [画面のプロパティ] で次のように設定してから、目的の解像度や色に設定してください。

1 [画面の解像度] で「1024 × 768 ピクセル」を選択する

2 [適用] ボタンをクリックする

3 「WinDVD Creator 2 Platinum」を使用しているときに

i.LINK (IEEE1394) 経由でデジタルビデオカメラを接続し、「WinDVD Creator 2 Platinum」を使って、デジタルビデオカメラへ映像を書き戻しすると、音がとぎれることがあります。

その場合は、次の手順を行ってください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [システム] をクリックする
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [詳細設定] タブで、[パフォーマンス] の [設定] ボタンをクリックする
[パフォーマンス オプション] 画面が表示されます。
- ④ [詳細設定] タブで、[仮想メモリ] の [変更] ボタンをクリックする
[仮想メモリ] 画面が表示されます。
- ⑤ [選択したドライブのページファイルサイズ] で [カスタムサイズ] を選択する
- ⑥ [初期サイズ] を「500」以上、[最大サイズ] を「1000」以上に変更する
- ⑦ [設定] ボタンをクリックする
- ⑧ [OK] ボタンをクリックする
- ⑨ [パフォーマンス オプション] 画面の [OK] ボタンをクリックする
- ⑩ [システムのプロパティ] 画面の [OK] ボタンをクリックする

さくいん

A	
ACアダプタの仕様	178
B	
Battery LED	137
BIOS セットアップ	157
C	
CDの取り扱い	79
ConfigFree	103
D	
Disk LED	63
DVDの取り扱い	79
F	
FDD/CD-ROM LED	68
I	
i.LINK 対応機器の取り付け	123
i.LINK 対応機器の取りはずし	123
IEEE1394 対応機器の取り付け	123
IEEE1394 対応機器の取りはずし	123
L	
LAN ケーブルの接続	88
LAN コネクタに関するインジケータ	90
P	
PC カードの取り付け	111
PC カードの取りはずし	111
S	
SD Card/Memory Stick LED	80
SD メモリカードのセット	81

SD メモリカードの取り出し	82
S 端子ケーブルの接続	126
S 端子ケーブルの取り付け	115
S 端子ケーブルの取りはずし	119

T	
TFT 方式カラー液晶ディスプレイ	60

U	
USB 対応機器の取り付け	113
USB 対応機器の取りはずし	114

W	
WinDVR	12

ア	
アンインストール	153
暗号化	93
アンテナ変換ケーブルの接続	14

イ	
インストール	152
インフラストラクチャネットワーク	96

エ	
液晶ディスプレイの取り扱い	62

カ	
外形寸法図	179
解像度を変更する	61

キ	
キーフロッピーディスクの作成	163
休止状態	148

ク

クイック CD	31
クイック DVD	35
クイック TV	26
クイックプレイ	25
クイックプレイの再インストール ..	46
くるくる壁紙チェンジャー	62

コ

ゴーストリダクション機能	14
--------------------	----

サ

サウンドコントローラ	66
------------------	----

シ

使用できる CD	71
使用できる DVD	73
使用できるマイクロホン	124
使用できるメディア	68

ス

スタンバイ	147
-------------	-----

セ

製品仕様	176
------------	-----

ソ

増設メモリの取り付け	130
増設メモリの取りはずし	132

ツ

使っていないときの充電保持時間	141
-----------------------	-----

テ

ディザリング	61
電源コードの仕様	178

ト

東芝 PC 診断ツール	178
東芝省電力	145
時計用バッテリー	139

ナ

内蔵モデム用地域選択ユーティリティ	105
-------------------------	-----

ニ

日本語入力パネル	21
日本語入力パネルの取り付け	24
日本語入力パネルの取りはずし	23

ハ

バックライト用蛍光管	62
バッテリー充電完了までの時間	140
バッテリー駆動で使用できる時間 ..	141
バッテリーパックの交換	143
バッテリーを長持ちさせるには	142
パネルスイッチ機能	150

ヒ

ピア・ツー・ピアワークグループ	95
ビデオケーブルの接続	126
ビデオモード	180
表示可能色数	60

フ

フォーマット (DVD-RAM)	76
プラグアンドプレイ	109

ヘ

ヘッドホンの接続	125
----------------	-----

ホ

ボリュームコントロール 64
 ボリュームダイヤル 64

マ

マイクロホンの接続 124
 マルチ AV パネル 19
 マルチ AV パネルの取り付け 24
 マルチ AV パネルの取りはずし 23

ム

無線 LAN 91

メ

メモリースティックのセット 84
 メモリースティックの取り出し 84
 メモリ容量の確認 133

ユ

ユーザパスワードの削除 165
 ユーザパスワードの登録 163
 ユーザパスワードを
 忘れてしまった場合 165

ラ

ライフスタイルパネル 18

リ

リモコン 52
 リモコンの各部名称 56
 リモコンの取り扱い 59
 リモコン用電池の取り付け 54
 リモコン用電池の取りはずし 55
 リリース情報 8

ロ

録音レベルの調整 65

ワ

ワイヤレスコミュニケーション LED
 101